

ワークショップ

【第1日目12月1日(火)】

1W5	第5会場(神戸ポートピアホテル本館B1F和楽)	9:00-11:30 [J]
ドラッグ・リポジショニングの基盤技術と実践		
オーガナイザー：夏目 徹(産業技術総合研究所)		
Introduction		[9:00]
夏目 徹(産業技術総合研究所)		
1W5-1		[9:00]
ドラッグ・リポジショニングのための分子プロファイリング		
夏目 徹(産総研・創薬分子プロファイリング研究センター)		
1W5-2		[9:15]
ドラッグ・リポジショニングを用いたがん幹細胞標的治療戦略		
佐谷 秀行(慶應大・先端研・遺伝子制御)		
1W5-3		[9:40]
ドラッグ・リポジショニングの手法を用いた軽度認知障害に対する創薬戦略		
猪原 匡史(国立循環器病研究センター・脳内科)		
1W5-4		[10:05]
ドラッグリポジショニングの実際		
塩村 仁(ノーベルファーマ株式会社)		
1W5-5		[10:30]
革新的医薬品創出に向けたAMEDの取り組みについて		
山崎 直也(日本医療研究開発機構)		
1W5-6		[10:55]
ドラッグ・リポジショニングと承認審査		
關野 一石(医薬品医療機器総合機構 新薬審査第一部)		
総合討論		[11:20]
Conclusion		[11:25]
夏目 徹(産業技術総合研究所)		
1W6	第6会場(神戸ポートピアホテル本館B1F生田)	9:00-11:30 [J]
分子生物学と構造生命科学による創薬への挑戦		
オーガナイザー：由良 敬(お茶の水女子大学) 千田 俊哉(物質構造科学研究所)		
Introduction		[9:00]
千田 俊哉(物質構造科学研究所)		
1W6-1		[9:06]
高難度創薬ターゲット蛋白質の生産技術革新とそのインパクト		
高木 淳一(阪大・蛋白研)		
1W6-2		[9:30]
PDIS・解析領域：タンパク質結晶構造解析の技術支援の取り組みについて		
平田 邦生, 山本 雅貴(理研・SPring-8センター)		
1W6-3		[9:54]
新しい研究ツールや農薬、化粧品、医薬品につながる化合物創出の支援活動		
小島 宏建(東大・創薬機構)		



1W6-4 [10:18]

創薬等プラットフォーム事業制御拠点合成領域の取組

宮地 弘幸 (岡山大・院医菌薬・有機医薬品開発)

1W6-5 [10:42]

創薬と機能ゲノミクス解析

近藤 直人 (理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター)

1W6-6 [11:06]

構造生命科学データクラウドVaProSIによる生命科学ビッグデータへの挑戦

由良 敬 (遺伝研/お茶大・院人間文化)

1W7 第7会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 布引) 9:00-11:30 [J]

硫化水素(H₂S)とポリサルファイド(H₂S_n)のシグナル分子としての機能

オーガナイザー: 木村 英雄 (国立精神・神経医療研究センター)

永原 則之 (日本医科大学)

1W7-1 [9:00]

結晶型(スルファン)イオウの測定とレドックス制御系への関与

小笠原 祐樹, 小池 伸 (明治薬大・分析化学)

1W7-2 [9:25]

多機能酵素・3-メルカプトピルビン酸硫黄転移酵素-ノックアウトマウスの網羅的解析

永原 則之¹, 永野 昌俊², 伊藤 隆明³, 秋元 敏雄⁴, 鈴木 秀典² (¹日医大・基礎医学RI研, ²日医大・薬理学, ³熊大・大学院生命科学学研・機能病理, ⁴日医大・実験動物)

1W7-3 [9:50]

シグナル分子としての硫化水素(H₂S)とポリサルファイド(H₂S_n)

木村 英雄 (国立精神・神経医療研究センター)

1W7-4 [10:15]

侵害受容メッセンジャーとしての内在性硫黄含有化合物の機能的役割

太田 利男 (鳥取大・農・獣医薬理)

1W7-5 [10:40]

水晶体内過酸化グルタチオンの局在

梶村 真弓^{1,5}, 善岡 尊文^{1,2}, 後藤 信一¹, 奥田 有紀¹, 久保 亜紀子¹, 石井 功³, 菱木 貴子^{1,4}, 山本 雄広^{1,5}, 高野 直治^{1,5}, 星野 岳郎^{1,6}, 中村 貴^{1,7}, 末松 誠⁷ (¹慶大・医・医化学, ²旭川医大・眼科, ³慶大・薬・生化学, ⁴慶大・医・臨床研究推進センター, ⁵JST ERATO末松ガスバイオロジープロジェクト, ⁶東女医大・神経内科, ⁷慶大・医・大学院医学研究科)

1W7-6 [11:05]

H₂S及びサルフェン硫黄検出蛍光プローブの開発とその応用

花岡 健二郎 (東大院薬)

1W8 第8会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 北野) 9:00-11:30 [J/E]

アミロイド再考:これまでとこれから

オーガナイザー: 八谷 如美 (東京医科大学)

茶谷 絵理 (神戸大学)

Introduction [9:00]

八谷 如美 (東京医科大学)

1W8-1 [9:03]

アミロイド研究のための新しい実験手法

八谷 如美 (東医大・医・病態生理)

1W8-2 **[9:20]**

Laser microdissectionを用いたアミロイドーシス病型診断の有効性と病早期のアミロイド線維形成機序の解明
 矢崎 正英^{1,2}, 亀谷 富由樹³, 八谷 如美⁴, 池田 修^{1,2} (¹信大バイオメディカル研究所, ²信大医学部脳神経内科, ³東京都医学総合研究所, ⁴東京医大神経生理学)

1W8-3 **[9:37]**

家族性アミロイドポリニューロパチーの病態解析と新たな治療戦略への展開
 植田 光晴¹, 安東 由喜雄² (¹熊大・附属病院・神経内科, ²熊大・院生命・神経内科学)

1W8-4 **[9:54]**

マウスAApoAIIアミロイドーシス関連タンパク質の動態と機能の解析
 宮原 大貴¹, 劉 穎業¹, 丁 欣¹, 澤下 仁子^{1,2}, 森 政之^{1,3}, 樋口 京一^{1,2} (¹信州大学医学系研究科疾患予防医学系専攻加齢生物学, ²信州大学学術研究院先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所神経難病学, ³信州大学学術研究院先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所先端疾患予防学)

1W8-5 **[10:11]**

Aquaphotomics: Water Spectral Pattern as Bio Marker for Diagnosis and Disease Understanding
 Roudiana Tsenkova (Dept. of Agricultural Engineering and Economics, Faculty of Agriculture, Kobe Univ.)

1W8-6 **[10:28]**

アミロイド線維の伝播核形成過程における水の関与性
 茶谷 総理¹, 平松 貴人¹, 板倉 由佳利², 増田 裕輝¹, Roudiana Tsenkova² (¹神戸大・院理・化学, ²神戸大・院農・食料共生システム学)

1W8-7 **[10:45]**

神経変性疾患関連タンパク質と分子シャペロンとの相互作用の構造基盤
 矢木(内海) 真穂^{1,2}, 佐藤 匡史², 山口 拓実¹, 加藤 晃一^{1,2} (¹自然科学研究機構・岡崎統合バイオ, ²名古屋市大・院薬)

1W8-8 **[11:02]**

蛋白質異常凝集とD-アミノ酸；蛋白質異常凝集体に存在するD-アミノ酸の新規検出法
 藤井 紀子 (京大・原子炉)

総合討論 **[11:19]**

Conclusion **[11:27]**

茶谷 総理 (神戸大学)

1W9 第9会場(神戸ポートピアホテル本館B1F菊水) **9:00-11:30 [J]**

最新の生物毒の多様性がおもしろい！ ～その構造と機能、進化そして利用について～

オーガナイザー：北田 栄 (九州工業大学)
 千々岩 崇仁 (崇城大学)

1W9-1 **[9:00]**

日本南西諸島カサリヘビ科ヘビの毒[Lys⁴⁹]ホスホリパーゼA₂アインザイム遺伝子の島嶼多様性
 千々岩 崇仁¹, 山口 和晃¹, 山村 岳志¹, 池田 直樹¹, 八井 宝代¹, 巴山 節子¹, 服部 正策², 上田 直子³, 大野 素徳¹ (¹崇城大・生物生命・応用生命科学, ²東大・医科研, ³崇城大・薬・生化研)

1W9-2 **[9:28]**

哺乳類由来の神経毒の化学生物学研究
 北 将樹 (筑波大・数理物質・化学)

1W9-3 **[9:56]**

昆虫毒：その多様性と選択性
 品田 哲郎 (大阪市大・院理)

1W9-4 **[10:24]**

がん感染症分野への貢献を目指した微生物Bt菌毒素タンパク質群の探索と機能
 北田 栄 (九工大・院情報工・生命情報工学)



1W9-5 [10:52]

百日咳菌と気管支敗血症菌が産生するアデニレートサクラゼ毒素の構造・機能比較

堀口 安彦 (阪大・微研・分子細菌学)

総合討論 [11:20]

1W10 第10会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F トパース) 9:00-11:30 [E]

Structural properties and intracellular function of helical repeat proteins

Organizers : Kodai Hara (Shizuoka Prefectural University)

Shige H. Yoshimura (Kyoto University)

Introduction [9:00]

Kodai Hara¹, Shige H. Yoshimura² (¹Shizuoka Prefectural University, ²Kyoto University)

1W10-1 [9:05]

Intracellular Structure and Function of HEAT Repeat Proteins

Shige H. Yoshimura, Hide A. Konishi, Masahiro Kumeta (Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto U.)

1W10-2 [9:25]

Structures and assembly/disassembly kinetics of Ran-dependent nuclear export complexesYoshiyuki Matsuura^{1,2} (¹Div. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Sci., Nagoya University, ²Struct. Biol. Res. Center, Nagoya University)

1W10-3 [9:45]

Regulation of microtubule dynamics by proteins with HEAT repeats

Gohta Goshima (Div. Bio, Nagoya Univ)

1W10-4 [10:05]

Multimer formation and G-quadruplex-binding by Rif1, a key organizer of higher-order chromatin architecture, containing a HEAT/ARM repeat domain

Kenji Moriyama, Rino Fukatsu, Naoko Kakusho, Hisao Masai (Genome Dynamics Project, Dept. of Genome Medicine, Tokyo Metro. Inst. of Med. Sci.)

1W10-5 [10:25]

Structure of cohesin subcomplex pinpoints direct shugoshin-Wapl antagonism in centromeric cohesinKodai Hara¹, Ge Zheng², Qianhui Qu², Hong Liu², Zhuqing Ouyang², Zhe Chen³, Diana R. Tomchick³, Hongtao Yu² (¹Sch. of Pharm. Sci., Univ. of Shizuoka, ²HHMI & Dept. of Pharm., UTSW Med. Center, ³Dept. of Biophys., UTSW Med. Center)

1W10-6 [10:45]

Balancing acts of two HEAT subunits of condensin I support dynamic assembly of chromosome axesKazuhisa Kinoshita¹, Tetsuya J. Kobayashi², Tatsuya Hirano¹ (¹Chromosome Dynamics Lab., RIKEN, ²Inst. of Industrial Sci., Univ. of Tokyo)

1W10-7 [11:05]

Regulation and function of the two Target Of Rapamycin (TOR) complexesKazuhiro Shiozaki^{1,2} (¹Grad. Sch. of Biol. Sci., NAIST, ²Dept. of Microbiol. Mol. Genet., Univ. of California, Davis)

Conclusion [11:25]

Shige H. Yoshimura (Kyoto University)

1W11 第11会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F エメラルド) 9:00-11:30 [J]

がん治療抵抗性の解明にむけた新しいアプローチ

オーガナイザー：井上 聡 (東京大学)

岡本 康司 (国立がん研究センター研究所)

1W11-1 [9:00]

CML幹細胞をターゲットとする新しい治療戦略

仲一仁, 瀧原 義宏 (広島大・原医研・幹細胞)

1W11-2	[9:25]
単一細胞レベルの遺伝子発現解析による大腸がんの造腫瘍性細胞及び治療抵抗性細胞の同定	
岡本 康司 (国立がん研究セ・研究所・がん分化制御)	
1W11-3	[9:50]
乳がんのホルモン療法耐性機序とその克服に向けて	
林 慎一 (東北大・院医・分子機能)	
1W11-4	[10:15]
神経芽腫のALK阻害剤感受性を制御するALK結合リン酸化蛋白質群	
堺 隆一, 富山 新太 (国立がんセ・研・難治進行がん)	
1W11-5	[10:40]
機能的スクリーニングを用いたホルモン依存性がんの内分泌療法耐性に関わるシグナル分子の解明	
池田 和博 ¹ , 堀江 公仁子 ¹ , 井上 聡 ^{1,2} (¹ 埼玉医科大学ゲノム医学研究センター遺伝子情報制御部門, ² 東京大学大学院医学系研究科抗加齢医学講座)	
1W11-6	[11:05]
がん幹細胞とそのニッチシグナルと代謝、分子標的	
後藤 典子 (金沢大・がん研・分子病態)	
1W12 第12会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ダイアモンド) 9:00-11:30 [J]	
周期的組織再生と体性幹細胞分化およびそれを制御する微小環境における分子機構	
オーガナイザー：岩淵 徳郎 (東京工科大学)	
1W12-1	[9:00]
本セッションの目的：周期的組織再生と体性幹細胞分化	
岩淵 徳郎 (東京工科大・応用生物)	
1W12-2	[9:03]
毛包の異種組織間相互作用を支える細胞外マトリックスの多様性	
藤原 裕展 (理研 CDB)	
1W12-3	[9:33]
脂肪由来間葉系幹細胞における酸素濃度応答性のマルチオミックス解析	
藤原 重良, 石松(辻) 弓子, 松永 由紀子 (資生堂リサーチセンター)	
1W12-4	[9:58]
がんの低酸素バイオロジーで迫る低酸素ニッチと幹細胞性質	
原田 浩 ^{1,2,3} (¹ 京大・院医・放射線腫瘍学, ² 京大・白眉センター, ³ 科学技術振興機構・さきがけ)	
1W12-5	[10:28]
代謝シグナルによるストレス負荷時の造血幹細胞の細胞周期制御	
雁金 大樹, 田久保 圭誉 (国立国際医療研究センター・生体恒常性PJ)	
1W12-6	[10:58]
Defining colorectal cancer stem cell niche signaling in human normal intestinal stem cells	
伊達 昌一 ^{1,2} , 股野 麻未 ¹ , 下川 真理子 ¹ , 高野 愛 ¹ , 藤井 正幸 ^{1,2} , 太田 悠木 ¹ , 金井 隆典 ¹ , 渡邊 聡明 ² , 佐藤 俊朗 ¹ (¹ 慶應・消化器内科, ² 東大・腫瘍外科, ³ 大塚製薬・藤井記念研)	
Conclusion	[11:28]
岩淵 徳郎 (東京工科大学)	



1W13 第13会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ルビー)

9:00-11:30 [J]

シングルセル生物学

オーガナイザー：渡辺 亮(京都大学)
洲崎 悦生(東京大学/理化学研究所)

Introduction

[9:00]

渡辺 亮(京都大学)

1W13-1

[9:01]

単一細胞遺伝子発現解析と微量ChIP-seq法によるマウス胎原生殖細胞の発生機構とエピゲノムリプログラミングの研究

栗本 一基^{1,2}, 藪田 幸弘^{1,2}, 斎藤 通紀^{1,2,3,4} (1京大・院医, 2ERATO, 3京大・iPS研, 4京大・iCeMS)

1W13-2

[9:24]

臓器の発生過程を可視化するシングルセル遺伝子解析

渡辺 亮¹, 濱曾路 祥孝¹, 野村 真樹¹, 舟越 俊介¹, 中村 正裕¹, 田中 梓¹, 大久保 周子¹, 孫谷 弘明², 田邊 剛士¹, 高橋 淳², 須藤 健太¹, 高橋 和利^{1,2}, 吉田 善紀¹, 山中 伸弥¹ (1京都大学・iPS研・未来生命科学開拓, 2京都大学・iPS研・臨床応用, 3グラッドストーン研究所)

1W13-3

[9:42]

ヒト大腸がん肝転移病巣の*in vivo*細胞周期依存的エネルギー代謝を質量分析イメージングで可視化する久保(弓場) 亜紀子¹, 鮎 彦¹, 向井 邦晃¹, 菱木 貴子², 大村 光代^{1,2}, 南嶋 洋司^{1,2}, 末松 誠^{1,2} (1慶大・医・医学化学, 2慶大・医・臨床研究推進センター, 3JST ERATO 末松ガスバイオロジープロジェクト)

1W13-4

[10:05]

CUBICによる全身全細胞の網羅的観察

洲崎 悦生^{1,2} (1東大・院医・システムズ薬理学, 2理研QBiC・合成生物学G)

1W13-5

[10:23]

光シート顕微鏡の未来

野中 茂紀(基生研)

1W13-6

[10:46]

DNAバーコードによる分子・細胞計測技術の跳躍

谷内江 望(東大・先端研・合成生物)

総合討論

[11:09]

Conclusion

[11:29]

洲崎 悦生(東京大学/理化学研究所)

1W16 第16会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール)

9:00-11:30 [J]

鉄硫黄タンパク質が織りなす多彩な機能

オーガナイザー：高橋 康弘(埼玉大学)
和田 啓(宮崎大学)

1W16-1

[9:00]

広がりゆく鉄硫黄タンパク質の世界

高橋 康弘(埼玉大・院理工・分子生物)

1W16-2

[9:30]

ペプチドの翻訳後修飾を触媒するラジカルSAMスーパーファミリー酵素

中井 忠志¹, 小林 一雄¹, 高橋 康弘², 堀 洋³, 鏑木 基成³, 外山 博英⁴, 谷澤 克行^{1,5}, 岡島 俊英¹ (1阪大・産研, 2埼玉大・理工, 3神戸大・理, 4琉球大・農, 5パラツキ大・理)

1W16-3

[10:00]

暗所での植物の緑化を決定づけるニトロゲナーゼ類似酵素の生化学

藤田 祐一(名大・院生命農)

1W16-4 **[10:30]**

ヒドロゲナーゼがもつ鉄硫黄クラスターの構造的多様性
 庄村 康人¹, Noor Dina Binti Muhd Noor², 西川 幸志², 樋口 芳樹^{2,3} (¹茨大・院理工・応用粒子線科学, ²兵庫県大・院生命
 理学・ピコバイオロジー, ³CREST/JST)

1W16-5 **[11:00]**

植物FdとFd依存性酵素群の複合体構造からみた鉄硫黄タンパク質の電子伝達特性
 長谷 俊治, 金 宙妍, 筑摩 悠太郎, 有賀(木股) 洋子 (阪大・蛋白質)

1W19 第19会場(神戸国際会議場 5F 501会議室) **9:00-11:30 [J]**

プロテオミクス なう&beyond

オーガナイザー: 梶 裕之 (産業技術総合研究所)
 植田 幸嗣 (東京大学)

Introduction **[9:00]**

梶 裕之 (産業技術総合研究所)

1W19-1 **[9:01]**

プロテオミクスを基盤とした統合オミクスによるがん組織細胞の異常シグナルネットワークの抽出と検証
 荒木(佐藤) 令江, 南部(新堀) 晶子, シルシリバニト アチト, 小林 大樹 (熊本大学大学院生命科学研究所腫瘍医学分野)

1W19-2 **[9:26]**

抗体に依存しない質量分析を利用したタンパク質量
 大槻 純男, 平山 未央, 伊藤 慎悟 (熊本大・院生命・微生物)

1W19-3 **[9:51]**

エクソソームタンパク質の質的量的変動解析によるがんリキッドバイオプシー診断法の開発
 植田 幸嗣 (か³ん研・ゲノムセンター・プロテオミクス解析Gr)

1W19-4 **[10:16]**

ヒトプロテオーム・リン酸化プロテオーム完全解析への挑戦
 石濱 泰 (京大・院薬)

1W19-5 **[10:41]**

The post-translational landscape of mammalian circadian clock: an MS-based analysis of CRY1 and beyond
 大出 晃士^{1,2}, 上田 泰己^{1,2} (¹東大・院医・システムズ薬理, ²理研・生命システム研究センター)

1W19-6 **[11:06]**

糖鎖付加部位ごとのグライコーム分析法の開発と大規模分析への応用
 梶 裕之, 富岡 あづさ, 野呂 絵里花, 鹿内 俊秀, 成松 久 (産総研・創薬基盤・糖鎖技術)

1W20 第20会場(神戸国際会議場 5F 502会議室) **9:00-11:30 [J]**

細胞のふるまいの制御から解き明かす大脳皮質形成機構

オーガナイザー: 仲嶋 一範 (慶應義塾大学)
 丸山 千秋 (東京都医学総合研究所)

Introduction **[9:00]**

丸山 千秋 (東京都医学総合研究所)

1W20-1 **[9:03]**

大脳皮質ニューロン産生プログラムの切り替えを制御するしくみ
 花嶋 かりな^{1,2} (¹理研・CDB, ²神大・院理・生物)

1W20-2 **[9:21]**

サブプレートニューロンのマウス大脳皮質形成期における新規の機能
 丸山 千秋¹, 岡本 麻友美², 岡戸 晴生³, 宮田 卓樹², 前田 信明¹ (¹都医学研・神経回路形成, ²名古屋大学大学院・医・細胞
 生物, ³都医学研・神経細胞分化)



1W20-3 [9:35]

生体における神経細胞の極性形成機構

貝淵 弘三, Xu Chundi, 高野 哲也 (名古屋大学医学系研究科)

1W20-4 [9:53]

大脳皮質間神経回路形成における軸索数の制御機構Alexander Son¹, 須藤 文和², 鳥居(橋本) 和枝¹, Pasko Rakic³, Pat Levitt⁴, 鳥居 正昭¹ (¹CNMC・神経科学研究センター,²国立精神・神経医療研究センター・神経研,³イェール大・医学部・神経生物学,⁴南カリフォルニア大・医学部・小児科学)

1W20-5 [10:18]

マウス発生期脳において移動ニューロンの進む方向と目的地を制御するメカニズム

仲嶋 一範 (慶應・医・解剖)

1W20-6 [10:33]

22q11欠損症候群モデルマウスにおける介在神経細胞移動の異常

谷垣 健二 (滋賀成人病センター 研究所)

1W20-7 [10:51]

神経認知障害関連因子FoxG1による大脳皮質回路形成機構

三好 悟一 (ニューヨーク大)

1W20-8 [11:09]

皮質脳室帯由来グリア前駆細胞のダイナミックな移動様式田畑 秀典¹, 佐々木 恵², 稲熊 裕¹, 伊東 秀記¹, 竹林 浩秀³, 依馬 正次⁴, 池中 一裕⁵, 永田 浩一¹, 仲嶋 一範² (¹愛知県心身障害者コロナー・発達障害研・神経制御,²慶應大・医・解剖,³新潟大院・医歯学総合・神経生物,⁴滋賀医大・動物生命科学研究所,⁵生理研・分子神経)

Conclusion [11:27]

仲嶋 一範 (慶應義塾大学)

1W21 第21会場(神戸国際会議場 5F 504+505会議室) 9:00-11:30 [J]

JSTによる科学コミュニケーション研修プログラム(基礎、メディア、対話力)

オーガナイザー：加納 圭 (滋賀大学)

田中 幹人 (早稲田大学)

Introduction [9:00]

加納 圭 (滋賀大学)

1W21-1 [9:05]

研究者による科学コミュニケーション小泉 周¹, 天元 志保² (¹自然科学研究機構,²知的財産マネジメント研究会・知識流動システム分科会)

1W21-2 [9:40]

科学コミュニケーション基礎研修の概要

戸田山 和久 (名古屋大・院情報・社会システム情報学)

1W21-3 [10:15]

メディアトレーニングの体験

田中 幹人 (早大・政研・ジャーナリズムコース)

1W21-4 [10:50]

対話力トレーニングプログラム加納 圭^{1,2}, 水町 衣里¹ (¹滋賀大・教育・科学コミュニケーション,²京大・iCeMS・科学コミュニケーション)

Conclusion [11:25]

田中 幹人 (早稲田大学)

1W22	第22会場(神戸国際展示場 2F 2A会議室)	9:00-11:30 [J]
健康度を最適化する成育環境と個体の干渉原理		
オーガナイザー：久保田 健夫 (山梨大学)		
Introduction		[9:00]
久保田 健夫 (山梨大学)		
1W22-1		[9:05]
脳発達過程におけるメチル化DNA結合タンパク質MeCP2による遺伝子発現調節機構		
三宅 邦夫, 久保田 健夫 (山梨大・院・環境遺伝)		
1W22-2		[9:28]
糖刺激によるBRD4-ヒストンアセチル化依存的転写伸長の増進機構		
望月 和樹 ¹ , 合田 敏尚 ² , 久保田 健夫 ³ (¹ 山梨大学 生命環境学部 地域食物科学科, ² 静岡県立大学 食品栄養科学部 栄養生命科学科, ³ 山梨大学 医学部 環境遺伝医学講座)		
1W22-3		[9:51]
2つの出生後早期肥満モデルマウスにおける糖代謝制御と生活習慣病発症への影響について		
細田 洋司 ¹ , 杜 沁文 ² , 宮里 幹也 ³ , 寒川 賢治 ³ (¹ 国循・研究所・再生医療部, ² 三重大・院医・生殖病態生理学, ³ 国循・研究所・生化学部)		
1W22-4		[10:14]
妊娠前期母体低栄養によって引き起こされる仔の絶食応答反応における変化		
佐藤 憲子 (東京医科歯科大学・難治疾患研究所・分子疫学・環境エピゲノム)		
1W22-5		[10:37]
妊娠中の摂取カロリー制限母ラットからの出生仔でみられたグルココルチコイドフィードバックの異常と次世代仔への影響		
根本 崇宏 ¹ , 藤村 務 ² , 加賀 直子 ³ , 高 ひかり ³ , 上野 隆 ³ , 柿沼 由彦 ¹ (¹ 日本医大・生理(生体統御), ² 東北薬科大学臨床分析化学, ³ 順天堂大学)		
総合討論		[11:00]
1W24	第24会場(神戸国際展示場 3F 3A会議室)	9:00-11:30 [J]
RNA機能を制御する酵素・複合体再考		
オーガナイザー：金井 昭夫 (慶應義塾大学) 程 久美子 (東京大学)		
Introduction		[9:00]
金井 昭夫 (慶應義塾大学)		
1W24-1		[9:03]
RNA病における異常スプライシングとその治療戦略		
片岡 直行 ¹ , 吉田 真弓 ² , 宮内 健常 ³ , 大江 賢治 ² , 薄井 知美 ¹ , 鈴木 勉 ³ , 萩原 正敏 ² (¹ 京都大学医学研究科 メディカルイノベーションセンター, ² 京都大学医学研究科 生体構造医学講座 形態形成機構学講座, ³ 東京大学 工学系研究科 化学生命工学専攻, ⁴ 東京医科歯科大学 大学院医学研究科形質発現分野)		
1W24-2		[9:27]
RISCの形成と機能の一分子観察		
泊 幸秀 (東大・分生研)		
1W24-3		[9:51]
哺乳類細胞における、アポトーシス誘導によるRNAサイレンシング調節因子TRBPの機能変換		
高橋 朋子 ¹ , 宮川 拓也 ² , 善野 修平 ³ , 田之倉 優 ² , 程 久美子 ¹ (¹ 東大・院理・生物科学, ² 東大・院農・応用生命化学, ³ 前橋工科大・院工・生物工学)		
1W24-4		[10:15]
RNA編集酵素ADARによるmiRNAプロセッシングの制御		
飯笹 久 (鳥根大学医学部微生物学講座)		



1W24-5 [10:39]

超好熱性アーキアPyrococcus furiousにおけるrRNA及びtRNA前駆体のプロセシング因子の系統的な解析今井 淳之介^{1,2}, 佐藤 朝子¹, 野呂 絵美子¹, 富田 勝^{1,2,3}, 森 大^{1,2}, 金井 昭夫^{1,2,3} (慶大・先端生命研,²慶大・政策・メディア,³慶大・環境情報)

1W24-6 [11:03]

Toll様受容体によるRNA認識におけるRNAプロセシングの役割

三宅 健介 (東京大学)

Conclusion [11:27]

程 久美子 (東京大学)

1W2-p 第2会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 借染1) 14:00-16:30 [J/E]

染色体の機能・構築原理

オーガナイザー：加納 純子 (大阪大学)

深川 竜郎 (大阪大学)

Introduction [14:00]

加納 純子 (大阪大学)

1W2-p-1 [14:05]

サブテロメアの新規機能の解明田代 三喜¹, 半田 哲也², 松田 厚志^{3,4}, 坂 琢人¹, 瀧川 徹², 宮里 和実¹, 石井 浩二郎⁴, 久郷 和人⁵, 太田 邦史⁵, 平岡 泰^{3,4}, 升方 久夫⁶, 加納 純子¹ (慶大・蛋白研,²阪大・院理,³情報通信研究機構・未来ICT研究所,⁴阪大・院生命機能,⁵東大・院総合文化)

1W2-p-2 [14:25]

SCAIはRif1の機能を調節することによって二本鎖切断損傷の相同組換え修復を促進する

磯部 真也, 大久保 義真, 石本 祥平, 長尾 恒治, 小布施 力史 (北海道大学 大学院先端生命科学研究院 分子細胞生物学研究室)

1W2-p-3 [14:45]

Interaction with G-quadruplex structures forms a basis for Rif1-mediated regulation of DNA replication, transcription and chromatin architectureHisao Masai¹, Yutaka Kanoh¹, Seiji Matsumoto¹, Naoko Kakusho¹, Rino Fukatsu¹, Kenji Moriyama¹, Nobuaki Kono², Keisuke Iida³, Kazuo Nagasawa³, Koji Masuda⁴, Claire Renard-Guillet⁴, Katsuhiko Shirahige⁴, Satoshi Yamazaki¹, Naoko Yoshizawa¹ (Dept. of Genome Med., Tokyo Met. Inst. Med. Sci.,²Inst. for Adv.Bios., Keio Univ.,³Dept. of Biotech. Life Sci., Fac. of Tech., Tokyo Univ. of Agric. Tech.,⁴Lab. of Genome Str. and Function, Res. Center for Epigenetic Disease, Institute of Mol. and Cell. Biosci., Univ. of Tokyo,)

1W2-p-4 [15:05]

Transcriptional regulation by cohesin loaderKazuhiro Akiyama¹, Masashige Bando¹, Katsuhiko Shirahige^{1,2} (Research Center for epigenetic disease, IMCB, The University of Tokyo,²CREST, JST)

1W2-p-5 [15:25]

セントロメアの異所的確立と世代を越えた維持石井 浩二郎¹ (阪大・生命機能,²阪大・未来戦略)

1W2-p-6 [15:45]

キネトコア形成の分子機構

深川 竜郎 (大阪大学)

1W2-p-7 [16:05]

分裂期染色体の構築原理

平野 達也 (理研・平野染色体ダイナミクス)

Conclusion [16:25]

深川 竜郎 (大阪大学)

1W3-p 第3会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 借室2) 14:00-16:30 [J]
多機能オルガネラ・ミトコンドリアの動的振る舞いによる生命機能制御

 オーガナイザー：石原 直忠 (久留米大学)
 小柴 琢己 (九州大学)

1W3-p-1 [14:00]
ミトコンドリアと抗ウイルスシグナル
 小柴 琢己 (九大・院理・生物学)

1W3-p-2 [14:25]
PINK1の活性化とカスパーゼ非依存性の細胞死
 岡 敏彦 (立教大・理・生命理学)

1W3-p-3 [14:50]
ミトコンドリア分裂の調節機構
 瀬崎 博美 (ジョンスホプキンス大学医学部)

1W3-p-4 [15:20]
生細胞内ATP濃度のダイナミクス・分布・多様性
 今村 博臣 (京大・生命科学)

1W3-p-5 [15:45]
ミトコンドリアの膜とDNAの協調的かつ動的な制御機構
 石原 孝也, 石原 直忠 (久留米大・分子生命研・高分子化学)

1W3-p-6 [16:05]
Bcl-2ファミリータンパク質を介したペルオキシソーム形成制御
 細井 謙一郎¹, 宮田 暖¹, 向井 悟¹, 古木 聡美¹, Emily H. Cheng², 藤本 幸夫^{1,3} (九大・院理・生物学, ²MSKCC・病理学, ³九大・生医研)

総合討論 [16:25]
1W4-p 第4会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 借室3) 14:00-16:30 [E]
Collaborative Regulatory Mechanism between Cell Differentiation and Gene Expression in Eularyotic Cells

 Organizers : Takashi Ito (Nagasaki University)
 Yoshiaki Ohkuma (Nagasaki University)

Introduction [14:00]

Takashi Ito (Nagasaki University)

1W4-p-1 [14:03]
SMARCD1 is an ATP-dependent stimulator of the nucleosomal acetyltransferase CBP, resulting in transcriptional activation

Masamichi Doiguchi, Takeya Nakagawa, Takashi Ito (Dept. of Biochemistry, Nagasaki University School of Medicine)

1W4-p-2 [14:14]
Dzip3 regulates developmental genes in mouse embryonic stem cells by reorganizing 3D chromatin conformation

 Daishi Inoue¹, Tatsuharu Sato², Aihara Hitoshi¹, Mizusaki Hirofumi¹, Masamichi Doiguchi¹, MIKI Higashi¹, Mlyanishi Takayuki³, Okuda Akihiko⁴, Nakagawa Takeya¹, Ito Takashi¹ (¹Dept. of Bioch., Med. Sch., Univ. of Nagasaki, ²Dept. of Ped., Med. Sch., Univ. of Nagasaki, ³Dept. of Env., Univ. of Nagasaki, ⁴Univ. of Saitama)

1W4-p-3 [14:22]
Manipulation of KLF4 expression reveals a mechanistic insight into an intermediate state of reprogramming

 Koji Hisatake¹, Nugroho Fransiska Lilliani¹, Emi Shiomitsu¹, Manami Ohtaka², Aya Fukuda¹, Mahito Nakanishi², Ken Nishimura¹ (¹Lab. of Gene Reg., Faculty of Med., Univ. of Tsukuba, ²Biotech. Res. Inst. Drug Discov., AIST)

1W4-p-4 **[14:37]**
Max known as a Myc indispensable partner protein functions as a molecular blockade of meiotic entry
 Akihiko Okuda, Ayumu Suzuki, Masataka Hirasaki, atsushi Ueda (Div. of Dev. Biol., RCGM, Saitama Med. Univ.)

1W4-p-5 **[14:52]**
Inflammatory signal regulation at RNA level

 Hiroshi Asahara^{1,2}, Tomoki Chiba¹, Kentaro Abe¹, Yoshiaki Ito¹ (¹Dept. of Syst. BioMed., TMDU, ²AMED, CREST)

1W4-p-6 **[15:07]**
Local production of S-adenosylmethionine for local consumption to promote and to regulate methylation of chromatin and beyond

 Kazuhiko Igarashi¹, Masayuki Ebina¹, Hiroki Shima¹, Yasutake Katoh^{1,2} (¹Dept. Biochem., Grad. Sch. Med., Tohoku Univ., ²Tohoku Med. Megabank, Tohoku Univ.)

1W4-p-7 **[15:22]**
Mediator complex cooperatively regulates transcription of retinoic acid-target genes with Polycomb repressive complex PRC2 during neuronal differentiation

 Yoshiaki Ohkuma^{1,2}, Satoshi Iida¹, Taiki Tsutsui^{1,3}, Yutaka Hirose¹, Rikiya Fukasawa¹ (¹Lab. Gene Reg., Grad. Sch. Med. & Pharm. Sci., Univ. Toyama, ²Dept. Biochem., Nagasaki Univ. Sch. of Med., ³Dept. Cell. & Mol. Med., UCSD Sch. Me.)

1W4-p-8 **[15:37]**
Role of Human Mediator Subunit Med26 in Transcription Elongation

 Hidehisa Takahashi¹, Joan W. Conaway², Ronald C. Conaway², Shigetugu Hatakeyama¹ (¹Dept. of Biochem. Hokkaido Univ. Grad. Sch. of Med., ²Stowers Institute for Medical Research)

1W4-p-9 **[15:52]**
Noncanonical histone-containing particles in dynamic chromatin

 Jia Fei¹, Mai T. Khuong¹, Sharon E. Torigoe¹, Christopher R. Brown², Hinrich Boeger², Haruhiko Ishii³, Bing Ren³, James T. Kadonaga¹ (¹UCSD, ²UC Santa Cruz, ³Ludwig Institute, UCSD)

Conclusion **[16:27]**

Yoshiaki Ohkuma (Nagasaki University)

1W5-p 第5会場(神戸ポートピアホテル本館B1F和楽) **14:00-16:30 [J/E]**
稀少疾患の分子病態メカニズム

 オーガナイザー：松本 直通(横浜市立大学)
 白髭 克彦(東京大学)

1W5-p-1 **[14:00]**
Significance of Rare Disease Research

Kosuke Izumi, Katsuhiko Shirahige (IMCB, Univ. of Tokyo)

1W5-p-2 **[14:20]**
エンドソーム系の平衡の破綻：機能亢進型SAMD9変異によるMIRAGE症候群

 鳴海 覚志¹, 天野 直子¹, 石井 智弘¹, 勝又 規行², 福澤 龍二³, 芝田 晋介⁴, 岡野 栄之⁵, 清水 厚志⁵, 三宅 紀子⁶, 松本 直通⁶, 長谷川 奉延¹ (¹慶大・医・小児科, ²成育医療研究センター・分子内分泌, ³東京都立小児医療センター・検査科, ⁴慶大・医・生理学, ⁵東北メディカル・メガバンク機構, ⁶横浜市大・医・遺伝学)

1W5-p-3 **[14:45]**
ORAI1遺伝子優性変異は細管集合体ミオパチーを来す

西野 一三(国立精神・神経医療研究センター・神経研・疾病一部)

1W5-p-4 **[15:10]**
RASopathiesの新規原因検索とモデルマウス作製

 青木 洋子¹, 井上 晋一¹, 新堀 哲也¹, 松原 洋一² (¹東北大・院医・遺伝医療学分野, ²国立成育医療センター)

1W5-p-5	[15:35]
From Cohesinopathies to Transcriptomopathies: Insights from Cornelia de Lange Syndrome and Related Diagnoses	
Ian D. Krantz (The Children's Hospital of Philadelphia and the Perelman School of Medicine at the University of Pennsylvania)	
1W5-p-6	[16:05]
Somatic mutations in the MTOR gene cause focal cortical dysplasia type IIb	
Naomichi Matsumoto (Dept. of Hum. Genet., Grad. Sch. of Med., Yokohama City Univ)	
1W6-p	14:00-16:30 [J]
第6会場(神戸ポートピアホテル本館 B1F 生田)	
異種間比較が解き明かす生命システムの普遍性と多様性	
オーガナイザー: 竹内 隆 (鳥取大学) 田守 洋一郎 (国立遺伝学研究所)	
Introduction	[14:00]
竹内 隆 (鳥取大学)	
1W6-p-1	[14:03]
多能性幹細胞の異種環境における発生限界	
山口 智之 (東大・医科研・幹細胞治療)	
1W6-p-2	[14:21]
肺から非呼吸性浮き袋への形態進化に関連したエンハンサーの分化	
嵯峨井 知子, 城石 俊彦 (遺伝研・系統生物セ・哺乳動物)	
1W6-p-3	[14:39]
羊膜類脳進化における神経幹・前駆細胞の動態の変化	
野村 真 (京都府立医大・院・神経発生)	
1W6-p-4	[14:57]
頭部再生能力におけるプラナリア異種間比較	
梅園 良彦 (兵県大・院生命理)	
1W6-p-5	[15:15]
マウスとイモリとを比較して再生能力の違いを決める機構を探る	
竹内 隆, 東 翔平, 雨宮 由季, 林 利憲 (鳥取大・医・生命科学)	
1W6-p-6	[15:33]
治るか治らないか、それが問題だ: ショウジョウバエとゼブラフィッシュにおける組織修復研究からの展望	
畷 史幹 (理化学研究所)	
1W6-p-7	[15:51]
何が哺乳類の冬眠を可能にするのか? ~前冬眠期における、冬眠のための体組織リモデリングの同定	
山口 良文 ^{1,2} , 茶山 由一 ¹ , 安藤 理沙 ¹ , 重信 秀治 ³ , 姉川 大輔 ¹ , 藤本 貴之 ¹ , 田村 豊 ⁴ , 三浦 正幸 ^{1,5} (¹ 東大・薬・遺伝, ² さきがけ・JST, ³ 基礎生物学研究所, ⁴ 福山大・薬, ⁵ クレスト・日本医療研究開発機構)	
1W6-p-8	[16:09]
アフリカの奇妙な齧歯類「ハダカデバネズミ」~がん化耐性・長寿の不思議~	
三浦 恭子 ^{1,2} (¹ 北海道大学 遺伝子病制御研究所, ² JST さきがけ)	
Conclusion	[16:27]
田守 洋一郎 (国立遺伝学研究所)	

1W7-p 第7会場(神戸ポートピアホテル本館B1F布引) 14:00-16:30 [J]

NADとFADの分子生物学：水溶性ビタミンの多面的理解に向けて

オーガナイザー：中畑 泰和 (奈良先端科学技術大学院大学)
日野 信次朗 (熊本大学)

Introduction [14:00]

日野 信次朗 (熊本大学)

1W7-p-1 [14:03]

概日時計機構および細胞老化におけるNAD⁺/NAMPTの影響
中畑 泰和, 芦森 温茂, 松井 貴輝, 別所 康全 (奈良先端大・バイオ)

1W7-p-2 [14:24]

概日時計タンパク質CRYのFAD結合ポケットに作用する低分子化合物の発見
廣田 毅 (名大・ITbM)

1W7-p-3 [14:45]

NAD合成酵素Nmnat3の生理的・病理的役割
中川 崇 (富山大・先端ライフサイエンス拠点)

1W7-p-4 [15:06]

What changes NAD⁺ levels? — Quantitative analysis of the NAD⁺ metabolic flow
原 伸正 (島根大・医学部・生化学)

1W7-p-5 [15:27]

水溶性ビタミン類の可視化と機能イメージングへの応用
兵藤 文紀, 中路 陸子, 江藤 比奈子, 伊藤 慎治, 内海 英雄 (九大・レドックスナビ拠点)

1W7-p-6 [15:48]

FAD依存性ヒストン脱メチル化酵素LSD1による骨格筋代謝制御
阿南 浩太郎, 日野 信次朗, 坂元 顕久, 長岡 克弥, 高瀬 隆太, 興梠 健作, 中尾 光善 (熊本大・発生研・細胞医学)

1W7-p-7 [16:09]

脂肪細胞NAD⁺合成系による全身性の糖・エネルギー代謝制御
吉野 純 (ワシントン大学医学部内科)

1W8-p 第8会場(神戸ポートピアホテル本館B1F布引) 14:00-16:30 [J]

生理活性物質ポリアミンから疾病と健康を考える

オーガナイザー：村井 法之 (東京慈恵会医科大学)
松本 光晴 (協同乳業株式会社研究所)

Introduction [14:00]

村井 法之 (東京慈恵会医科大学)

1W8-p-1 [14:06]

アンチザイム2とc-MYCの核小体共局在とユビキチン非依存的分解
村井 法之, 村上 安子, 松藤 千弥 (慈恵医大・分子生物)

1W8-p-2 [14:30]

大腸癌および非小細胞肺癌の手術前尿中ジアセチルスペルミン値と予後の関連
平松 恭子¹, 高橋 祐介^{2,3}, 堀尾 裕俊², 高橋 慶一⁴, 坂口 幸治^{2,5}, 森谷 俊介¹, 寺岡 秀興¹, 斉藤 文江¹, 高浜 恵美¹, 川喜田 正夫¹
(¹東京都医学研・幹細胞, ²都立駒込病院・呼吸器外科, ³帝京大・医・呼吸器外科, ⁴都立駒込病院・大腸外科, ⁵長野県立須坂病院・呼吸器外科)

1W8-p-3 [14:54]

ポリアミン代謝の抑制はアクロレイン毒性の軽減に関わる
植村 武史^{1,3}, 中村 瑞穂¹, 坂本 明彦², 照井 祐介², 富取 秀行², 柏木 敬子², 五十嵐 一衛^{1,3} (¹アミンファーマ研, ²千葉科学大・薬, ³千葉大院・薬)

1W8-p-4
[15:18]
糖尿病合併症に対する生体内ポリアミンの防御作用

 松本 靖彦¹, 東 恭平², 石井 雅樹¹, 五十嵐 一衛², 関水 和久¹ (¹東京大学・薬学系研究科, ²千葉大学・薬学研究院)

1W8-p-5
[15:42]
腸内常在菌が産生するポリアミンの保健効果

松本 光晴 (協同乳業・技術開発)

1W8-p-6
[16:06]
ポリアミンによりもたらされる長寿の生物学的背景

早田 邦康 (自治医大・さいたま医療センター)

1W9-p 第9会場(神戸ポートピアホテル 本館B1F 菊水)
14:00-16:30 [E]
Zinc Signaling

 Organizers : Toshiyuki Fukada (Tokushima Bunri University)
 Taiho Kambe (Kyoto University)

1W9-p-1
[14:00]
Zinc signaling: Overview

Toshiyuki Fukada (Pharma. Sci., Tokushima Bunri Univ.)

1W9-p-2
[14:10]
The Zinc Sensing Receptor in Health and Disease

Michal Hershfinkel (Department of Physiology and Cell Biology, Faculty of Health Science, Ben-Gurion University of the Negev, Israel)

1W9-p-3
[14:40]
Bis(hinokitiolato)zinc complex ([Zn(hkt)2]) with blood glucose lowering effect has an impact on the insulin signaling pathway

 Yuki Naito¹, Yutaka Yoshikawa^{1,2}, Hiroyuki Yasui¹ (¹Dept. of Anal. Bioinorg. Chem., Div. of Anal. Phys. Chem., Kyoto Pharm. Univ., ²Dept. of Health Sports Nutr., Faculty of Health Welfare, Kobe Women's Univ.)

1W9-p-4
[15:00]
Novel mutations in ZnT2 involved in the pathogenesis of transient neonatal zinc deficiency

Naoya Itsumura, Taiho Kambe (Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto Univ.)

1W9-p-5
[15:20]
Important role of zinc transporter ZIP10 in morphogenesis and homeostasis of skin epidermis

 Bum-ho Bin¹, Jinhyuk Bhin², Eun-Gyung Cho¹, Toshiyuki Fukada³ (¹Bioscience Research Institute, Amorepacific Corporation R&D Center, ²Department of Chemical Engineering, POSTECH., ³Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokushima Bunri University)

1W9-p-6
[15:40]
The roles of zinc transporters in the transports of cadmium and manganese in their target organs

Hitomi Fujishiro-Donai, Seiichiro Himeno (Fac. of Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ.)

1W9-p-7
[16:00]
Zinc transporter ZIP13 regulates the adipocyte browning

 Ayako Fukunaka¹, Yoshio Fujitani¹, Toshiyuki Fukada², Shingo Kajimura³, Hirotaka Watada¹ (¹Grad. Sch. of Med., Juntendo Univ., ²Pharma. Sci., Tokushima Bunri Univ., ³UCSF Diabetes center)

1W9-p-8
[16:20]
Zinc Signaling and Zinc Homeostasis

Taiho Kambe (Dep. of Appl. Mol. Biol., Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto Univ.)



1W10-p 第10会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F トパス)

14:00-16:30 [J]

性染色体とエピジェネティクスオーガナイザー：佐渡 敬(近畿大学)
多田 政子(鳥取大学)**Introduction**

[14:00]

佐渡 敬(近畿大学)

1W10-p-1

[14:05]

機能欠損型Xist RNAによって構築される偽ヘテロクロマチン

佐渡 敬(近畿大・農・バイオ)

1W10-p-2

[14:25]

アリル特異的ChIP-seq法によるマウス不活性化X染色体のクロマチン動態の解析

長尾 恒治¹, 榊原 祐樹², 柴田 幸子¹, 野澤 竜介¹, 坂口 武久², 木村 宏³, 佐渡 敬⁴, 小布施 力史¹ (¹北大・先端生命, ²九大・生医研, ³東工大・生命理工, ⁴近大・農)**1W10-p-3**

[14:45]

核内ゲノム高次構造の発現制御

平谷 伊智朗(理研・CDB)

1W10-p-4

[15:05]

減数分裂期の性染色体不活性化におけるエピジェネティック制御

長谷川 和輝¹, Hosu Sin², 行川 賢³ (¹スタンフォード大学・医, ²スタンフォード大学・発生生物, ³シンシナティ大学・生殖科学)**1W10-p-5**

[15:25]

カイコのメス化因子はW染色体から作り出されるpiRNAである

勝間 進, 木内 隆史, 川本 宗孝, 庄司 佳祐, 李 允求, 菅野 雄大, 福井 崇弘, 嶋田 透(東大・院農・生産環境)

1W10-p-6

[15:45]

鳥類の性染色体におけるエピジェネティックな遺伝子発現制御

石下 聡¹, 辰本 将司¹, 木下 圭司¹, 浅野 有美², 多田 政子³, 郷 康広², 松田 洋一^{1,4} (¹名大・院生命農学・鳥類バイオサイエンス研究センター, ²自然科学研究機構・新分野創成センター・ブレインサイエンス, ³鳥大・染色体工学研究センター, ⁴名大・院生命農学・動物遺伝)**1W10-p-7**

[16:05]

ニワトリ胚発生における染色体レベルの活性制御

多田 政子(鳥大・染色体工学研究センター)

総合討論

[16:25]

1W11-p 第11会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F エメラルド)

14:00-16:30 [J]

ユビキチンシステムが切り開く新たな生命現象オーガナイザー：嘉村 巧(名古屋大学)
畠山 鎮次(北海道大学)**1W11-p-1**

[14:00]

ユビキチン化を受けた構造異常タンパク質の核外排出分子機構の解析

平山 尚志郎¹, 杉原 宗親², 櫻井 靖之¹, 森戸 大介², 家村 俊一郎³, 夏目 徹⁴, 永田 和宏², 村田 茂穂¹ (¹東大・院薬・蛋白代謝, ²京産大・総合生命, ³福島医大・医産TRセンター, ⁴産総研・創薬分子プロファイリング研究センター)**1W11-p-2**

[14:15]

ATMは転写部位の近傍でDSBが生じると、転写促進因子のENLをリン酸化して、転写抑制因子のポリコームを呼び込み、転写を抑制する

宇井 彩子^{1,2}, 安井 明¹ (¹東北大学 加齢医学研究所 加齢ゲノム制御プロテオーム研究部門, ²聖マリアンナ医科大学 医学研究科 応用分子腫瘍)

1W11-p-3	[14:33]
LUBACアクセサリー分子SHARPINとHOIL-1Lがプログラム細胞死抑制において果たす機能的差異の解析	
清水 覚司, 藤田 宏明, 岩井 一宏 (京大・医学研究科)	
1W11-p-4	[14:48]
TR-TUBEを用いた膜結合型F-box蛋白質FBXO27の機能解析	
吉田 雪子 ¹ , 村上 有沙 ¹ , 川脇 純子 ¹ , 佐伯 泰 ² , 松田 憲之 ¹ , 田中 啓二 ² (¹ 都医学研・ユビキチン, ² 都医学研・蛋白質代謝)	
1W11-p-5	[15:06]
Fボックスタンパク質Ucc1による代謝制御機構の解析	
中務 邦雄, 嘉村 巧 (名大・院理・生命理学)	
1W11-p-6	[15:24]
UCLH1はHIF-1αの脱ユビキチン化を介してがんの遠隔転移を亢進する	
後藤 容子 ¹ , 小林 稔 ¹ , 広田 喜一 ² , 谷本 圭司 ³ , 平岡 真寛 ¹ , 原田 浩 ^{1,4,5} (京大院医 放射線腫瘍学・画像応用治療学, ² 関西医大 麻酔科学, ³ 広大 原医研, ⁴ 京大 白眉センター, ⁵ 科学技術振興機構(JST) さきがけ)	
1W11-p-7	[15:39]
脳下垂体の腫瘍性疾患クッシング病における脱ユビキチン化酵素USP8の活性化変異	
駒田 雅之, 川口 紘平, Arif Ibrahim Ardisasmita, 福嶋 俊明 (東工大・生命理工)	
1W11-p-8	[15:57]
非がん細胞のFbxw7はがんニッチ形成を抑制する	
弓本 佳苗 ¹ , 秋吉 清百合 ² , 上尾 裕紀 ² , 小野山 一郎 ¹ , 上尾 裕昭 ² , 大野 真司 ⁴ , 森 正樹 ³ , 三森 功士 ² , 中山 敬一 ¹ (¹ 九大・生医研・分子医科学, ² 九州大学・別府病院, ³ うえお乳腺外科, ⁴ 九州がんセンター, ⁵ 大阪大学・大学院医学系研究科・外科学講座消化器外科)	
1W11-p-9	[16:12]
TRIMファミリーユビキチンリガーゼによる生体制御機構	
畠山 鎮次 (北大・院医・生化学)	
1W12-p	14:00-16:30 [J/E]
第12会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ダイアモンド)	
ゲノムに組み込まれたウイルス：その機能と進化	
オーガナイザー：小島 健司 (東京大学)	
1W12-p-1	[14:00]
ワニゲノム解読から明らかになった内在性レトロウイルスの多様性	
小島 健司 ^{1,2,3} (¹ 東大・院新領域・メディカル情報, ² 東大・医科研, ³ Genetic Information Research Institute)	
1W12-p-2	[14:25]
iPS細胞から考えるヒトとヒト内在性レトロウイルスの関係	
大貫 菜里 (ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン)	
1W12-p-3	[14:50]
RNAウイルス配列の内在化により宿主が獲得したウイルス抵抗性の解明	
本田 知之, 朝長 啓造 (京大・ウイルス研・ヒトがん)	
1W12-p-4	[15:15]
ヘルペスウイルスと一体化した巨大DNAトランスポゾン<i>Albatross</i>	
井上 雄介 ¹ , 佐友 友則 ¹ , 相川 拓海 ¹ , 森下 真一 ² , 成瀬 清 ³ , 島田 敦子 ¹ , 古賀 彰彦 ⁴ , 武田 洋幸 ¹ (¹ 東大・院理・生物科学, ² 東大・新領域・情報生命, ³ 基生研・バイオリソース, ⁴ 京大・霊長類研究所)	
1W12-p-5	[15:40]
プロファージによる遺伝子再構築	
佐藤 勉 ^{1,2} , 安部 公博 ² (¹ 法政大・生命・生命, ² 法政大・マイクロナノテクセンター)	
1W12-p-6	[16:05]
TBA	
中川 一路 (京都大学大学院医学研究科)	

**1W13-p** 第13会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ルビー)

14:00-16:30 [J]

実用化を見据えた様々な生体関連分子工学の基礎および応用オーガナイザー: 赤沼 哲史 (東京薬科大学)
新井 亮一 (信州大学)**Introduction**

[14:00]

赤沼 哲史 (東京薬科大学)

1W13-p-1

[14:03]

希土類を水中で発光させるための分子設計
長谷川 美貴 (青山学院大・理工)**1W13-p-2**

[14:21]

結晶スポンジ法による微量化合物の構造解析
猪熊 泰英 (東大・院工・応用化学)**1W13-p-3**

[14:39]

核酸の"文字"を増やす人工塩基対技術の応用展開
木本 路子, 平尾 一郎 (IBN)**1W13-p-4**

[14:57]

抗体タンパク質からの蛍光免疫センサー Quenchbodyの構築

上田 宏¹, 鄭 熙陳¹, 松本 健司², 板山 修也³, 阿部 亮二^{1,4}, 董 金華¹, 新藤 充² (¹東工大・資源研, ²九大・先導研, ³東大・院工, ⁴ウシオ電機)**1W13-p-5**

[15:15]

系統学的データを用いた祖先型手法による効率的酵素耐熱化設計
山岸 明彦 (東薬大・生命)**1W13-p-6**

[15:33]

人工蛋白質ナノブロック(PN-Block)による自己組織化ナノ構造複合体の創出

小林 直也¹, 木村 尚弥¹, 新井 亮一^{1,2} (¹信州大・繊維・応用生物, ²信州大・ICCCER・IBS)**1W13-p-7**

[15:51]

β-Annulusペプチドの自己集合による人工ウイルスキャプシドの創製
松浦 和則 (鳥取大院工)**1W13-p-8**

[16:09]

単純化遺伝暗号表を用いた進化学によるアミノ酸種限定タンパク質の創出

木賀 大介^{1,2} (¹東工大・院総理工・知能システム科学, ²東工大・地球生命研)**Conclusion**

[16:27]

新井 亮一 (信州大学)

1W14-p 第14会場(神戸国際会議場 1F メインホール)

14:00-16:30 [J]

Liquid biopsyの新展開オーガナイザー: 落谷 孝広 (国立がん研究センター研究所)
田原 栄俊 (広島大学)**Introduction**

[14:00]

田原 栄俊 (広島大学)

1W14-p-1

[14:05]

血液一滴で何がどこまでわかるか: 体液診断の可能性を展望する
落谷 孝広 (国立がん研セ・研 分子細胞治療)**1W14-p-2**

[14:40]

NSAH (非アルコール性脂肪性肝炎)の糖鎖バイオマーカー
三善 英知, 鎌田 佳宏 (阪大院・医・機能診断科学)

1W14-p-3	[15:15]
Liquid Biopsyのための血中miRNAマーカーについての日本における大規模研究の現状	
滝澤 聡子 ² , 落谷 孝広 ¹ (¹ 国立がん研究センター・研究所・分子細胞治療研究分野, ² 東レ株式会社・先端融合研究所)	
1W14-p-4	[15:50]
マイクロRNA・エクソソームを用いた膵がんバイオマーカー	
田原 栄俊 (広島大・院医歯薬保健・細胞分子生物)	
Conclusion	[16:25]
落谷 孝広 (国立がん研究センター研究所)	

1W15-p 第15会場(神戸国際会議場3F 国際会議室) 14:00-16:30 [J]

遺伝子治療の復活	
オーガナイザー：三谷 幸之介 (埼玉医科大学) 金田 安史 (大阪大学)	

Introduction	[14:00]
金田 安史 (大阪大学)	

1W15-p-1	[14:10]
遺伝性疾患に対する遺伝子治療	
小野寺 雅史 (国セ・成育・成育遺伝)	

1W15-p-2	[14:38]
遺伝子組換えヘルペスウイルスを用いたがんのウイルス療法の臨床開発	
藤堂 具紀 (東大・医科研・先端がん治療)	

1W15-p-3	[15:06]
パーキンソン病や造血器腫瘍などに対する遺伝子治療の最新動向	
小澤 敬也 ^{1,2} (¹ 東大・医科研・病院, ² 自治医大・免疫遺伝子細胞治療学)	

1W15-p-4	[15:34]
不活性化センダイウイルス粒子を用いた癌治療研究と遺伝子治療への応用	
金田 安史 (阪大・医・遺治)	

1W15-p-5	[16:02]
ゲノム編集技術を利用した遺伝子修復治療の展望	
三谷 幸之介 (埼玉医大・ゲノム研・遺伝子治療)	

1W16-p 第16会場(神戸国際会議場3F レセプションホール) 14:00-16:30 [J/E]

プロテオスタシス制御と疾患	
オーガナイザー：養王田 正文 (東京農工大学) 中井 彰 (山口大学)	

Introduction	[14:00]
養王田 正文 (東京農工大学)	

1W16-p-1	[14:02]
タンパク質毒性ストレス応答とDNA損傷ストレス応答の接点	
藤本 充章, 中井 彰 (山口大学・院医・医化学)	

1W16-p-2	[14:22]
Geranylgeranylacetoneのヘリコバクターピロリ菌HSP70に対する選択的親和性及び形態変化促進	
伊藤 英晃 ¹ , Ewa Grave ¹ , 田村 ありさ ¹ , 岡本 知也 ¹ , 横田 伸一 ² , 山本 聡 ² , 大高 道郎 ³ (¹ 秋田大・院工資・生命科学, ² 札幌医大・医・微生物, ³ 順天堂大・医・消化器内科)	

1W16-p-3	[14:42]
Cellular stress regulates the plasticity of lung cancer stem cells by an epigenetic mechanism	
鳥越 俊彦, 廣橋 良彦 (札幌医大医学部第一病理)	



1W16-p-4 [15:02]

ゲノムワイドsiRNAスクリーニングによるSOD1の構造制御機構の解明

本間 謙吾, 一條 秀憲 (東大・院薬・細胞情報)

1W16-p-5 [15:22]

メトホルミンは腫瘍局所浸潤CD8T細胞の解糖を促進する

鶴殿 平一郎 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 免疫学)

1W16-p-6 [15:42]

酸化ストレス応答を制御するタンパク質分解

千葉 智樹 (筑波大学・生命環境系)

1W16-p-7 [16:02]

細胞質プロテオスタシス制御を担うグルーブII型シャペロニンの構造と機能

養王田 正文¹, 山本 陽平¹, 阿部 圭佑¹, 宇野 裕子¹, 関口 博史², 小川 直樹³, 佐々木 裕次⁴ (¹東京農工大学, ²高輝度光科学研究センター, ³日本大学, ⁴東京大学)

総合討論 [16:22]

Conclusion [16:27]

中井 彰 (山口大学)

1W19-p 第19会場(神戸国際会議場 5F 501会議室) 14:00-16:30 [J]

多様性・特異性を基盤にした新しい微生物機能とその応用

オーガナイザー: 高木 博史 (奈良先端科学技術大学院大学)

小林 達彦 (筑波大学)

Introduction [14:00]

小林 達彦 (筑波大学)

1W19-p-1 [14:03]

放線菌の新規ペプチドリガーゼ

大利 徹 (北大・院工)

1W19-p-2 [14:26]

触媒活性を有する低分子天然有機化合物

小林 達彦 (筑波大・生命環境・生物機能)

1W19-p-3 [14:49]

微生物のDNAトランスアクション研究から遺伝子工学用酵素開発へ～タンパク質工学による新たな機能創製へ

石野 園子, 梶谷 泰之, 渡辺 夏美, 山上 健, 石野 良純 (九大院・農)

1W19-p-4 [15:12]

好熱菌(耐熱性酵素)の低温適応機構

藤原 伸介 (関西学院大・理工・生命科学)

1W19-p-5 [15:35]

酵母におけるプロリン・アルギニン代謝を介した新しい酸化ストレス耐性機構

高木 博史 (奈良先端大・バイオ)

1W19-p-6 [15:58]

糸状菌Aspergillus nidulansの一酸化窒素耐性機構の解明

高谷 直樹 (筑波大・生命環境)

Conclusion [16:21]

高木 博史 (奈良先端科学技術大学院大学)

1W20-p 第20会場(神戸国際会議場 5F 502会議室) **14:00-16:30 [J]**

神経細胞の分化と回路形成を司る新たな遺伝子発現制御メカニズム

オーガナイザー：深井 周也(東京大学)
吉田 知之(富山大学)

1W20-p-1 **[14:00]**

神経細胞の多様化に重要な発生期のエピジェネティック制御
豊田 峻輔^{1,2} (1山梨大・院総合研究・生理2, 2日本学術振興会PD)

1W20-p-2 **[14:20]**

神経系RNA結合タンパク質によるシナプス接着因子の時空間的な選択的スプライシング制御
飯島 崇利(東海大・創造科学技術研究機構)

1W20-p-3 **[14:40]**

線虫CELFファミリー RNA結合タンパク質UNC-75は神経系特異的かつ位置依存的に選択的スプライシングを制御する
黒柳 秀人¹, 渡辺 要平¹, 鈴木 穰², 萩原 正敏³ (1医科歯科大・難研, 2東大・院新領域, 3京大・院医)

1W20-p-4 **[15:00]**

CAP52のexon3スキップと自閉症
定方 哲史¹, 篠田 陽², 古市 貞一² (1群馬大・先端ユニット, 2東京理科大・応用生物)

1W20-p-5 **[15:20]**

ミニエクソンペプチド選択によるシナプスオーガナイザー機能の調節
吉田 知之^{1,2} (1富山大・院医・分子神経科学, 2科学技術振興機構・さきがけ)

1W20-p-6 **[15:40]**

Ila型受容体チロシンホスファターゼδとインターロイキン1受容体タイプのシナプスオーガナイザー間の選択的スプライシング依存的相互作用制御の構造基盤
山形 敦史^{1,2}, 吉田 知之^{3,4}, 佐藤 裕介^{1,2}, 伊藤(後藤) 椋子^{1,2}, 植村 健^{4,5}, 森 寿³, 三品 昌美⁶, 深井 周也^{1,2} (1東大・放射光・生命科学, 2CREST, JST, 3富山大・医・分子神経, 4PRESTO, JST, 5信州大・医・分子細胞生理, 6立命館大・脳科学・理工)

1W20-p-7 **[16:00]**

小脳シナプス形成を制御するGluD2-Cbln1-neurexin接着分子複合体の構造基盤
植村 健^{1,2}, 佐藤 裕介^{2,3}, 山形 敦史^{2,3}, 吉田 知之¹, 後藤 椋子³, 前田 亜沙美^{2,3}, 城島 知子^{2,3}, 田淵 克彦³, 三品 昌美⁵, 深井 周也^{2,3} (1信州大・学術院・医・分子細胞生理, 2科学技術振興機構, CREST, 3東京大・放射光・生命科学・構造生物学, 4富山大・医・分子神経科学, 5立命館大・総合科学技術研究機構・脳科学)

総合討論 **[16:20]**

1W21-p 第21会場(神戸国際会議場 5F 504+505会議室) **14:00-16:30 [E]**

In situ structural biology for the investigation of eukaryotic intracellular protein behaviours

Organizers : Takanori Kigawa (RIKEN)
Yutaka Ito (Tokyo Metropolitan University)

1W21-p-1 **[14:00]**

Protein dynamics in molecular crowding environment elucidated by an extended model-free analysis of NMR relaxation data
Takanori Kigawa^{1,2} (1RIKEN QBiC, 2Int. Grad. Sch. of Sci. Eng., Tokyo Tech.)

1W21-p-2 **[14:20]**

Stability of disulfide bonds of proteins in the cytosolic space analyzed using NMR spectroscopy
Shuhei Murayama¹, Yoshiaki Enokizono², Ken-ichi Akagi¹, Kohsuke Inomata³, Masahiro Shirakawa¹, Hidehito Tochio² (1Dept. of Moleng., Grad. Sch. of Eng., Kyoto Univ., 2Dept. of Biophys., Grad. Sch. of Sci., Kyoto Univ., 3Qbic, RIKEN, 4Nat. Inst. of Biomed. Innovation)

1W21-p-3 **[14:40]**

In-cell NMR analysis for protein conformational diversity in mammalian cells
Kohsuke Inomata (QBiC, RIKEN)



1W21-p-4 [15:00]

All-atom Molecular Dynamics Simulations of Proteins and Metabolites under the Crowding Environment in Bacterial Cytoplasm

Isseki Yu^{1,2}, Takaharu Mori¹, Tadashi Ando³, Ryuhei Harada⁴, Jaewoon Jung⁴, Yuji Sugita^{1,2,3,4}, Michael Feig⁵
 (1)Theoretical Molecular Science Laboratory, RIKEN, (2)THES Research Group, RIKEN, (3)Laboratory for Biomolecular Function Simulation, RIKEN QBiC, (4)Computational Biophysics Research Team, RIKEN AICS, (5)Department of Biochemistry and Molecular Biology, and Department of Chemistry, Michigan State University)

1W21-p-5 [15:20]

Bioreactor system for in-cell NMR observation of biological events inside living cells

Noritaka Nishida, Ichio Shimada (Grad. Sch. of Pharm. Sci., Univ. of Tokyo)

1W21-p-6 [15:40]

In situ structural biology by NMR

Yutaka Ito^{1,2} (1)Dept. of Chem., Tokyo Metropolitan Univ., (2)CREST/JST)

1W21-p-7 [16:00]

In cells and in vitro studies of ubiquitin, polyubiquitin chains and proteins attached to them.

Masahiro Shirakawa¹, Kohsuke Inomata², Daichi Morimoto¹, Erik Walinda¹, Kenji Sugase¹, Hidehito Tochio³, Shiroh Hutaki¹ (1)Dept. of Mol.Eng., Grad.Sch. of Eng., Kyoto Univ., (2)Quant. Biol. Center, RIKEN, (3)Dept. of Biophys., Grad. Sch. of Sci., Kyoto, (4)Div. of Biochem. Inst. for Chem. research, Kyoto Univ.)

Discussion [16:20]

1W22-p 第22会場(神戸国際展示場 2F 2A会議室) 14:00-16:30 [J]

RNA病

オーガナイザー：大野 欽司(名古屋大学)
 上山 久雄(滋賀医科大学)

Introduction [14:00]

上山 久雄(滋賀医科大学)

1W22-p-1 [14:02]

環状RNAの生合成：コーディングRNAから捨てられたノンコーディングRNAが生かされる仕組み

芳本 玲¹, 亀山 俊樹¹, Thomas B. Hansen², Jørgen Kjems², 前田 明¹ (1)藤田保健衛生大・総医研・遺伝子発現機構, (2)オーフス大・分子生物/遺伝学科)

1W22-p-2 [14:28]

スプライシングでのエキソンスキッピングによる先天色覚異常

上山 久雄¹, 村木 早苗², 田邊 詔子³, 山出 新一², 扇田 久和¹ (1)滋賀医大・生化学・分子生物学, (2)滋賀医大・眼科, (3)中京眼科)

1W22-p-3 [14:52]

スプライシング因子の破綻によるスプライシング異常の分子機構とその予測ツール

大野 欽司(名大・院医・神経遺伝情報学)

1W22-p-4 [15:16]

骨髄腫瘍におけるRNAスプライス因子体細胞変異

牧島 秀樹(京大・院医・腫瘍生物学)

1W22-p-5 [15:40]

筋ジストロフィーに対するエクソン・スキップ治療

武田 伸一(国立精神・神経医療研究センター)

1W22-p-6 [16:04]

先天性難治疾患のスプライシング治療

萩原 正敏(京大・院医・形態形成機構)

Conclusion [16:28]

大野 欽司(名古屋大学)

1W24-p 第24会場(神戸国際展示場 3F 3A会議室) 14:00-16:30 [J]

生命への道程：自己集合・自己組織化による秩序形成と創発

オーガナイザー：大山 隆 (早稲田大学)
菊池 洋 (早稲田大学)

Introduction [14:00]

大山 隆 (早稲田大学)

1W24-p-1 [14:05]

原始的細胞周期をもつベシクル型人工細胞
菅原 正 (神奈川大学理学部)

1W24-p-2 [14:22]

細胞がもたらす生命の創発：遺伝情報の維持と多様化
松村 茂祥 (富山大・院理工)

1W24-p-3 [14:39]

RNAの凝集化が引き起こすRNA安定化によるRNAワールド仮説の補強
梅影 創¹, 菊池 洋² (¹豊橋技術科学大学, ²早稲田大学)

1W24-p-4 [14:56]

DNAとクロマチンの相同性認識と選択的集合
大山 隆^{1,2}, 池田 桃子¹, 黒田 浩太郎¹, 松枝 嵩之¹ (¹早大院・先進理工, ²早大・教育・総合科学・生物)

1W24-p-5 [15:13]

ClpB-DnaK脱凝集シャペロンに見られる、自己集合・自己組織化による機能獲得
渡辺 洋平^{1,2}, 内橋 貴之³, 安藤 敏夫³, 飯野 亮太⁴, 山崎 孝史^{2,5}, 中崎 洋介¹, 林 清夏⁶ (¹甲南大・理工・生物, ²甲南大・統合ニューロ, ³金沢大・理工・数物, ⁴岡崎統合バイオ・分子研, ⁵甲南大・院自然科学・生命機能科学, ⁶甲南大・院自然科学・生物学)

1W24-p-6 [15:30]

人工細胞の構築に向けて：創発と依存
上田 卓也 (東大・新領域・メディカル情報生命)

1W24-p-7 [15:47]

走化性シグナル伝達系の自己組織化による細胞運動の制御
上田 昌宏^{1,2} (¹阪大・院理・生物科学, ²理研・QBiC)

1W24-p-8 [16:04]

動くものを集めるーactive matterとしての生命現象
住野 豊 (東理大・理・応物)

総合討論 [16:21]

Conclusion [16:26]

菊池 洋 (早稲田大学)

【第2日目12月2日(水)】
2W5 第5会場(神戸ポートピアホテル本館B1F和楽)
9:00-11:30 [J]
進化エビジェネティクス:エビジェネティックな状態の次世代への伝達から考える進化のしくみ

 オーガナイザー: 小林 一三 (東京大学)
 角谷 徹仁 (国立遺伝学研究所)

Introduction [9:00]

小林 一三 (東京大学)

2W5-1 [9:03]
エビジェネティクス駆動進化:細菌でのOMICsによる検証

小林 一三 (東大・院新領域・メディカル情報生命)

2W5-2 [9:24]
アブラナ科植物において低分子RNAとその標的配列の多様性により複雑な階層的優劣性が制御される

 和田 ヒタ子¹, 安田 晋輔¹, 柿崎 智博², 三浦 栄子¹, 樽谷 芳明¹, 高田 美信¹, 鈴木 剛², 渡辺 正夫⁴, 高山 誠司¹ (1奈良先端大・バイオ, 2農研機構・野茶研, 3大阪教育大・教養, 4東北大院・生命)

2W5-3 [9:45]
LTRレトロトランスポゾンが内在性遺伝子化する機構

 石野 史敏¹, 金兎(石野) 知子² (1医科歯科大・難治研・エビジェネ, 2東海大・健科)

2W5-4 [10:06]
霊長類におけるエビゲノム進化

 福田 湊^{1,2}, 一柳 健司¹ (1九大・生医研・エビゲノム, 2理研和光)

2W5-5 [10:27]
piRNAによる転移因子の抑制機構

塩見 春彦 (慶應義塾大学医学部)

2W5-6 [10:48]
シロイヌナズナのDNAメチル化とエビジェネティックな遺伝

角谷 徹仁 (国立遺伝学研究所)

2W5-7 [11:09]
野外エビジェネティクス:ヒストン修飾がもたらす頑健な遺伝子発現調節

工藤 洋 (京大・生態研)

2W6 第6会場(神戸ポートピアホテル本館B1F生田)
9:00-11:30 [J]
酸化ストレスの発生と制御:発がんと老化の抑制をめざして

 オーガナイザー: 康 東天 (九州大学)
 早川 浩 (福岡歯科大)

2W6-1 [9:00]
酸化ストレスの発生と制御

康 東天 (九大・院医・臨床検査医学)

2W6-2 [9:03]
酸化損傷を受けたmRNAを排除する細胞の機構:AUF1の役割

 石井 健士¹, 関口 猛², 早川 浩¹ (1福岡歯科大学・老化制御研究センター, 2九州大学・医学系学府・細胞工学)

2W6-3 [9:27]
活性酸素による突然変異の生起とその抑制

 伊東 理世子¹, 橋口 一成², 関口 睦夫² (1福歯大・機能生物化学, 2福歯大・先端科学研究センター)

2W6-4 [9:51]
酸化ストレスによる発がんゲノム変化

赤塚 慎也, 李 光華, 豊國 伸哉 (名大・院医・生体反応病理学)

2W6-5 [10:16]
心血管疾患におけるNADPH oxidase 4の役割

松島 将士¹, 絹川 真太郎¹, 筒井 裕之¹, 佐渡島 純一² (¹北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学, ²ラトガーズニュージャージー医科大学細胞生物分子学部門)

2W6-6 [10:41]
ヒトミトコンドリア転写因子hTFAMの発現はアルツハイマー病マウスモデルにおける酸化ストレスとアミロイドβ蓄積の悪循環を遮断する

岡 素雅子¹, レオン フリオ¹, 加藤木 敦史¹, 井手 友美², 康 東天², 中別府 雄作¹ (¹九大・生医研・脳機能, ²九大・医・循環器, ³九大・医・臨床検査医学)

2W6-7 [10:55]
パーキンソン病への水素水の効果—無作為化二重盲検並行群間試験から—

頼高 朝子^{1,2}, 高梨 雅史², 平山 正昭³, 中原 登志樹², 太田 成男⁴, 服部 信孝² (¹順天堂大学越谷病院・神経内科, ²順天堂大学脳神経内科, ³名古屋大学・保健学科, ⁴日本医科大学・加齢科学系)

2W7 第7会場(神戸ポートピアホテル本館B1F布引) 9:00-11:30 [J]
膜輸送体学の「再統合」～分子レベルから疾患への橋渡しのために

オーガナイザー：永森 収志 (大阪大学)
小川 治夫 (東京大学)

Introduction [9:00]

永森 収志 (大阪大学)

2W7-1 [9:01]
アミノ酸トランスポーターの非競合阻害薬によるalternating-access機構の停止

永森 収志, 金井 好克 (阪大・院医・生体システム薬理)

2W7-2 [9:16]
クローディングの立体構造から示唆されるタイトジャンクションの構成的知見

鈴木 博視 (ハーバード大・院医)

2W7-3 [9:36]
概日時計分子による膜輸送体の発現リズム制御

小柳 悟, 松永 直哉, 大戸 茂弘 (九州大学大学院薬学研究院)

2W7-4 [9:56]
カスパーゼによるリン脂質フリッパーゼの切断とホスファチジルセリンの暴露

瀬川 勝盛, 長田 重一 (阪大・ifrec・免疫生化学)

2W7-5 [10:16]
精製タンパク質を用いたマラリア原虫のクロロキン耐性トランスポーター (PfCRT)の機能解析

表 弘志 (岡山大・医歯薬)

2W7-6 [10:36]
X線結晶解析によるキネティック測定: Na⁺, K⁺-ATPaseに結合したK⁺は段階的に置換される

小川 治夫¹, Flemming Cornelius², 平田 絢美¹, 豊島 近¹ (¹東大・分生研, ²Dept. of Biomedicine., Aarhus Univ.)

2W7-7 [10:56]
NMDA受容体の構造とバイオロジー

古川 浩康 (Cold Spring Harbor Laboratory)

Conclusion [11:26]

小川 治夫 (東京大学)

2W8 第3会場(神戸ポートピアホテル本館B1F北野)

9:00-11:30 [J]

古くて新しい糖代謝経路研究の最前線オーガナイザー：増本 博司(長崎大学)
水沼 正樹(広島大学)**Introduction**

[9:00]

増本 博司(長崎大学)

2W8-1

[9:02]

NAD⁺依存性デアセチラーゼ(サートエニン)による細胞老化依存的に活性化する糖新生経路の抑制機構の解明
増本 博司(長崎大学・医・共同利用)**2W8-2**

[9:16]

グルコース制限に対する細胞応答：CaMKKおよびTORC2シグナル経路を介したグルコーストランスポーターの機能制御斎藤 成昭¹, 増田 史恵¹, 森 礼都², 副島 朗子¹, 上原 理沙², 石井 眞弘³, 武田 鋼二郎³, 柳田 充弘² (¹久留米大・分生研・細胞工学, ²沖縄科学技術大学院大・G0ユニット, ³甲南大・理工・生物)**2W8-3**

[9:30]

細胞環境に応じたグルコース取り込みを可能とする糖鎖修飾

大坪 和明(熊大・生命科学・生体情報解析)

2W8-4

[9:44]

解糖系派生物によるメタボリックシグナリング：酵母研究から糖尿病へのアプローチ

井上 善晴(京大・院農・応生科)

2W8-5

[9:58]

メチオニン代謝系は糖代謝を介して寿命制御に関わる

水沼 正樹(広島大・院先端研・分子生命機能)

2W8-6

[10:12]

HDAC阻害剤による非アポトーシス型細胞死の抑制新沢 康英¹, 辻本 賀英² (¹阪大・院医・遺伝子学, ²大阪成人病セ・分細生)**2W8-7**

[10:26]

The contradictory role of neuropeptide Y in positive and negative energy balance

朴 盛俊, 下川 功(長崎・医学・病理学)

2W8-8

[10:40]

巨大なシグナル分子複合体IRSomeがインスリン活性の調節に果たす新しい役割

高橋 伸一郎, 安藤 康年, 伯野 史彦(東大・院農生・応用動物)

2W8-9

[10:54]

グルカゴンと膵 α 細胞についての新しい認識

河盛 毅(阪大・医・内分泌・代謝内科学)

2W8-10

[11:08]

マイオカインを介した骨格筋の糖輸送調節

Nobuharu L Fujii(首都大学東京・人間健康科学・HPS)

Conclusion

[11:22]

水沼 正樹(広島大学)

2W9 第9会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 菊水)

9:00-11:30 [E]
Frontier fish sciences
Organizers : Atsuo Iida (Kyoto University)
 Hiromi Hirata (Aoyama Gakuin University)

Introduction
[9:00]

Atsuo Iida (Kyoto University)

2W9-1
[9:02]
Regulatory mechanism of directional migration of endothelial tip cells during angiogenesis in zebrafish
 Yuki Wakayama, Shigetomo Fukuhara, Naoki Mochizuki (1Dept. of Cell Biol., Natl. Cerebr. and Cardiovasc. Ctr. Res. Inst.)

2W9-2
[9:18]
Molecular mechanisms underlying cone photoreceptor specification in zebrafish

 Sachihiko Suzuki¹, Rachel O. Wong², Ichiro Masai¹ (¹Developmental Neurobiology Unit, OIST, ²Dept. of Biol. Structure, Univ. of Washington)

2W9-3
[9:34]
Auditory Stimulation Strengthen the Association Between Glycine Receptor and Gephyrin via Activation of CaMKII

Kazutoyo Ogino (Dept. of Chem. and Biol. Sci., Coll. of Sci. and Eng., AGU)

2W9-4
[9:50]
Bioelectrical signal controls skin pattern formation in zebrafish

Toshihiro Aramaki, Shigeru Kondo (Grad. Sch. of FBS, Osaka Univ.)

2W9-5
[10:06]
Zebrafish model of human muscular dystrophy

 Hiroaki Mitsuhashi¹, Louis M. Kunkel² (¹Dept. of App. Biochem., Sch. of Eng., Tokai Univ., ²Div. of Genet., Prog. in Genom., Boston Child. Hosp.)

2W9-6
[10:22]
Diversified sex characteristics development in teleost fishes: Implication for evolution of androgen receptor (AR) gene function

 Yukiko Ogino¹, Shigehiro Kuraku², Hiroshi Ishibashi³, Masaki Yasugi¹, Eiji Watanabe¹, Yasuhiro Kamei¹, Hiroataka Sakamoto⁴, Tatsuya Sakamoto⁴, Gen Yamada⁵, Taisen Iguchi¹ (¹NIBB, SOKENDAI, ²RIKEN CLST, ³Ehime Univ., ⁴Okayama Univ., ⁵Wakayama Medical Univ.)

2W9-7
[10:38]
Making the most of a small fish brain -elucidation of neuropeptide functions and neuronal network in medaka-

Shinji Kanda (Dept. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo)

2W9-8
[10:54]
Cellular mechanism for decoding temporal intervals in communication signals of electric fish

 Tsunehiko Kohashi^{1,2}, Xiaofeng Ma², Bruce A. Carlson² (¹Div. of Biol., Grad. Sch. of Sci., Nagoya Univ., ²Dept. of Biol. Washington Univ. in St. Louis)

2W9-9
[11:10]
Prenatal regression of the trophotaenial placenta of the livebearer fish, *Xenotoca eiseni*

 Atsuo Iida¹, Toshiyuki Nishimaki², Atsuko Sehara¹ (¹Institute for Frontier Medical Sciences, Kyoto University, ²Kitasato University School of Medicine)

Discussion
[11:26]
Conclusion
[11:28]

Hiromi Hirata (National Institute of Genetics)

2W10 第10会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F トパーズ)

9:00-11:30 [J]

食品科学：食品の潜在能力を科学し、活用する

オーガナイザー：佐藤 隆一郎 (東京大学)
内田 浩二 (名古屋大学)

Introduction [9:00]

内田 浩二 (名古屋大学)

2W10-1 [9:02]

化学的反応性からみる機能性食品成分の潜在能力
内田 浩二 (名大・院生農・応分生科)

2W10-2 [9:30]

緑茶カテキンセンシング機構の解明とその応用展開
立花 宏文 (九大・農院・生命機能科学)

2W10-3 [10:00]

食品成分による代謝改善効果の分子機構解析
佐藤 隆一郎 (東大・院農学生命科学・応用生命化学)

2W10-4 [10:28]

視床下部を介した栄養素による肝糖代謝調節
井上 啓 (金大・新学術創成)

2W10-5 [10:58]

紅茶ポリフェノールがもつ代謝エビジェネティクスの阻害作用を利用した新たな骨粗鬆症治療
西川 恵三 (阪大・IFReC・免疫細胞生物)

Conclusion [11:28]

佐藤 隆一郎 (東京大学)

2W11 第11会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F エメラルド)

9:00-11:30 [J]

細胞競合 – その本質と生理的意義に迫る

オーガナイザー：井垣 達史 (京都大学)
藤田 恭之 (北海道大学)

Introduction [9:00]

井垣 達史 (京都大学)

2W11-1 [9:02]

分裂後上皮組織での細胞競合における組織修復
田守 洋一郎^{1,2}, 鈴木 えみ子¹, テン ウーミン² (¹遺伝研, ²フロリダ州立大学)

2W11-2 [9:23]

生体イメージング解析を用いた一細胞レベルでの細胞競合解析
藤澤 侑也¹, 千原 崇裕^{1,2}, 三浦 正幸^{1,2} (¹東大・院薬・遺伝, ²CREST, AMED)

2W11-3 [9:44]

細胞競合を介した発生ロバストネスの遺伝的基盤
大澤 志津江¹, 赤井 葉々美¹, 井垣 達史^{1,2} (¹京都大学大学院生命科学研究所システム機能学, ²科学技術振興機構さきがりけ)

2W11-4 [10:05]

細胞競合の数理モデル：不均一な増殖に対する上皮組織の恒常的な変形
坪井 有寿¹, 大澤 志津江², 井垣 達史², 藤本 仰一¹ (¹阪大・院理, ²京大・院生命科学)

2W11-5 [10:26]

ゼブラフィッシュにおける、細胞競合を介したシグナル異常上皮細胞の排除
糴枝 佑紀, 古家 博信, 石谷 閑, 石谷 太 (九大・生医研・細胞統御システム)

[10:47]

2W11-6

Rad5依存的なエンドサイトーシスは変異細胞のapical extrusionに重要な役割を果たす

齋藤 沙弥佳^{1,2}, 藤田 恭之^{1,2} (¹北大・遺制研・分子腫瘍, ²北大院・総化)

[11:08]

2W11-7

インビトロがん幹細胞モデルの細胞競合研究への応用

西本 裕希¹, 北嶋 俊輔², 河野 晋¹, 高橋 智聡¹ (¹金沢大・がん研・腫瘍分子生物学, ²ハーバード大・ダナ・ファーバーがん研)

[11:29]

Conclusion

藤田 恭之 (北海道大学)

9:00-11:30 [J]

2W12 第12会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ダイヤモンド)

全能性獲得の分子機構の理解へ向けて

オーガナイザー: 中村 肇伸 (長浜バイオ大学)
伊川 正人 (大阪大学)

[9:00]

Introduction

中村 肇伸 (長浜バイオ大学)

[9:06]

2W12-1

遺伝子改変マウスを用いた受精研究の新展開

伊川 正人 (阪大・微研)

[9:29]

2W12-2

全能性とは?

青木 不学 (東大・院新領域・先端生命)

[9:52]

2W12-3

全能性細胞で特異的に発現するKlf17の初期発生における必要性

後藤 悠比¹, 鈴木 健士¹, 古田 明日香¹, 幸田 尚², 伊川 正人³, 中村 肇伸^{1,4} (¹長浜バイオ大・バイオサイエンス, ²東京医歯大・難研, ³阪大・微研, ⁴CREST)

[10:15]

2W12-4

受精卵におけるオープンクロマチン地図

井上 梓^{1,2}, Falong Lu^{1,2}, Yuting Liu^{1,2}, Yi Zhang^{1,2} (¹ハーバードメディカルスクール, ²ボストン小児病院)

[10:38]

2W12-5

新規多能性をもたらす異種間キメラ形成能

岡村 大治^{1,2}, Jun Wu¹, Mo Li¹, 鈴木 啓一郎¹, Chongyuan Luo^{2,3}, Li Ma¹, Yupeng He³, Zhongwei Li¹, Chris Benner⁴, 田村 功¹, Marie N. Krause¹, Joseph R. Nery³, Tingting Du³, Zhuzhu Zhang³, 菱田 友昭¹, 高橋 悠太^{1,6}, 相澤 絵美¹, Na Young Kim¹, Jeronimo Lajara⁷, Pedro Guillen^{7,8}, Joseph M. Campistol⁹, Concepcion Rodriguez Esteban¹, Pablo J. Ross¹⁰, Alan Saghatelian¹¹, Bing Ren⁵, Joseph R. Ecker^{2,3}, Juan Carlos I. Belmonte¹ (¹The Salk Institute for Biological Studies, Gene Expression Laboratory, ²Howard Hughes Medical Institute, ³The Salk Institute for Biological Studies, Genomic Analysis Laboratory, ⁴The Salk Institute for Biological Studies, Integrated Genomics, ⁵Ludwig Institute for Cancer Research, UCSD, ⁶筑波大学・筑波大学生命領域学際研究センター, ⁷Grado en Medicina, Universidad Cato'lica, San Antonio de Murcia, ⁸Avenida Ventisquero de la Condesa, ⁹Hospital Clinic of Barcelona, Carrer Villarroya, ¹⁰UC Davis, ¹¹The Salk Institute for Biological Studies, Peptide Biology Laboratory, ¹²近畿大学・農学部・バイオサイエンス学科)

[11:01]

2W12-6

生殖サイクルにおけるゲノムインプリンティングのプログラミング

山口 新平^{1,2} (阪大・生命, ²JST・さきがけ)

[11:24]

Conclusion

伊川 正人 (大阪大学)



2W13 第13会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ルビー)

9:00-11:30 [E]

Structures and biological functions of non-B DNA and its application for manipulation of biological systems

Organizers : Hisao Masai (Tokyo Metropolitan Institute of medical Science)

Daisuke Miyoshi (Konan University)

2W13-1

[9:00]

Raison d'être of non-B DNA structures as deduced by genome-wide analyses and its application to chromatin regulationOsamu Miura¹, Akiko Takizawa¹, Takashi Ohyama^{1,2} (¹Grad. Sch. Adv. Sci. and Eng., Waseda Univ., ²Dept. Biol., Fac. Educ. and Integrated Arts and Sci., Waseda Univ.)

2W13-2

[9:20]

Chemical Biology Studies on Trinucleotide Repeat Disease using Repeat-Binding Molecules

Kazuhiko Nakatani (ISIR, Osaka Univ.)

2W13-3

[9:42]

Macrocyclic polyoxazoles as selective G-quadruplex ligands

Kazuo Nagasawa (Tokyo University of Agriculture and Technology)

2W13-4

[10:02]

Structure and recognition of G-quadruplexes

Anh tuan Phan (School of Physical and Mathematical Sciences, Nanyang Technological University, Singapore)

2W13-5

[10:27]

Interaction of Rif1 and G-quadruplex forms a basis of chromatin reorganization to regulate DNA replicationYutaka Kanoh¹, Seiji Matsumoto¹, Rino Fukatsu¹, Naoko Kakusho¹, Kenji Moriyama¹, Keisuke Iida², Kazuo Nagasawa², Hisao Masai¹ (¹Dept. of Genome Med., Tokyo Metropol. Inst. of Med. Sci., ²Dept. of Biotech. Life Sci., Fac. of Tech., Tokyo Univ. of Agric. Tech.)

2W13-6

[10:47]

G-quadruplex ligands functioning under molecular crowding conditions and their applications

Daisuke Miyoshi (FIRST, Konan Univ.)

2W13-7

[11:07]

G-quadruplexes Control Gene Expression under Molecular Crowding Condition

Naoki Sugimoto (FIBER, Konan University)

Conclusion

[11:29]

Daisuke Miyoshi (Konan University)

2W16 第16会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール)

9:00-11:30 [J]

細胞機能を解析し創る新技術：1分子から時間空間制御まで

オーガナイザー：妹尾 昌治 (岡山大学)

Introduction

[9:00]

妹尾 昌治 (岡山大学)

2W16-1

[9:05]

イオンチャネルの1分子計測および操作

井出 徹 (岡山大学)

2W16-2

[9:25]

蛍光1分子イメージング技術に基づいた高精度蛍光顕微鏡法の開発

横田 浩章 (光産創大・光バイオ)

2W16-3

[9:45]

Calmodulin Signal Networkのインターラクトーム解析

徳光 浩 (岡山大・院自然科学・生命医用工学)

2W16-4	[10:05]
AMPKの機能を時空間的に解析するためのツールの開発について	
宮本 崇史 (東大・医科研)	
2W16-5	[10:25]
可視光および近赤外光による細胞内RNA導入の局所的誘導	
大槻 高史, 白神 かおり, 渡邊 和則 (岡山大学・院自然)	
2W16-6	[10:45]
単鎖DNA-ポリエチレングリコール-脂質複合体を用いた細胞表面工学とその応用	
有馬 祐介, 岩田 博夫 (京大・再生研)	
2W16-7	[11:05]
がん幹細胞：創製およびniche解析への応用	
妹尾 昌治 (岡大・院自・生医工)	
Conclusion	[11:25]
徳光 浩 (岡山大・院自然科学・生命医用工学)	
2W19	第19会場 (神戸国際会議場 5F 501会議室) 9:00-11:30 [J]
老化の分子メカニズムと関連する老年疾患	
オーガナイザー：藤田 香里 (京都大学)	
丸山 光生 (国立長寿医療研究センター研究所/名古屋大学)	
Introduction	[9:00]
丸山 光生 (国立長寿医療研究センター研究所/名古屋大学)	
2W19-1	[9:03]
Pathophysiological roles of cellular senescence in pulmonary aging	
杉本 昌隆 (長寿研・老化細胞)	
2W19-2	[9:21]
疾患特異的多能性幹細胞を用いた早老症ウェルナー症候群の早期老化発症機序の解明	
嶋本 顕 ¹ , 加藤 尚也 ^{1,2} , 横手 幸太郎 ² , 田原 栄俊 ⁴ (1) 広大・院医歯薬・細胞分子生物学, ² 千葉大・院医・細胞治療内科学)	
2W19-3	[9:39]
老化に伴う細胞内輸送機能の障害とアルツハイマー病態	
木村 展之 (国立長寿研・アルツハイマー病研究部・病因遺伝子研究室)	
2W19-4	[9:57]
エピゲノム変化誘導による個体老化の誘導	
早野 元詞 ¹ , Luis A. Rajman ¹ , Sachin Thakur ¹ , Michael Bonkowski ¹ , Neha Garg ¹ , Jae-Hyun Yang ¹ , Philipp Oberdoerffer ² , David A. Sinclair ¹ (1) ハーバードメディカルスクール・ジェネティクス, ² NIH, 癌研究センター)	
2W19-5	[10:15]
鉄欠乏状態が加齢疾患リスクと活性酸素シグナルに与える影響	
井上 博文, 勝間田(坪井) 理恵, 高橋 信之, 上原 万里子 (東京農大・応生・食品安全)	
2W19-6	[10:33]
腫瘍抑制因子 Menin は T 細胞の老化を制御する	
桑原 誠 ^{1,2,3} , 鈴木 淳平 ⁴ , 山下 政克 ^{1,2,3} (1) 愛大・院医・免疫学, ² 愛大病院・TRC, ³ 愛大・PROS・免疫制御, ⁴ 愛大・院医・血液・免疫・感染症内科)	
2W19-7	[10:51]
心不全、肥満における 脂肪不全の意義	
清水 逸平 ^{1,2} , 南野 徹 ¹ (1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学, ² 新潟大学大学院医歯学総合研究科 先進老化制御学講座)	
2W19-8	[11:09]
p53 isoforms regulate aging- and tumor-associated replicative senescence	
藤田 香里 (京大・iPS細胞研・増殖分化機構)	



Conclusion

[11:27]

藤田 香里 (京都大学)

2W20 第20会場(神戸国際会議場 5F 502会議室)

9:00-11:30 [J/E]

複製フォーク：多様なDNAトランスアクションのプラットフォーム

オーガナイザー：鐘巻 将人 (国立遺伝学研究所)
高橋 達郎 (大阪大学)

Introduction

[9:00]

鐘巻 将人 (国立遺伝学研究所)

2W20-1

[9:05]

ゲノム複製におけるDNAポリメラーゼ間での機能分担と協調性

大学 保一^{1,2}, Andrea Keszthelyi³, 宮部 泉³, Antony M. Carr³ (¹東北大・学際科学フロンティア研究所, ²東北大・生命科学, ³サセックス大学・Genome Damage and Stability Centre)

2W20-2

[9:23]

クランプ・ローダー系による進行障害時の複製フォークの機能制御

釣本 敏樹, 大橋 英治, 藤澤 遼, 武石 幸容 (九大・理学研究院・生物科学)

2W20-3

[9:41]

Binding of multiple Rap1 proteins stimulates chromosome breakage induction during DNA replication

Katsunori Sugimoto (Dept. Microbio. and Mol. Genet., New Jersey Med. Sch. Rutgers Univ.)

2W20-4

[9:59]

Artificial destruction of active DNA replication forks reveals the HR-dependent fork recovery involving Mcm8-9

Toyoaki Natsume¹, Kohei Nishimura¹, Masato Kanemaki^{1,2} (¹Center for Frontier Research, National Institute of Genetics, ²Department of Genetics, SOKENDAI)

2W20-5

[10:17]

複製ポリメラーゼデルタによる損傷乗り越えの可能性

廣田 耕志^{1,2}, 津田 雅貴¹, Mohiudin Mohiudin¹, 釣本 敏樹³, 山元 淳平⁴, 岩井 成憲¹, Zvi Livneh⁵, Julian Sale⁶, 武田 俊一¹ (¹京大・医, ²首都大・理工・化学, ³九大・理, ⁴阪大・理工, ⁵ワイズマン研究所, ⁶ケンブリッジ大)

2W20-6

[10:35]

Understanding Roles and Significance of DNA Replication in the Reprogramming Nuclei

Tomomi Tsubouchi^{1,2,3}, Jorge Soza-Ried¹, Karen Brown¹, Francesco M. Piccolo¹, Irene Cantone¹, David Landeira¹, Hakan Bagci¹, Carlos F. Pereira^{1,4}, Helfrid Hochegger², Matthias Merkenschlager¹, Amanda G. Fisher¹ (¹Imperial College London, UK, ²Univ. of Sussex, UK, ³NIBB, ⁴Univ. of Coimbra, Portugal)

2W20-7

[10:53]

複製ストレスによるFANCD2集積部位のゲノムワイド解析

石合 正道¹, 岩崎 航², 高橋 数彦², 久郷 和人³, 小田 有沙³, 大木 千夏¹, 福井 哲也¹, 河合 秀彦⁴, 山本 卓³, 太田 邦史³, 印南 秀樹², 高田 稔¹ (¹京大・放生研, ²総研大院・先端科学, ³東大院・総合文化, ⁴広大・原医研, ⁵広大院・理)

2W20-8

[11:11]

DNA複製とミスマッチ修復の機能的相関

高橋 達郎¹, 河添 好孝¹, 釣本 敏樹², 中川 拓郎¹, 升方 久夫¹ (¹阪大・院理・生物科学, ²九大・システム生命)

Conclusion

[11:29]

高橋 達郎 (大阪大学)

2W22 第22会場(神戸国際展示場 2F 2A会議室)

9:00-11:30 [J]

複雑系システム生命科学の現在

オーガナイザー：太田 邦史 (東京大学)
澤井 哲 (東京大学)

Introduction

[9:00]

太田 邦史 (東京大学)

2W22-1		[9:01]
	酵素量変化による生命システムの時間スケール制御 畠山 哲央, 金子 邦彦 (東大・院総合文化)	
2W22-2		[9:22]
	時差ボケの理論研究：東西旅行の非対称性について 郡 宏 (お茶大・院・情報)	
2W22-3		[9:43]
	細胞の集団的運動の理解するための構成的・定量的アプローチ 澤井 哲 (東大・院・総合文化)	
2W22-4		[10:04]
	大腸菌進化実験と細胞シミュレーションを用いた適応進化ダイナミクスの解析 古澤 力 (理研・QBiC)	
2W22-5		[10:25]
	細胞の増殖と死に見られる定量的法則 若本 祐一 (東大・総合文化)	
2W22-6		[10:46]
	グルコース飢餓ストレス時のセンス・アンチセンス長鎖非コードRNAを介した遺伝子発現制御 小田 有沙 ¹ , 畠山 哲央 ² , 竹俣 直道 ¹ , 石井 智子 ¹ , 平田 祥人 ³ , 合原 一幸 ³ , 金子 邦彦 ² , 太田 邦史 ¹ (¹ 東大・総文・広域生命, ² 東大・総文・広域基礎, ³ 東大・生研)	
2W22-7		[11:07]
	網膜桿体細胞における核内染色体構造形成と光情報伝達過程の数理モデル 粟津 暁紀 ^{1,2} , 高本 裕 ¹ (¹ 広大理, ² 広大クロマチン)	
総合討論		[11:28]
2W24	第24会場(神戸国際展示場 3F 3A会議室)	9:00-11:30 [J/E]
フォスタグ技術による神経科学へのアプローチ～タンパク質リン酸化研究の新潮流～		
オーガナイザー：細川 智永 (理化学研究所) 木下 英司 (広島大学)		
2W24-1		[9:00]
	タンパク質リン酸化解析のためのフォスタグテクノロジー：原理と応用 木下 英司 (広島大院・医歯薬保健学・医薬分子機能科学)	
2W24-2		[9:12]
	Phos-tagなどのリン酸化プロテオミクス技術の結集によるキナーゼ基質の同定と機能解析 小迫 英尊 (徳島大・藤井センター)	
2W24-3		[9:34]
	A phosphoproteomic approach to investigate mechanism of 1-bromopropane-induced central nervous system toxicity Zhenlie Huang ^{1,2} , Sahoko Ichihara ^{1,3} , Shinji Oikawa ⁴ , Jie Chang ¹ , Lingyi Zhang ^{1,5} , Gaku Ichihara ^{1,5} (¹ Dept. of Occup. Environ. Health, Nagoya Univ. Grad. Sch. of Med., ² Guangdong Provin. Key Lab. of Occup. Disease Prevent. Treat., Guangdong Provin. Hosp. for Occup Disease Prevent. Treat., ³ Grad. Sch. of Reg. Innov. Mie Univ., ⁴ Dept. of Environ. Mol. Med., Mie Univ., ⁵ Dept. of Occup. Environ. Health, Fac. of Pharma. Sci., Tokyo Univ. of Sci.)	
2W24-4		[9:56]
	病理Tauリン酸化のPhos-tag SDS-PAGE法を用いた解析 木村 妙子, 久永 眞市 (首都大・理工・生命科学)	
2W24-5		[10:18]
	PINK1-Parkinシグナルによるミトコンドリアの品質管理機構 柴 佳保里, 今居 譲, 服部 信孝 (順天堂大学大学院 医学研究科)	



2W24-6

[10:40]

神経刺激により惹起される脳内エストロゲン合成酵素・アロマターゼのリン酸化・脱リン酸化の重要な役割
原田 信広, 林 孝典 (藤田保健大・医・生化学)

2W24-7

[11:02]

シナプス可塑性関連因子のリン酸化の化学量論
細川 智永 (理研・脳科学)

2W26 第26会場(神戸商工会議所3F 神商ホールA)

9:00-11:30 [J]

5-アミノレブリン酸：その多様な生理機能と農学から医学までの応用

オーガナイザー：北 潔 (東京大学)
千葉櫻 拓 (東京農業大学)
小倉 俊一郎 (東京工業大学)

2W26-1

[9:00]

5-アミノレブリン酸の農業・畜産分野への応用

渡辺 圭太郎¹, 宮成 節子¹, 西川 誠司¹, 田中 徹² (¹コスモALA株式会社, ²SBIファーマ株式会社)

2W26-2

[9:21]

5-アミノレブリン酸による毛成長の促進

松崎 貴 (鳥根大・生物資源・生物)

2W26-3

[9:42]

5-aminolevulinic acid (5-ALA), its application and effect mechanism in allo- and autoimmune response via induction of HO-1

李 小康 (国立成育医療研究センター・移植免疫研究室)

2W26-4

[10:03]

5-アミノレブリン酸(ALA)添加後の腫瘍特異的ポルフィリン蓄積

小倉 俊一郎¹, 萩谷 祐一郎¹, 中島 元夫², 田中 徹² (¹東工大・院生命, ²SBIファーマ)

2W26-5

[10:24]

がん温熱増感剤としての5-アミノレブリン酸

千葉櫻 拓¹, 桑村 晴奈¹, 佐藤 匠¹, 飯田 友貴¹, 高橋 究², 小倉 俊一郎³, 中島 元夫², 田中 徹², 吉川 博文¹ (¹東農大・応生科・バイオ, ²SBIファーマ(株), ³東工大院・生命理工)

2W26-6

[10:45]

5-アミノレブリン酸合成酵素ALAS1遺伝子破壊マウスにおける、グリコーゲン代謝異常と関連した耐糖能異常とインスリン抵抗性の惹起

中島 修¹, 斉藤 真一¹, 野原 豪和¹, 中野 博¹, 白澤 信行¹, 岡野 聡¹, 高橋 究², 田中 徹², 中島 元夫² (¹山形大・医, ²SBIファーマ)

2W26-7

[11:06]

新規抗マラリア薬としての5-アミノレブリン酸

北 潔¹, 鈴木 重雄^{1,3}, 小松谷 啓介¹, Emmanuel O. Balogun¹, 小倉 俊一郎², 高橋 究³, 田中 徹³, 中島 元夫³ (¹東大・院医・生物医化学, ²東工大・院生・共通バイオ, ³SBIファーマ)

総合討論

[11:27]

2W27 第27会場(神戸商工会議所3F 神商ホールB)

9:00-11:30 [J]

ライブイメージングから迫る植物科学

オーガナイザー：植村 知博 (東京大学)
別役 重之 (JSTさきがけ/東京大学)

Introduction

[9:00]

別役 重之 (JSTさきがけ/東京大学)

2W27-1	[9:02]
植物におけるトランスゴルジネットワーク(TGN)の動態と生理機能	
植村 知博 (東大・院理・生物科学)	
2W27-2	[9:20]
蛍光顕微鏡一体型原子間顕微鏡を用いた生細胞の生体膜と皮質アクチンネットワーク動態の可視化解析	
吉田 藍子 ¹ , 酒井 信明 ² , 植草 良嗣 ² , 桑田 昌宏 ¹ , 伊東 修一 ² , 吉村 成弘 ¹ (¹ 京大・院生命・統合生命科学, ² オリンパス(株)・研究開発センター)	
2W27-3	[9:38]
受精卵の極性化動態～植物の体軸形成のしくみ～	
木全 祐資 ¹ , 栗原 大輔 ^{1,2} , 東山 哲也 ^{1,2,3} , 植田 美那子 ^{1,3} (¹ 名古屋大・院・理, ² 名古屋大・JST・ERATO, ³ 名古屋大・WPI-ITbM)	
2W27-4	[9:56]
シロイヌナズナの側根発生を3次元タイムラプスイメージングで見る	
郷 達明 ¹ , 深城 英弘 ¹ , Malcolm J. Bennett ² (¹ 神戸大・院・理, ² CPIB, ノッティンガム大学)	
2W27-5	[10:14]
視ることで識る植物免疫反応場の形成機構	
別役 重之 ^{1,2} (¹ JSTさきがけ, ² 東大・院理・生物科学)	
2W27-6	[10:32]
ライブイメージングで捉える寄生植物と宿主植物の植物間相互作用	
若竹 崇雅 ^{1,2} , Thomas Spallek ² , Simon Saucet ² , 吉田 聡子 ² , 白須 賢 ^{1,2} (¹ 東大・院理・生物科学, ² 理研CSRS)	
2W27-7	[10:50]
Nile-red-in-silicone-oil染色法と方向選択的局所二値化法(DSLT)による葉内三次元構造の抽出	
川瀬 貴士 ¹ , 菅野 茂夫 ² , 嶋田 知生 ³ , 西村 いくこ ³ (¹ 京大・院情・システム科学, ² 徳島大・農工商連携センター, ³ 京大・院理・生物科学)	
2W27-8	[11:08]
超解像ライブイメージングで迫る細胞内膜交通	
中野 明彦 ^{1,2} (¹ 東大・院理系・生物科学, ² 理研・光子工学・生細胞超解像イメージング)	
Conclusion	[11:28]
植村 知博 (東京大学)	
2W2-p	14:00-16:30 [J]
第2会場(神戸ポートピアホテル 本館B1F 借楽1)	
NADPH oxidaseによる活性酸素種の積極的生成と動物・植物・菌類の高次生命機能	
オーガナイザー：朽津 和幸 (東京理科大学) 勝山 真人 (京都府立医科大学)	
Introduction	[14:00]
朽津 和幸 (東京理科大学)	
2W2-p-1	[14:03]
活性酸素生成型NADPH oxidaseの進化と動物における調節機構	
住本 英樹, 宮野 佳 (九州大学大学院医学研究院生化学分野)	
2W2-p-2	[14:27]
ほ乳類におけるNOX/NADPH oxidaseの生理機能	
勝山 真人 ¹ , 矢部 千尋 ² (¹ 京都府医大・院医・中研RI, ² 京都府医大・院医・病態分子薬理)	
2W2-p-3	[14:51]
線虫におけるDual Oxidase/BLI-3の役割	
森部 弘樹 ¹ , 小央 良二 ² , 目加田 英輔 ² (¹ 久留米大・医・生物, ² 阪大・微研・細胞機能)	
2W2-p-4	[15:15]
糸状菌のNADPH oxidaseを介した活性酸素生成による、有性生殖、形態形成および植物への感染の制御	
竹本 大吾 (名大院・生農)	

2W2-p-5 [15:39]**植物NADPH oxidase/RbohのCa²⁺・リン酸化を介した活性制御機構と発生・生殖・ストレス応答における生理的役割**朽津 和幸^{1,2}, 橋本 研志¹, 船木 洋一¹, 木村 貴史¹, 杉浦 誠¹, 藪田 渉二¹, 賀屋 秀隆^{1,3} (¹東京理科大・院・理工・応用生物学, ²東京理科大・イメージングフロンティアセンター, ³農業生物資源研)**2W2-p-6** [16:03]**植物免疫に関わるNADPH oxidaseの活性化機構**

吉岡 博文 (名大・院・生農)

Conclusion [16:27]

勝山 真人 (京都府立医科大学)

2W3-p 第3会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 階楽2) 14:00-16:30 [J]**生命を司る少数分子のふるまい**

オーガナイザー: 前島 一博 (国立遺伝学研究所)

上田 泰己 (東京大学)

Introduction [14:00]前島 一博¹, 上田 泰己² (¹国立遺伝学研究所, ²東京大学)**2W3-p-1** [14:03]**微小反応場における分子反応素過程を理解するための超解像「機能」イメージングに向けた取り組み**

永井 健治 (阪大・産研)

2W3-p-2 [14:24]**ゆらぎからモーター数を数える ~複数分子モーターによる協同的オルガネラ輸送~**

林 久美子 (東北大・院工・応用物理)

2W3-p-3 [14:45]**一分子イメージングによる細胞質内での反応速度定数の直接計測**

岡田 康志 (理研・生命システム研究センター)

2W3-p-4 [15:06]**DNA-タンパク質相互作用のデジタルカウンティング**

原田 慶恵 (京大・WPI-iCeMS)

2W3-p-5 [15:27]**単一細胞における1分子レベルでのmRNA・タンパク質発現ゆらぎの動態観察**

谷口 雄一 (理研・QBiC)

2W3-p-6 [15:48]**細胞の中でDNAはどのように収納され、どのように振る舞うのか?**

前島 一博 (国立遺伝学研究所)

2W3-p-7 [16:09]**外部光環境の内部表現機構としての概日時計システム**

上田 泰己 (東大/理研)

2W4-p 第4会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 階楽3) 14:00-16:30 [J]**生活習慣病のバイオマーカー研究—原因究明から治療標的の同定まで**

オーガナイザー: 日和佐 隆樹 (千葉大学)

北園 孝成 (九州大学)

2W4-p-1 [14:00]**動脈硬化関連疾患に対応する血清抗体マーカーの同定**

日和佐 隆樹 (千葉大・院・医・遺伝子生化学)

2W4-p-2 **[14:24]**
脳梗塞バイオマーカー探索

 吾郷 哲朗¹, 鴨打 正浩², 北園 孝成¹ (¹九大・院医・病態機能内科学, ²九大・院医・医療経営管理学)

2W4-p-3 **[14:48]**
セリンプロテアーゼプロスタシンによる肝糖代謝制御

北村 健一郎 (山梨大・医・第3内科)

2W4-p-4 **[15:12]**
多機能ペプチダーゼNRDcの急性冠症候群予知マーカーとしての有用性

 西 英一郎¹, 大野 美紀子¹, 陳 博敏¹, 西 清人¹, 西城 さやか¹, 坂本 二郎¹, 森田 雄介¹, 日和佐 隆樹², 木村 剛¹ (¹京大・院医・循環器内科学, ²千葉大・院医・遺伝子生化学)

2W4-p-5 **[15:36]**
レニン・アンジオテンシン系に関する新しいバイオマーカーの開発

西山 成, 小堀 浩幸, 柴山 弓季 (香川大・医・薬理学)

2W4-p-6 **[16:00]**
アンギオテンシン受容体によるアミロイドβ蛋白産生制御

駒野 宏人, 郷 鶴 (岩手医大・薬)

Conclusion **[16:24]**

北園 孝成 (九州大学)

2W5-p 第5会場 (神戸ポートピアホテル 本館B1F 和楽) **14:00-16:30 [E]**
Primary causes and therapies of Alzheimer's disease revealed by plasma membrane and membrane trafficking

 Organizers : Makoto Michikawa (Nagoya City University)
 Toshiharu Suzuki (Hokkaido University)

Introduction **[14:00]**

Makoto Michikawa (Nagoya City University)

2W5-p-1 **[14:05]**
Effect of Aβ on release of exosome and apoE from astrocytes

Mohammad Abdullah, JianSheng Gong, Makoto Michikawa (Nagoya City University, Graduate School of Medical Sciences)

2W5-p-2 **[14:33]**
Tau pathology regulated by membrane lipid

Akio Sumioka, Asako Goto, Yoshiyuki Soeda, Akihiko Takashima (Natl. Ctr. for Geriatrics and Gerontology)

2W5-p-3 **[15:01]**
Membrane lipid composition and γ-secretase cleavage of Alzheimer's disease-related proteins

 Saori Hata¹, Yi Piao¹, Masaki Nishimura², Toshiharu Suzuki¹ (¹Fac. of Pharm. Sci., Hokkaido Univ., ²Mol. Neurosci. Res. Ctr, Shiga Univ. of Med. Sci.)

2W5-p-4 **[15:29]**
Aβ generation is regulated by p24 α2 at the presynaptic terminals

Lei Liu, Masaki Nishimura (Mol Neurosci Res Cent, Shiga Univ of Med Sci)

2W5-p-5 **[15:57]**
Very low density lipoprotein receptor regulates dendritic spine formation in a RasGRF1/CaMKII dependent manner

Hyang-Sook Hoe (Dept of Neural Dev and Dis, Neurodegener Dis Lab, KBRI, Daegu, South Korea)

Conclusion **[16:25]**

Toshiharu Suzuki (Hokkaido University)

2W6-p 第6会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 生田)

14:00-16:30 [J]

疾患の治療を指向した神経糖鎖生物学オーガナイザー：北川 裕之(神戸薬科大学)
門松 健治(名古屋大学)**2W6-p-1**

[14:00]

神経系におけるムチン型糖鎖西原 祥子^{1,2}, 木下 貴明², 伊藤 和義² (1創価大学 理工学部 共生創造理工学科, ²創価大学 大学院 工学研究科 生命情報工学専攻)**2W6-p-2**

[14:25]

 α 1,3フコース転移酵素Fut10が生成成するLeXの機能解析等 誠司^{1,2}, 吉村 武², 成松 久³, 池中 一裕² (1滋賀医大・統合臓器生理, ²生理研・分子神経生理, ³産総研・糖鎖医工学セ)**2W6-p-3**

[14:50]

コンドロイチン硫酸による量依存的な臨界期制御

杉山 清佳(新潟大・院医・神経発達)

2W6-p-4

[15:15]

軸索伸長を制御する糖鎖暗号の解読

坂元 一真, 尾崎 智也, Yuanhao Gong, 門松 健治(名古屋大学大学院医学系研究科生物化学講座)

2W6-p-5

[15:40]

福山型筋ジストロフィー及び類縁疾患の糖鎖病態と分子標的治療

戸田 達史(神戸大・院医・神経内科学/分子脳科学)

2W6-p-6

[16:05]

GNEミオパチー：シアル酸生成低下が引き起こす遺伝性筋疾患

野口 悟(国立精神神経セ・神経研・疾病一)

2W7-p 第7会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 布引)

14:00-16:30 [J/E]

呼吸鎖複合体とATP合成の新描像オーガナイザー：高島 成二(大阪大学)
鈴木 俊治(東京大学)**Introduction**

[14:00]

鈴木 俊治(東京大学)

2W7-p-1

[14:03]

IF1(ATP合成酵素の阻害因子)は何をしているのか

吉田 賢右(京都産業大学)

2W7-p-2

[14:15]

New research developments in structure and function of mitochondrial respiratory chain complexes

Kyoko Shinzawa-Itoh (Dept. of Life Sci., Univ. of Hyogo)

2W7-p-3

[14:35]

低酸素環境下で生息する回虫成虫複合体IIの構造・機能相関と特異的阻害剤の開発原田 繁春¹, 稲岡 ダニエル健², 北 潔² (1京都市織大・院・応生, ²東大院・医・生物医学)**2W7-p-4**

[14:55]

最大呼吸鎖活性を上昇させる機能分子の発見と機能解析

高島 成二(阪大・院医・医化学)

2W7-p-5

[15:15]

Structure of mitochondrial ATP synthases and their role in shaping cristae membranesKaren M. Davies¹, Matteo Allegretti¹, Thorsten Blum¹, Alex Muehleip¹, Claudio Anselmi², Jose D. Faraldo-Gomez², Werner Kuehlbrandt¹ (1Department of Structural Biology, Max Planck Institute of Biophysics, 2Theoretical molecular Biophysics Section, National Heart, Lung and Blood Institute, National Institutes of Health)

2W7-p-6 [15:40]

ヒトF1-ATPaseのエネルギー変換と、生体内因子・天然物による調節
鈴木 俊治 (東大・院工・応用化学)

2W7-p-7 [16:00]

ミトコンドリア呼吸鎖異常症とそれを引き起こす様々な遺伝子群
大竹 明¹, 村山 圭², 岡崎 康司³ (1埼玉医大・小児, 2千葉こども・代謝, 3埼玉医大・ゲノム)

Conclusion [16:25]

高島 成二 (大阪大学)

2W8-p 第3会場(神戸ポートピアホテル本館B1F北野) 14:00-16:30 [J]

脳内免疫と疾患 -神経科学のオフェンス研究からディフェンス研究へ-

オーガナイザー: 平澤 孝枝 (帝京大学)
井上 誠 (Duke University School of Medicine)

2W8-p-1 [14:00]

神経-免疫連関に基づいた自閉スペクトラム症の新たな治療戦略
内野 茂夫, 和賀 央子, 古田島 浩子 (帝京大・理工・バイオ)

2W8-p-2 [14:23]

多発性硬化症と腸管免疫
三宅 幸子 (順天堂大学医学部免疫学)

2W8-p-3 [14:46]

幼若期ストレスにおけるストレス耐性機能の獲得とミクログリア
平澤 孝枝 (帝京大学理工学部バイオサイエンス学科)

2W8-p-4 [15:09]

交感神経系によるリンパ球動態の制御メカニズム
鈴木 一博, 中井 晶子, 早野 祐紀, 古田 書都 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター)

2W8-p-5 [15:32]

IFN β 感受性と非感受性EAEの分子機構
井上 誠¹, 篠原 真理^{1,2} (1デューク大学医学部, 2デューク大学医学部)

2W8-p-6 [15:55]

ゲートウェイ反射による中枢神経系炎症の制御
村上 正晃 (北大・遺制研・院医・分子神経免疫)

総合討論 [16:18]

2W9-p 第9会場(神戸ポートピアホテル本館B1F菊水) 14:00-16:30 [E]

Transcription factors in cell growth and differentiation

Organizers: Akihiko Yokoyama (Kyoto University)
Tomohiko Tamura (Yokohama City University)

Introduction [14:00]

Tomohiko Tamura (Yokohama City University)

2W9-p-1 [14:01]

Surprises from studies of mammalian transcriptomes

Piero Carninci (RIKEN Center for Life Science Technologies (CLST), Division of Genomic Technologies (DGT))

2W9-p-2 [14:16]

Chromatin remodeling during osteoclast differentiation determined by DNase-seq.

Yuuki Imai^{1,2,3}, Kazuki Inoue² (1PROS, Ehime Univ., 2ADRES, Ehime Univ., 3Grad. Sch. of Med., Ehime Univ.)

**2W9-p-3** [14:31]**Cell fate decision on chromatin by MyoD**

Yasuyuki Ohkawa (Dept. of Ad. Med. Initiative. Faculty of Med. Kyushu Univ.)

2W9-p-4 [14:46]**Pitavastatin induces chromatin structure change in the KLF4 gene in endothelial cells**Takahide Kohro¹, Takashi Maejima², Tsuyoshi Inoue², Youichiro Wada³ (¹Department of Clinical Informatics, Jichi Medical University, ²Department of Molecular Medicine, RCAST, The University of Tokyo, ³Radioisotope Center, The University of Tokyo)**2W9-p-5** [15:01]**Transcription factor IRF8 governs the enhancer landscape dynamics during monocyte and dendritic cell development**Daisuke Kurotaki¹, Jun Nakabayashi², Akira Nishiyama¹, Haruka Sasaki¹, Naofumi Kaneko¹, Shin-ichi Koizumi¹, Keiko Ozato³, Yutaka Suzuki¹, Tomohiko Tamura¹ (¹Dept. of Immunol., Yokohama City Univ. Grad. Sch. of Med., ²Adv. Med. Res. Center, Yokohama City Univ., ³NICHD, NIH, USA, ⁴Dept. of Comput. Biol., Grad. Sch. of Frontier Sci., Univ. of Tokyo)**2W9-p-6** [15:15]**Transcription factor IRF4 orchestrates gene regulatory networks for germinal center B cell and plasma cell via its alternative regulatory motifs**Kyoko Ochiai^{1,2}, Haruka Kondo¹, Yasunobu Okamura³, Kengo Kinoshita³, Kazuhiko Igarashi^{1,2} (¹Biochemistry, Grad. Sch. of Med., Tohoku Univ., ²Japan Agency for Med. Res. and Dev., ³Grad. Sch. of Info. Sci., Tohoku Univ.)**2W9-p-7** [15:30]**Transcriptional networks that control B cell fate determination**Tomokatsu Ikawa¹, Tomohiro Miyai¹, Hiroshi Kawamoto² (¹Lab. for Immune Regeneration, RIKEN IMS, ²Dept. of Immunology, Kyoto University)**2W9-p-8** [15:45]**MafB regulates functions of homeostasis in macrophage**

Michito Hamada, Mai Thi Nhu Tran, Keigo Asano, Megumi Nakamura, Hyojung Jeon, Takashi Kudo, Satoru Takahashi (Dept. of Anat. and Emb., Fac. of Med., Univ. of Tsukuba)

2W9-p-9 [16:00]**Mechanisms of Gata1 gene inactivation in hematopoietic stem cells**

Takashi Moriguchi, Lei Yu, Masayuki Yamamoto (Dept. of Med Biol Chem., Grad. Sch. of Med., Tohoku Univ)

2W9-p-10 [16:15]**Mechanisms of aberrant transcription by MLL fusion proteins**

Akihiko Yokoyama, Hiroshi Okuda (Kyoto Univ. Grad. Sch. of Med.)

Conclusion [16:29]

Akihiko Yokoyama (Kyoto University)

2W10-p 第10会場(神戸ポートピアホテル 南館 B1F トバース)

14:00-16:30 [J]

植物エピゲノム研究の最前線

オーガナイザー：関 原明 (理化学研究所)
 松永 幸大 (東京理科大学)
 木下 哲 (横浜市立大学)

Introduction [14:00]

関 原明 (理化学研究所)

2W10-p-1 [14:05]**エピジェネティクに制御される植物の新規乾燥耐性機構**金 鍾明^{1,2}, 藤 泰子³, 関 原明^{1,3,4} (¹理研, ²CREST JST, ³遺伝研, ⁴横市大院・木原生研)**2W10-p-2** [14:25]**植物におけるストレス応答性トランスポソンのエピジェネティック制御**

伊藤 秀臣 (北大・院理・生物科学)

2W10-p-3 **[14:45]**
染色体領域形成によるクロマチン状態及び環境応答制御の可能性

 坂本 卓也¹, 坂本 勇貴¹, 山下 朋恵¹, 松井 章浩², 金 鍾明², 関 原明², 松永 幸大¹ (¹東理大・理工・応用生物科学, ²理研・CSRS)

2W10-p-4 **[15:05]**
シロイヌナズナKUMONOSU遺伝子はヘテロクロマチンサイレンシングに関与する

 池田 陽子¹, Olivier Mathieu² (¹岡大・植物研, ²フランス国立科学研究センター)

2W10-p-5 **[15:25]**
シロイヌナズナ属多年草自然集団におけるヒストン修飾の季節解析

 西尾 治幾¹, プザス ディアナ², 坂本 智昭³, 倉田 哲也⁴, 鈴木 穰⁵, 菅野 純夫⁶, 永野 惇^{6,7}, 工藤 洋¹ (¹京大・生態研, ²筑波大・院生命, ³京産大・総合生命, ⁴東北大・理, ⁵東京大・院新領域, ⁶龍谷大・農, ⁷JST さきがけ)

2W10-p-6 **[15:45]**
陸上植物におけるヒストンバリエントH3.3のゲノムワイドな局在とエピゲノムへの機能

 玉田 洋介^{1,2}, 程 朝陽^{1,3}, 西山 智明^{3,4}, 壁谷 幸子¹, 日渡 祐二^{1,2}, 久保 稔³, 倉田 哲也^{3,5}, 長谷部 光泰^{1,2,3} (¹基生研・生物進化, ²総研大・生命科学, ³ERATO, JST, ⁴金沢大・学際科学実験センター, ⁵奈良先端大・バイオ)

2W10-p-7 **[16:05]**
花成ホルモン・フロリゲンによって誘導される植物幹細胞エピゲノムのリプログラミング

辻 寛之 (木原生物学研究所)

Conclusion **[16:25]**

松永 幸大 (東京理科大学)

2W11-p 第11会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F エメラルド) **14:00-16:30 [E]**
Membrane dynamics and lipids

Organizers : Fubito Nakatsu (Niigata University)

Hye-Won Shin (Kyoto University)

Introduction **[14:00]**

Hye-Won Shin (Kyoto University)

2W11-p-1 **[14:03]**
TBA

John Heuser (iCeMS, Kyoto University)

2W11-p-2 **[14:27]**
Visualization of the heterogeneous membrane distribution of sphingomyelin associated with cytokinesis, cell polarity and sphingolipidosis

 Asami Makino¹, Mitsuhiro Abe¹, Motohide Murate¹, Takehiko Inaba¹, Yilmaz Neval¹, Hullin-Matsuda Francoise¹, Takuma Kishimoto¹, Tomohiko Taguchi², Hiroyuki Arai², **Toshihide Kobayashi**¹ (¹RIKEN, ²Univ. of Tokyo)

2W11-p-3 **[15:11]**
Regulation of phospholipid asymmetry in the plasma membrane and its functional significance

Kazuma Tanaka, Tetsuo Mioka, Takaharu Yamamoto (Div. Mol. Int., Inst. Genet. Med., Hokkaido Univ.)

2W11-p-4 **[15:15]**
Heterogenous distribution of phospholipids in the membrane revealed by quick-freezing and freeze-fracture replica labeling

 Sho Takatori^{1,2}, Tsuyako Tatematsu², Jun Matsumoto², Takuya Akano², Jinglei Cheng², Sharmin Aktar², Toyoshi Fujimoto² (¹Dept. Neuropath. Neurosci., Grad. Sch. Pharm., Univ. Tokyo, ²Dept. Anat. & Mol. Cell Biol., Grad. Sch. Med., Nagoya Univ.)

2W11-p-5 **[15:39]**
Lipid trafficking at organelle membrane contact sites and its regulation

Kentaro Hanada (Natl. Inst. Infect. Dis., Dept. of Biochem. & Cell Biol.)



2W11-p-6 [16:03]

Membrane identity and lipid homeostasis controlled by PI4P at the plasma membrane

Fubito Nakatsu (Dept. of Neurochem. and Mol. Cell Biol., Grad. Sch. of Med. and Dent. Sci., Niigata Univ.)

Conclusion [16:27]

Fubito Nakatsu (Niigata University)

2W12-p 第12会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ダイヤモンド) 14:00-16:30 [J]

情報共有型再生医療研究の夜明けオーガナイザー：末盛 博文(京都大学)
中井 謙太(東京大学)

2W12-p-1 [14:00]

再生医療における情報共有の必要性について

中井 謙太(東大・医科研)

2W12-p-2 [14:15]

次世代シークエンサーによる再生医療のためのヒト間葉系幹細胞の品質管理岩田 隆紀¹, 朴 聖俊², 各務 秀明², 中井 謙太², 大和 雅之¹ (¹女子医・先端生命研, ²東大・医科研)

2W12-p-3 [14:35]

ゲノム編集した患者由来疾患iPS細胞の全ゲノム解析によって明らかになったこと曾根 岳史¹, 朴 聖俊², 田中 泰圭³, 太田 悦朗⁴, 日暮 憲道³, 中井 謙太², 廣瀬 伸一^{3,6}, 岡野 栄之¹ (慶應大・医・生理学, ²東大・医科研・ヒトゲノム解析セ, ³福岡大・てんかん分子病態研, ⁴北里大・医衛・免疫学, ⁵慈恵医大・医・小児科学, ⁶福岡大・医・小児科学)

2W12-p-4 [14:55]

多施設培養幹細胞のトランスクリプトーム比較解析

朴 聖俊, 中井 謙太(東大・医科研)

2W12-p-5 [15:15]

Integrin $\alpha v \beta 3$ による双方向的な造血幹細胞活性の制御梅本 晃正¹, 松崎 優¹, 大和 雅之², 古澤 純一³, 善本 隆之³, 朴 聖俊⁴, 中井 謙太⁴, 須田 年生^{1,5} (¹熊本大・IRCMS, ²東京女子医大・先端生命研, ³東京医大・医学総合研・免疫制御, ⁴東大・医科研, ⁵シンガポール国立大・がん研究所)

2W12-p-6 [15:35]

リボソームによるヒト皮膚細胞の多能性獲得機構太田 調正¹, 加藤 薫², 櫛笥 博子³, 斎藤 裕³, 光山 統泰³, 高山 祐三³, 木田 泰之³, 伊藤 尚文¹ (熊大・院生命・神経化学, ²産総研・バイオメディカル, ³産総研・創薬基盤)

2W12-p-7 [15:55]

幹細胞データベース間における情報共有と1細胞解析データの重要性

藤瀨 航, 桜井 都衣(京大・iPS研・増殖分化機構)

2W12-p-8 [16:15]

統合情報解析による細胞医療実用化の加速

末盛 博文(京大・再生研・胚性幹細胞)

2W13-p 第13会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ルビー) 14:00-16:30 [E]

Emerging of molecular bases that regulate context-specific Notch signalingOrganizers : Motoyuki Itoh (Chiba University)
Motoo Kitagawa (Chiba University)
Kenji Matsuno (Osaka University)**Introduction** [14:00]

Motoo Kitagawa (Chiba University)

2W13-p-1 [14:02]
The function of novel ER modulating factor, Pecanex in Notch signaling

Tomoko Yamakawa, Misaki Kamiya, Ami Yamagishi, Nara Liu, Kenji Matsuno (Dept. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Sci., Osaka Univ.)

2W13-p-2 [14:20]
TM2 domain containing 3, a possible mammalian homologue of *Drosophila* neurogenic gene product Almondex, activates Notch1

Wataru Masuda, Toshifumi Umemiya, Kazuhiko Azuma, Motoo Kitagawa (Dept. of Mol. Tumor. Path., Chiba Univ. Grad. Sch. of Med.)

2W13-p-3 [14:38]
Mib1 promotes Dll1 endocytosis and Notch signaling through ubiquitination of Dynamin2 and Snx18.

Makoto Okano¹, Hiromi Matsuo², Yuya Nishimura¹, Ledi Liu¹, Katsuto Hozumi³, Saho Yoshioka¹, Ayako Tonoki¹, Motoyuki Itoh¹ (¹Grad. Sch. of Pharm. Sci. Chiba Univ., ²Grad. Sch. of Biol. Sci. Nagoya Univ., ³Tokai Univ. Sch. Med.)

2W13-p-4 [14:56]
Cleaved Dll1 intracellular domain fine-tunes DRG development as the reverse signal of Notch

Yusuke Okubo¹, Fumiaki Ohtake¹, Katsuhide Igarashi², Yukuto Yasuhiko¹, Yumiko Saga³, Jun Kanno¹ (¹Div. of Cell. and Mol. Toxicol., NIHS, ²L-StaR, Hoshi Univ., ³Div. of Mam. Dev., NIG)

2W13-p-5 [15:14]
GPCR-mediated Notch activation in a ligand-independent manner

Yasunari Kanda (Div. Pharmacol., NIHS)

2W13-p-6 [15:32]
Evi1 Directs Promoter Nucleosome Clearance for Neural Stem Cell Maintenance

Adrian W. Moore, Elaine KY Chung, Tobias Hohenauer, Fatma Urun (RIKEN Brain Science Institute)

2W13-p-7 [15:50]
A Notch-repressed gene mab21-l3 is a key regulator for cell fate specification of multiciliate cells and ionocytes

Morioh Kusakabe, Chika Takahashi, Eisuke Nishida (Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto University)

2W13-p-8 [16:08]
Roles of Notch signaling in skeletal development and osteoarthritis

Taku Saito (Orthopaedic Surgery, Grad. Sch. of Med., Univ. of Tokyo)

Discussion [16:26]
2W15-p 第15会場(神戸国際会議場3F 国際会議室) 14:00-16:30 [J/E]
長鎖非コードRNAのフロンティア：生化学、分子生物学、医学からのアプローチ

オーガナイザー：黒川 理樹(埼玉医科大学)
大吉 崇文(静岡大学)

Introduction [14:00]

黒川 理樹(埼玉医科大学)

2W15-p-1 [14:08]
Exploring of function of lncRNAs through analyzing their binding proteins

Riki Kurokawa (RCGM, Saitama Medical University)

2W15-p-2 [14:18]
慢性胃炎から胃癌への発癌過程に関与しうる長鎖非コードRNAの網羅的探索と病的意義の解明

丸山 玲緒^{1,2}, 北嶋 洋志¹, 山本 英一郎³, 佐藤 由梨¹, 桑川 昂平¹, 新沼 猛¹, 甲斐 正広¹, 篠村 恭久³, 時野 隆至⁴, 鈴木 拓¹ (¹札幌医大・医・分子生物, ²JST・さきがけ, ³札幌医大・医・消化器免疫リウマチ内科, ⁴札幌医大・フロンティア研・ゲノム医学)



2W15-p-3	[14:31]
ホルモン依存性がんにおける長鎖非コードRNAの役割	
堀江 公仁子 ¹ , 池田 和博 ¹ , 井上 聡 ^{1,2} (¹ 埼玉医大・ゲノム医セ・遺伝子情報, ² 東大・院医・抗加齢医学)	
2W15-p-4	[14:44]
連続したグアニン四重鎖を含む長鎖非コードRNAによるエピジェネティクス制御機構	
大吉 崇文 ¹ , 高濱 謙太郎 ¹ , 奥島 彩子 ¹ , 黒川 理樹 ² (¹ 静大・院理・化学, ² 埼玉医大・ゲノム医学研究センター)	
2W15-p-5	[14:54]
転写抑制とテロメア長の制御に関与するTLS/FUSタンパク質と非コードRNA/DNAとの相互作用の解析	
片平 正人 (京大・エネルギー理工学研究所)	
2W15-p-6	[15:07]
tRNAと長鎖非コードRNAのメチル化とメチル化酵素を比較する	
堀 弘幸 (愛媛大・院理工・物質生命工学)	
2W15-p-7	[15:20]
遺伝子特異的な発現制御を可能にするPI-ポリアミド	
板東 俊和 ¹ , 杉山 弘 ^{1,2} (¹ 京大・院理・化学, ² 京大・物質細胞統合システム拠点)	
2W15-p-8	[15:33]
長鎖非コードRNA転写研究のためのデータベース基盤の構築	
粕川 雄也 ¹ , Abugessaisa Imad ¹ , 長谷川 哲 ¹ , 野口 修平 ¹ , 川路 英哉 ^{1,2,3} (¹ 理研CLST, ² 理研PMI, ³ 理研ACCC)	
2W15-p-9	[15:46]
マウス精子形成において特異的に転写される長鎖非コードRNAによる遺伝子活性化	
木村 敦 (北大・院理・生物科学)	
2W15-p-10	[15:59]
形態形成におけるlncRNA: Evf2の機能解析	
栗原 由紀子 (東大・院医・代謝生理化学)	
2W15-p-11	[16:12]
Molecular mechanism underlying the organization of the inactive X chromosome	
小川 裕也 ^{1,2} (¹ シンシナティ小児病院・生殖科学, ² シンシナティ大・医学部・小児科)	
Conclusion	[16:25]
大吉 崇文 (静岡大学)	
2W16-p	第16会場 (神戸国際会議場 3F レセプションホール) [14:00-16:30 (J)]
マルチオミックス統合解析の新機軸	
オーガナイザー: 大澤 毅 (東京大学) 島村 徹平 (名古屋大学)	
Introduction	[14:00]
島村 徹平 (名古屋大学)	
2W16-p-1	[14:03]
血管内皮細胞における動的エピゲノム統合解析	
神吉 康晴 ¹ , 末弘 淳一 ¹ , 仲木 竜 ³ , 大澤 毅 ² , 和田 洋一郎 ¹ , 油谷 浩幸 ³ , 児玉 龍彦 ² , 南 敬 ² (¹ 東大・アイソトープ総合センター, ² 東大・先端研・システム生物医学, ³ 東大・先端研・ゲノムサイエンス, ⁴ 杏林大・医・薬理)	
2W16-p-2	[14:20]
NFIAによる細胞特異的エンハンサーのクロマチンリモデリングを介した褐色脂肪遺伝子プログラムの制御	
脇 裕典 ^{1,2} , 平池 勇雄 ¹ , 油谷 浩幸 ³ , 山内 敏正 ¹ , 門脇 孝 ¹ (東京大学大学院医学研究科糖尿病・代謝内科, ² 脂肪細胞機能制御学, ³ 東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス分野)	
2W16-p-3	[14:37]
Genom2: 全ゲノム・全トランスクリプトームシークエンスデータの統合解析	
白石 友一 (東大・医科研)	

2W16-p-4 [14:54]

低悪性度神経膠腫における遺伝子異常とクローン進化の解明

鈴木 啓道^{1,2}, 青木 恒介^{1,2}, 千葉 健一³, 佐藤 悠佑¹, 塩澤 裕介¹, 白石 友一³, 島村 徹平⁴, 新井田 厚司³, 若林 俊彦², 宮野 悟³, 夏目 敦至², 小川 誠司¹ (¹京大・医・腫瘍生物, ²名大・医・脳神経外科, ³東大医科研・ヒトゲノム解析センター, ⁴名大・医・システム生物)

2W16-p-5 [15:11]

Quartz-Seq RamDAIによる非ポリA mRNAの1細胞発現解析

二階堂 愛 (理研・情セ・バイオインフォ)

2W16-p-6 [15:28]

マルチオミクス解析技術を用いた代謝・エピゲノムクロストークの解明

日野 信次朗, 坂元 顕久, 長岡 克弥, 阿南 浩太郎, 高瀬 隆太, 興相 健作, 中尾 光善 (熊本大・発生研・細胞医学)

2W16-p-7 [15:45]

がんの俯瞰的理解のための統合的統計モデリング

島村 徹平¹, 宮野 悟² (¹名古屋大学大学院医学系研究科システム生物学分野, ²東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター)

2W16-p-8 [16:02]

マルチオミクス統合解析から捉えた腫瘍微小環境

大澤 毅¹, 島村 徹平², 近藤 彩乃³, 曾我 朋義⁴, 宮野 悟⁵, 油谷 浩幸³, 児玉 龍彦⁶, 澁谷 正史⁶ (¹東大・先端研・システム生物学, ²名大・院医・システム生物学, ³東大・先端研・ゲノムサイエンス, ⁴慶応大学・先端生命科学研, ⁵東大・医科研・ヒトゲノム解析センター, ⁶上武大学)

Discussion [16:19]

Conclusion [16:27]

大澤 毅 (東京大学)

2W19-p 第19会場 (神戸国際会議場 5F 501会議室) 14:00-16:30 [J]

ギャップジャンクション：コネキシン・イネキシン・パネキシン 一構造から発生・病理まで

オーガナイザー：渡邊 正勝 (大阪大学)
大嶋 篤典 (名古屋大学)

Introduction [14:00]

渡邊 正勝 (大阪大学)

2W19-p-1 [14:05]

線虫イネキシンギャップ結合チャネルの三次元構造

大嶋 篤典¹, 松澤 朋寛², 村田 和義³, 谷 一寿¹, 藤吉 好則¹ (¹名大・CeSPI, ²京大・院理・生物物理, ³生理研)

2W19-p-2 [14:20]

線虫C. elegansをモデル系としたイネキシンの機能解析

塚本 聡美¹, 延命 大士¹, 西尾 奈々², 笹倉 寛之¹, 赤坂 茉莉¹, 森 郁恵¹ (¹名大・院理・生命理学, ²生理学研究所)

2W19-p-3 [14:35]

CALHM・Connexin・Pannexin/Innexinイオンチャネルスーパーファミリー

樽野 陽幸 (京府医大・院医・細胞生理)

2W19-p-4 [14:50]

コネキシン26による遺伝性難聴の新たな発症機構

神谷 和作¹, 福永 一朗¹, 畠山 佳欧里¹, 青木 徹¹, 藤本 あゆみ¹, 西川 貴菜¹, 飯塚 崇¹, 美野輪 治², 池田 勝久¹ (¹順天堂大・医・耳鼻科, ²理研・BRC)

2W19-p-5 [15:05]

腫瘍を抑制するギャップ結合、腫瘍の進展を促すコネキシン

大森 泰文¹, 川崎 洋平², 山本 洋平¹, 西島 亜紀¹, 飯川 延子^{1,2} (¹秋田大・院医・分子病態・腫瘍病態, ²秋田大・院医・耳鼻科)



2W19-p-6 [15:20]

ゼブラフィッシュ体表模様形成におけるギャップジャンクションの機能

渡邊 正勝 (大阪大学)

2W19-p-7 [15:30]

ゼブラフィッシュ骨形成におけるギャップジャンクションの機能

三須 晃裕¹, 渡邊 正勝¹, 山中 洋昭¹, 荒巻 敏寛¹, I Martha Skerrett², 近藤 滋¹ (¹大阪大学, ²Buffalo State collage, SUNY)

2W19-p-8 [15:40]

非一様な結合をもつ興奮場上での興奮波の伝播

木下 修¹, 岩本 真祐子², 立石 恵大³, 末松 信彦^{2,3}, 上山 大信^{2,3} (¹武蔵野大・工・数理工, ²明治大・総合数理・現象数理, ³明治大院・先端数理・現象数理)

2W19-p-9 [15:55]

Pathophysiological Roles of Gap Junction-Mediated Intercellular Communication in Kidney

姚 建 (山梨大・総合研究部・分子情報)

2W19-p-10 [16:10]

ギャップジャンクションファミリーの膀胱での役割

根来 宏光¹, 千菊 敦士¹, Sylvia O. Suadiciani², 小川 修¹ (¹京大・院医・泌尿器科学, ²Albert Einstein Col. of Med.)

Conclusion [16:25]

大嶋 篤典 (名古屋大学)

2W20-p 第20会場(神戸国際会議場 5F 502会議室) 14:00-16:30 [J]

DGシグナリングと糖尿病関連疾患

オーガナイザー: 坂根 郁夫 (千葉大学)

白井 康仁 (神戸大学)

Introduction [14:00]

白井 康仁 (神戸大学)

2W20-p-1 [14:05]

膵β細胞のグルコース感受容体---グルコースが産生する細胞内シグナルの再検討---

小島 至, 中川 祐子, Johan Medina (群大・生調研・細胞調節)

2W20-p-2 [14:29]

膵β細胞におけるジアシルグリセロールキナーゼδの機能の解明

金子 雪子, 佐藤 太治, 石渡 千裕, 中山 貴寛, 石川 智久 (静岡県大・薬・薬理)

2W20-p-3 [14:53]

インスリンシグナルを制御するジアシルグリセロール(DG)キナーゼδの利用するDG分子種と発現調節

坂根 郁夫 (千葉大・院理・化学)

2W20-p-4 [15:17]

糖尿病網膜症発症機序におけるジアシルグリセロールとプロテインキナーゼCシグナル伝達の役割

高木 均 (聖マリアンナ医科大学)

2W20-p-5 [15:41]

DG-PKC経路の活性化制御は糖尿病腎症の発症・進展を阻止できる

古家 大祐 (金沢医大・糖尿病・内分泌内科)

2W20-p-6 [16:05]

糖尿病性腎症改善薬のターゲットとしてのDGKalpha

白井 康仁 (神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学)

Conclusion [16:29]

白井 康仁 (神戸大学)

2W22-p 第22会場(神戸国際展示場 2F 2A会議室)

14:00-16:30 [E]

Incorporation of unnatural bases and amino acids into the central dogma of genetic informationOrganizers : Shigeyuki Yokoyama (RIKEN)
Michiko Kimoto (RIKEN)**2W22-p-1**

[14:00]

Genetic alphabet expansion by unnatural base pair systems and its diagnostic and therapeutic applications

Ichiro Hirao (IBN)

2W22-p-2

[14:23]

A semi-synthetic organism with an expanded genetic alphabet

Floyd E. Romesberg (Dept. of Chem., The Scripps Research Institute)

2W22-p-3

[14:58]

Structural basis for specific aminoacyl-tRNA synthesis and genetic code expansion

Shigeyuki Yokoyama (RIKEN Struct. Biol. Lab.)

2W22-p-4

[15:21]

Incorporation of artificial amino acids by reconstitution of in vitro translation apparatus

Hiroaki Suga (Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo)

2W22-p-5

[15:44]

Incorporation of nonnatural amino acids through expansion of the genetic code and its applications

Takahiro Hohsaka (Sch. of Materials Sci., JAIST)

2W22-p-6

[16:07]

In vivo engineering of the genetic code with synthetic amino acids

Kensaku Sakamoto, Kazumasa Ohtake, Atsushi Yamaguchi, Takahito Mukai (RIKEN CLST)

2W24-p 第24会場(神戸国際展示場 3F 3A会議室)

14:00-16:30 [E]

New insights into the developmental role of calcium oscillation signalingOrganizers : Kazuo Emoto (The University of Tokyo)
Naoto Ueno (National Institute for Basic Biology)**2W24-p-1**

[14:00]

Minority control of synchronized dynamics in biological oscillator

Kazuki Horikawa (Div. of Bioimaging, Univ. Tokushima)

2W24-p-2

[14:30]

Calcium-dependent photobehavior of the unicellular green alga *Chlamydomonas reinhardtii*

Ken-ichi Wakabayashi (CRL, Tokyo Tech.)

2W24-p-3

[15:00]

Local calcium signaling in neural circuit remodeling

Kazuo Emoto (Dept. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo)

2W24-p-4

[15:30]

Intercellular Signaling in Plant Fertilization as Visualized by Deep Calcium Imaging

Tetsuya Higashiyama (ITbM, Nagoya Univ.)

2W24-p-5

[16:00]

Intracellular calcium dynamics regulates cell shape during neural tube closure

Naoto Ueno, Makoto Suzuki (National Institute for Basic Biology)

2W26-p 第26会場(神戸商工会議所3F 神商ホールA)

14:00-16:30 [E]

Continuing advance in the transglutaminase research into medical science

Organizers : Akitada Ichinose (Yamagata University)
Soichi Kojima (RIKEN)
Kiyotaka Hitomi (Nagoya University)

2W26-p-1

[14:00]

Continuing advance in the transglutaminase research into medical science

Akitada Ichinose¹, Soichi Kojima², Kiyotaka Hitomi³ (¹Yamagata Univ., ²Riken Research Institute, ³Nagoya Univ.)

2W26-p-2

[14:05]

Platelet factor XIII-A is exposed on the activated platelet membrane and stabilizes thrombi via cross-linking of α_2 antiplasmin.

Joanne L Mitchell, Ausra S Lionikiene, Steven R Fraser, Claire S Whyte, Nuala A Booth, Nicola J. Mutch (Institute of Medical Sciences, University of Aberdeen, Aberdeen, UK)

2W26-p-3

[14:35]

Overlooked role of the non-catalytic B subunit for coagulation factor XIII (plasma transglutaminase) in fibrin cross-linking

Masayoshi Souri, Tsukasa Osaki, Akitada Ichinose (Dept. of Mol. Patho-Biochem. Patho-Biol., Yamagata Univ. Sch. of Med.)

2W26-p-4

[14:55]

Recent insights into TG2 physiology and pathophysiology from studies of TG2 mouse models

Siiri E. Iismaa (Molecular Cardiology and Biophysics Division, Victor Chang Cardiac Research Institute, University of New South Wales)

2W26-p-5

[15:25]

Screening of an inhibitor against nuclear localization of TG2

Soichi Kojima, Mariko Takada, Rajan Shrestha (RIKEN CLST)

2W26-p-6

[15:45]

Localization of integrin $\alpha 9 \beta 1$ binding site in transglutaminase-catalyzed polymeric osteopontin

Yasuyuki Yokosaki^{1,2}, Norihisa Nishimichi¹ (¹Cell-Matrix Frontier Lab, Health Administration Center, Hiroshima Univ., ²Division of Genetic Medicine, Hiroshima Univ. Hospital)

2W26-p-7

[16:05]

Simple and sensitive detection system of the enzymatic activity for analyses on diseases related to transglutaminases

Kiyotaka Hitomi¹, Hideki Tatsukawa¹, Kazuo Takahashi², Yukio Yuzawa² (¹Grad. Sch. of Pharm. Sci., Nagoya Univ., ²Fujita Health Univ. Sch. of Med.)

Discussion

[16:25]

2W27-p 第27会場(神戸商工会議所3F 神商ホールB)

14:00-16:30 [J]

周皮細胞(ペリサイト)の病態生理学的重要性

オーガナイザー：西山 功一(熊本大学)
山本 誠士(富山大学)

2W27-p-1

[14:00]

神経発生期における血球系由来ペリサイトの動態

山本 誠士(富山大・院医薬・病態病理学)

2W27-p-2

[14:29]

脳内周皮細胞の発生起源：ジキルかハイドか？

大隅 典子(東北大学大学院医学系研究科)

2W27-p-3

[14:58]

血管新生プレーヤーとしてのペリサイト

西山 功一(熊本・附属病院)

**2W27-p-4****[15:27]**

ペリサイト消失による網膜血管バリア機能の破綻

植村 明嘉 (名古屋市大・院医・網膜血管生物学)

2W27-p-5**[15:56]**

腎臓病における周皮細胞(ペリサイト)の多彩な機能とその制御機構

柳田 素子 (京都大学大学院医学研究科腎臓内科学)

Conclusion**[16:25]**西山 功一¹, 山本 誠士² (¹熊本大学, ²富山大学)

【第3日目12月3日(木)】
3W5 第5会場(神戸ポートピアホテル本館B1F和楽)
9:00-11:30 [J]
生体分子ホモキラリティーのパラダイムシフト — D-アミノ酸研究の新展開

 オーガナイザー：藤井 紀子 (京都大学)
 本間 浩 (北里大学)

Introduction
[9:00]

藤井 紀子 (京都大学)

3W5-1
[9:05]
水晶体蛋白質中のアスパラギン酸残基のD体化とD-アスパラギン酸残基周辺の立体構造との関係

 藤井 智彦¹, 岸本 成史^{1,2}, 藤井 紀子³ (¹帝京大・中央RI教育研究施設, ²帝京大・薬学, ³京大・原子炉)

3W5-2
[9:19]
アルツハイマー脳における翻訳後ラセミイソ化N末端アミロイドペプチドの検出とバイオマーカーとしての応用
 井之上 浩一 (立命館大・薬)

3W5-3
[9:33]
哺乳動物の脳における細胞外D-セリン濃度調節の分子細胞メカニズム：統合失調症の病態における障害の可能性

 西川 徹¹, 海野 麻未¹, 山本 直樹¹, 石渡 小百合¹, 上里 彰仁¹, 海野 真一¹, 小林 桃子¹, Darrick T. Balu², Joseph T. Coyle²
 (¹医歯大・院医歯・精神行動, ²Harvard Med. School)

3W5-4
[9:47]
アミノ酸代謝のキラルサイエンスと統合失調症病態システム酵素学

 福井 清¹, Diem H. Tran¹, 穴戸 裕二², Huong T.T. Trinh¹, Tuan A. Pham¹, 曾我部 浩史¹, 金 秀珉¹, 赤穂 克永¹, 頼田 和子¹,
 加藤 有介¹ (¹徳島大・疾患酵素研・病態システム酵素, ²徳島大・疾患酵素研・教育講習)

3W5-5
[10:01]
D-セリンとセリンラセマーゼの生体機能

森 寿, 井上 蘭 (富山大・院医薬)

3W5-6
[10:15]
D-アミノ酸による線虫の寿命制御

 齋藤 康昭¹, 宮本 哲也¹, 関根 正恵¹, 片根 真澄¹, 坂本 太郎², 今井 浩孝², 新井 洋由³, 本間 浩¹ (¹北里大・薬・生体分子解析学, ²北里大・薬・衛生化学, ³東大院・薬・衛生化学)

3W5-7
[10:29]
DL-セリン同時分別定量法の構築と尿中DL-セリン動態

伊藤 智和, 吉村 徹 (名大院・生命農)

3W5-8
[10:43]
ディスプロシウムに対する新たな微生物応答：増大する生育速度とD-グルタミン酸含有ポリ-γ-グルタミン酸の合成

 芦内 誠^{1,2}, 白米 優一¹, 松村 歩梨², 柴田 由香², 尾池 翔太¹ (¹高知大・院総人自・農, ²高知大・農)

3W5-9
[10:57]
Genome analysis-based approach to elucidate the molecular mechanism of high-level D-amino acids production by lactic acid bacteria

 加藤 志郎¹, 老川 典夫^{1,2} (¹関大・先端機構, ²関大・化学生命工)

3W5-10
[11:11]
ブタ腎臓由来D-アミノ酸酸化酵素のR立体選択的アミノ酸化酵素への変換と応用

 川原 寛弘^{1,2}, 安川 和志^{1,2}, 中野 祥吾^{1,2}, 大野 篤¹, 浅野 泰久^{1,2} (¹富山県大・工, ²ST, ERATO)

Conclusion
[11:25]

本間 浩 (北里大学)

3W6 第6会場(神戸ポートピアホテル本館B1F生田)**9:00-11:30 [J]****脂質シグナリングとその破綻がもたらす病態の理解**

オーガナイザー：小林 俊秀 (理化学研究所)
 深見 希代子 (東京薬科大学)

3W6-1 [9:00]**トリアシルグリセロール輸送におけるリゾホスファチルコリンアシル転移酵素 3 (LPCAT3)の役割**

吉田 橋立 智美¹, 原山 武士¹, 菱川 大介¹, 森本 亮^{1,2}, 浜野 文三江^{2,3}, 徳岡 涼美², 衛藤 樹^{1,2}, 北 芳博^{2,3}, 進藤 英雄^{1,4}, 清水 孝雄^{1,2} (¹国医セ・脂質シ, ²東大・院医・リビドミクス, ³東大・院医・ライフサイエンス, ⁴AMED-CREST)

3W6-2 [9:20]**細胞膜の脂質二重層を構成する各種の脂質が示す非対称分布とその破綻**

村手 源英¹, 阿部 充宏¹, 笠原 浩二², 岩淵 和久³, 梅田 真郷⁴, 小林 俊秀^{1,5} (¹理研・脂質生物, ²都臨床研・細胞膜, ³順天堂大・環境医学研・生化学, ⁴京大・院工・合成・生物化学, ⁵フランス国立保健医学機構・ユニット1060)

3W6-3 [9:40]**急速凍結・凍結割断レプリカ電顕法による膜脂質解析**

藤本 豊士¹, 辻 琢磨¹, 高島 翔^{1,2} (¹名大・院医・分子細胞学, ²東大・院薬・機能病態学)

3W6-4 [10:05]**リン脂質結合タンパク質を介した細胞膜張力のシグナリング**

伊藤 俊樹, 辻田 和也 (神戸大学バイオシグナル研究センター)

3W6-5 [10:25]**ホスホリパーゼCδ1は正常な皮膚バリアの形成に必要である**

中村 由和, 金丸 佳織, 深見 希代子 (東葉大・生命科学・ゲノム病態医科学)

3W6-6 [10:45]**心肥大におけるホスホイノシタイド代謝酵素Vps34のタンパク質分解機構の役割**

木村 洋貴^{1,2}, 江口 賢史¹, 久場 敬司³, 今井 由美子⁴, 高須賀 俊輔¹, 伊藤 玲悦¹, 中村 亮太郎¹, 中西 広樹², 石川 将己¹, 佐々木 純子¹, 山崎 正和¹, 佐々木 雄彦^{1,2} (¹秋田大学大学院医学研究科・微生物, ²秋田大学・生体情報研究センター, ³秋田大学大学院医学研究科・分子機能・代謝機能, ⁴秋田大学大学院医学研究科・情報制御・実験治療学, ⁵秋田大学大学院医学研究科・細胞生物)

3W6-7 [11:05]**ホスホリパーゼD2はCD8陽性T細胞の活性化を介して腫瘍の増大を抑制する**

金保 安則, Van Bich Ngo Thai, 本宮 綱記, 大林 典彦, 船越 祐司 (筑波大・院医)

3W7 第7会場(神戸ポートピアホテル本館B1F布引)**9:00-11:30 [J]****構造分子生物学・生化学の進展**

オーガナイザー：箱嶋 敏雄 (奈良先端科学技術大学院大学)
 前仲 勝実 (北海道大学)

Introduction [9:00]

箱嶋 敏雄 (奈良先端科学技術大学院大学)

3W7-1 [9:07]**結構複雑なよ：Hippo経路の自己阻害MOB1のリン酸化による制御機構**

箱嶋 敏雄 (奈良先端大・バイオ)

3W7-2 [9:30]**構造生物学を活用した細胞内GTPセンサー同定**

千田 俊哉¹, 竹内 恒², 羅 羽華¹, 千田 美紀¹, 壽美田 一貴³, 池田 幸樹³, 佐々木 敦朗³ (¹高エネ機構・物構研, ²産総研・molprof, ³シンシナティエ大・癌研究所)



3W7-3 [9:53]

Slitkファミリータンパク質とIIa型受容体タンパク質チロシン脱リン酸化酵素がスプライスインサートに依存して相互作用するメカニズム山形 敦史^{1,2,3}, 佐藤 裕介^{1,2,3}, 伊藤(後藤) 桜子^{1,2,3}, 植村 健⁴, 吉田 知之^{5,6}, 深井 周也^{1,2,3} (¹東大・放射光機構・生命科学, ²東大・分生研, ³JST・CREST, ⁴信大・医, ⁵富大・院医薬(医), ⁶JST・さきがけ)

3W7-4 [10:16]

標的アナログと結合したCRISPR-Cas系Cmr複合体の結晶構造

沼田 倫征 (産総研・バイオメディカル)

3W7-5 [10:39]

核酸認識Toll様受容体によるリガンド認識とシグナル伝達の構造基盤

大戸 梅治, 清水 敏之 (東大院薬)

3W7-6 [10:02]

糖脂質認識C型レクチン受容体Mincleの構造解析と新規アジュバント探索古川 敦¹, 上敷領 淳², 須知 裕介¹, 池野 里紗¹, 松丸 尊紀¹, 児玉 耕太¹, 尾瀬 農之¹, 山崎 晶³, 前仲 勝実¹ (¹北大・院薬, ²福山大・薬, ³九大・生医研)

Conclusion [11:25]

前仲 勝実 (北海道大学)

3W8 第3会場(神戸ポートピアホテル本館B1F北野) 9:00-11:30 [J]

オモロイ生き物の分子生物学オーガナイザー: 三浦 恭子 (北海道大学)
嘉糠 洋陸 (東京慈恵会医科大学)

Introduction [9:00]

三浦 恭子 (北海道大学)

3W8-1 [9:03]

長寿・がん化耐性動物ハダカデバネズミiPS細胞の腫瘍化耐性機構の解明宮脇 慎吾^{1,2,3}, 河村 佳見¹, 大岩 祐基¹, 清野 研一郎², 岡野 栄之³, 三浦 恭子¹ (¹北大・遺制研・動物機能医科学, ²北大・遺制研・免疫生物, ³慶應大・医・生理学)

3W8-2 [9:21]

ミズタマショウジョウバエの水玉模様の形成と進化

越川 滋行 (京大・白眉セ/院理)

3W8-3 [9:39]

体温の調節ができる夢の植物を創る? -ゼンソウの発熱分子機構に関する研究-

稲葉 靖子 (宮崎大・TT推進)

3W8-4 [9:57]

生命活動を停止してまで「乾燥」という環境変化に適応したクマムシ

荒川 和晴 (慶大・先端生命)

3W8-5 [10:15]

Yをすてた日本のネズミ-SRYをもたない哺乳類の性決定メカニズム

黒岩 麻里 (北海道大学)

3W8-6 [10:33]

シクリッドの唇肥大化に関わる平行進化メカニズム

二階堂 雅人 (東工大・院生命・生体システム)

3W8-7 [10:51]

不死のベニクラゲと短命なカイヤドリヒドラクラゲ

久保田 信 (京大・フィールド科学教育研究センター・瀬戸臨海実験所)

3W8-8 [11:09]

不死身の女王：シロアリの繁殖システムの進化とその制御メカニズム
 松浦 健二 (京大・院農・昆虫生態)

Conclusion [11:27]

嘉藤 洋陸 (東京慈恵会医科大学)

3W9 第9会場(神戸ポートピアホテル本館B1F菊水) 9:00-11:30 [J]

POKファミリーが司る組織分化の複雑性～転写抑制とクロマチン制御～

オーガナイザー：岡戸 晴生 (東京都医学総合研究所)
 宮武 昌一郎 (東京都医学総合研究所)

3W9-1 [9:00]

組織分化の複雑化にともなって発達したPOKファミリー分子群
 岡戸 晴生 (都医学研・脳発達神経再生分野・神経細胞分化)

3W9-2 [9:10]

大脳皮質の発生にはRP58による適切な転写抑制を必要とする
 平井 志伸, 神崎 誠司, 岡戸 晴生 (東京都医学研・脳発達神経再生)

3W9-3 [9:30]

POZ/BTBファミリータンパク質の一つであるがん関連転写因子NAC1の分子生物学的・生化学的検討
 浦野 健 (鳥根大・医・病態生化学)

3W9-4 [9:50]

POZ-ZF転写制御因子LRF/OCZFの破骨細胞の分化と機能における役割
 久木田 明子¹, 徐 祥赫^{1,3}, 菖蒲池 健夫¹, 武智 香織², 古賀 貴子², 白木 誠¹, 蒲原 麻菜¹, 久木田 敏夫³, 高柳 広² (¹佐賀大学・医・微生物学, ²東京大学・医・免疫学, ³九州大学・菌・分子口腔解剖学)

3W9-5 [10:10]

T細胞の増殖制御に必須な新規BTB-ZFタンパク質ZNF131 (Zbtb35)
 宮武 昌一郎¹, 青木 和久¹, 正井 久雄², 井口 智弘¹ (¹都医学研・ゲノム医科学・免疫遺伝子, ²都医学研・ゲノム医科学・ゲノム動態)

3W9-6 [10:30]

ThPOK転写因子によるCD4ヘルパー T細胞分化制御
 谷内 一郎 (理化学研究所)

3W9-7 [10:50]

DNAメチルトランスフェラーゼによるDNAメチル化模様形成・維持
 田嶋 正二, 末武 勲, 木村 博信 (阪大・蛋白研)

3W9-8 [11:10]

ZBTB24の欠損はサテライト配列のDNAメチル化異常と先天性免疫不全症ICF症候群を引き起こす
 佐々木 裕之¹, 新田 洋久^{1,2}, 伊藤 雄哉¹, 鶴木 元香¹ (¹九大・生医研・エピゲノム制御, ²阪大・院医・遺伝子治療)

3W10 第10会場(神戸ポートピアホテル南館B1Fトパーズ) 9:00-11:30 [J]

血管・代謝異常の動的変化を探るエピゲノミクス

オーガナイザー：南 敬 (熊本大学)
 酒井 寿郎 (東京大学)

Introduction [9:00]

南 敬 (熊本大学)

3W10-1 [9:02]

VEGF 活性化血管内皮細胞における動的なエピゲノム転写制御機構解析
 南 敬^{1,2} (¹熊本・生命科学・生命資源セ, ²東大・先端研・血管生物)

3W10-2 [9:25]**腫瘍血管の遺伝子発現異常とエピゲノム**

樋田 京子 (北大・遺制研・血管生物学)

3W10-3 [9:50]**細胞系譜特異的DNAメチル化により形成されるH3K4/H3K9me3クロマチンドメインは脂肪細胞分化を停止させる**松村 欣宏¹, 吉田 文乃¹, 仲木 竜², 鹿野 優佳¹, 稲垣 毅¹, 油谷 浩幸², 酒井 寿郎¹ (¹東大・先端研・代謝医学, ²東大・先端研・ゲノムサイエンス)**3W10-4** [10:15]**DNAメチル化に依存する糖脂質代謝制御**小川 佳宏^{1,2} (¹東京医歯大・院医歯・分子内分泌代謝学, ²日本医療研究開発機構・CREST)**3W10-5** [10:40]**細胞分化におけるオープンクロマチン解析の進展とその課題**

中村 正裕 (京都大学iPS細胞研究所)

3W10-6 [11:05]**転写因子Nrf1による代謝制御機構**

小林 聡 (同志社大・院生命医・医生命システム)

3W11 第11会場(神戸ポートピアホテル南館 81F エメラルド) 9:00-11:30 [J]**RNA顆粒のバイオロジーとダイナミクス ~細胞運命決定機構と疾患研究の最前線~**

オーガナイザー: 武川 睦寛 (東京大学)

杉浦 麗子 (近畿大学)

Introduction [9:00]

武川 睦寛 (東京大学)

3W11-1 [9:03]**ストレス顆粒形成によるストレス誘導アポトーシスの制御と活性酸素によるその破綻**

武川 睦寛 (東大医科研・分子シグナル制御)

3W11-2 [9:22]**神経RNA granuleのダイナミクスと高次脳機能・精神神経疾患**椎名 伸之^{1,2} (¹自然科学研究機構・岡崎統合バイオ(基生研), ²総研大・基礎生物学)**3W11-3** [9:39]**ウイルス感染に応答したストレス顆粒形成と抗ウイルス生体防御**

米山 光俊 (千葉大・真菌セ・感染免疫)

3W11-4 [9:58]**ウイルスRNAに対する自然免疫応答におけるユビキチンリガーゼMex3cの役割**河合 太郎¹, 國吉 佳奈子², 竹内 理³, 審良 静男² (¹奈良先端大・バイオ・分子免疫制御, ²阪大・IFReC・自然免疫, ³京大・ウイ研・感染防御)**3W11-5** [10:15]**CCR4-NOT脱アデニル化酵素複体の生理機能と作用機構**

山本 雅 (沖縄科学技術大学院大学細胞シグナルユニット)

3W11-6 [10:34]**ストレス時のmRNAポリA鎖安定化とストレス顆粒形成のメカニズム**

星野 真一 (名市大・院薬・遺伝情報学)

3W11-7 [10:53]**植物におけるRNA顆粒ダイナミクス**

濱田 隆宏, 渡邊 雄一郎 (東大・院総合文化・生命環境)

3W11-8 [11:10]**シグナル伝達拠点(ハブ)としてのRNA顆粒の役割**

杉浦 麗子 (近大・院薬・ゲノム創薬)

Conclusion [11:29]

杉浦 麗子 (近畿大学)

3W12 第12会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ダイヤモンド) 9:00-11:30 [J]**DNA複製開始を制御する高次複合体ダイナミクス：多様性と普遍性**

オーガナイザー：片山 勉 (九州大学)

升方 久夫 (大阪大学)

Introduction [9:00]

升方 久夫 (大阪大学)

3W12-1 [9:03]**動物細胞のDNA複製開始点の確立機構の解明に向けて**和賀 祥¹, 山崎 翠¹, 塚澤 真衣¹, 鈴木 香菜¹, 女部田 寛子¹, 寺西 帆奈美¹, 太田黒 恵美¹, 弓井 絵利夏¹, 由良 敬², 保科 祥子¹
(¹日本女子大・理・物質生物, ²お茶の水女子大・院人間文化創成科学)**3W12-2** [9:21]**大腸菌の複製開始複合体とその制御複合体が描き出す多彩な構造動態**片山 勉¹, 加生 和寿¹, 野口 泰徳¹, 崎山 友香里¹, 村谷 周悟¹, 毛谷村 賢司^{1,2}, 川上 広宣¹ (¹九大・院薬・分子生物, ²(現)学習院大・院理・生命科学)**3W12-3** [9:39]**アーキアの複製ヘリカーゼ複合体の構造・機能解析～その保存性と多様性について～**石野 園子¹, 尾木野 弘実¹, 永田 麻梨子¹, 小林 康平¹, 大山 拓次², 山上 健¹, Jan R. Simmons³, 金井 保³, 跡見 晴幸³, 河原林 裕¹, 石野 良純¹ (¹九大院・農, ²山梨大・生命環境, ³京大院・工)**3W12-4** [9:57]**出芽酵母の複製開始複合体の形成機構**矢倉 勝¹, 牧野 仁志徳^{1,3}, 伊藤 啓^{2,3}, 遠藤 静子¹, 村松 佐知子¹, 日詰 光治^{1,3}, 田中 尚美^{1,3}, 田中 誠司^{1,3}, 荒木 弘之^{1,3} (遺伝研・微生物遺伝, ²遺伝研・構造遺伝, ³総研大・遺伝)**3W12-5** [10:15]**ヒト細胞におけるpre-RC形成とfiringの時空間的制御のゲノムワイド解析**杉本 のぞみ¹, 會澤 誠大¹, 吉田 和真¹, 前原 一満², 大川 恭行², 藤田 雅俊¹ (¹九大・院薬・医薬細胞生化学, ²九大・院医・先端医療医学)**3W12-6** [10:33]**テロメア結合タンパク質によるDNA複製の時空間的制御機構**小川 志帆¹, 中村 優太¹, 高橋 達郎¹, 中川 拓郎¹, 小川 英知², 浅川 東彦², 平岡 泰², 升方 久夫¹ (¹阪大・院理・生物学, ²阪大・院生命科学)**3W12-7** [10:51]**哺乳類RIF1タンパクによるDNA複製調節の分子機構**

平賀 信一郎, Anne D. Donaldson (アバディーン大・医科学研)

3W12-8 [11:09]**動物細胞のDNA複製、発生・分化におけるCdc7キナーゼとRif1タンパクの機能**山崎 聡志¹, 小野 富男², 松嶋 夢叶¹, 篠田 陽³, 森山 賢治¹, 吉沢 直子¹, 今西 美智子², 古市 貞一³, 正井 久雄¹ (¹都医学研, ²ゲノム医科学, ³ゲノム動態, ²都医学研, 基盤技術センター, ³東京理科大学, 理工学応用生物学)**Conclusion** [11:27]

片山 勉 (九州大学)

3W13 第13会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ルビー)

9:00-11:30 [J]

栄養・メタボライトと遺伝子発現調節～ニュートリゲノミクスの最前線

オーガナイザー：矢作 直也(筑波大学)

松本 道宏(国立国際医療研究センター研究所)

3W13-1

[9:00]

トA複合体1のアミノ酸栄養感知メカニズム鎌田 芳彰^{1,2} (¹基礎生物学研究所, ²総研大)**3W13-2**

[9:17]

S-アデノシルメチオニン代謝による組織維持機構

三浦 正幸(東大・院薬・遺伝学)

3W13-3

[9:34]

細胞外環境への細胞内代謝の適応におけるリジン脱メチル化酵素LSD1の役割

坂元 顕久, 日野 信次朗, 長岡 克弥, 阿南 浩太郎, 高瀬 隆太, 中尾 光善(熊大・発生研・細胞医学)

3W13-4

[9:50]

Metabolic regulation of Adipocyte differentiation by isocitrate dehydrogenase and Mjmc histone demethylase酒井 寿郎¹, Eko F. Ariyanto¹, 曾我 朋義², 稲垣 毅¹, 松村 欣宏¹ (¹東京大学 先端研 代謝医学, ²慶応大学)**3W13-5**

[10:07]

腸内細菌由来の酪酸は宿主の粘膜免疫システムを調節する長谷 耕二¹, 磯部 順哉¹, 尾畑 佑樹^{1,2}, 高橋 大輔¹ (¹慶應・薬学・生化学, ²東大・医科研・炎症免疫)**3W13-6**

[10:24]

GCN5-CITED2-PKAモジュールを介した肝糖新生制御メカニズム

松本 道宏, 酒井 真志人(国立国際医療研究センター研究所・糖尿病研究センター・分子代謝制御研究部)

3W13-7

[10:41]

摂食・絶食サイクルの転写調節機構

矢作 直也, 武内 謙憲, 西 真貴子, 志鎌 明人, 戸谷 直樹, 沢田 義一, 村山 友樹, 和田 恒弘, 李 恩旭, 朴 賢英, 會田 雄一, 大屋 友華里, 古賀 俊介, 宝田 亜矢子, 升田 紫, 久保田 みどり, 泉田 欣彦(筑波大学医学医療系ニュートリゲノミクスリサーチグループ)

3W13-8

[10:57]

消費するエネルギー貯蔵分子の選択を調節する筋-肝-脂肪シグナル軸

清水 宣明, 田中 廣壽(東大・医科研・附属病院)

3W13-9

[11:14]

生活習慣病の病態基盤としての栄養吉田 陽子^{1,2}, 清水 逸平^{1,2}, 南野 徹¹ (¹新大・医歯・循環器内科, ²新大・医歯・先進老化制御学)**3W16** 第16会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール)

9:00-11:30 [J]

放射線生物影響の課題に挑む分子生物学研究の力

オーガナイザー：小林 純也(京都大学)

松本 義久(東京工業大学)

3W16-1

[9:00]

低線量率放射線照射による細胞内ROS上昇とDNA損傷応答との関係小林 純也¹, 斎藤 裕一郎¹, 周 慧¹, 柳原 啓見², 松浦 伸也², 小松 賢志¹ (¹京大・放生研・ゲノム動態, ²広大・原医研・放射線ゲノム疾患)**3W16-2**

[9:20]

DNA損傷応答と細胞老化高橋 曉子¹, 今井 良紀¹, 堀 智史¹, 原 英二^{1,2} (¹がん研究会・がん研究所・がん生物, ²阪大・微研・遺伝子生物学)

3W16-3	[9:40]
ストレス造血における造血幹細胞の制御機構	
田久保 圭吾 (国立国際医療研究センター研究所生体恒常性プロジェクト)	
3W16-4	[10:00]
低線量率γ線連続照射下における非同相末端結合の重要性	
富田 雅典 ¹ , 小林 純也 ² , 大塚 健介 ¹ , 松本 義久 ³ , 内海 博司 ⁴ (¹ 電中研・原技研・放射線安全, ² 京大・放生研・ゲノム動態, ³ 東工大・原子炉研, ⁴ 体質研)	
3W16-5	[10:20]
マウスミトコンドリアDNAの突然変異がコントロールする表現型 ~核外ゲノムの変異によるインパクト~	
石川 香 ¹ , 橋爪 脩 ¹ , 清水 章文 ² , 三藤 崇行 ¹ , 中田 和人 ¹ , 林 純一 ¹ (¹ 筑波大・生命環境系, ² 筑波大・院・生命環境)	
3W16-6	[10:40]
PCNAのコピキチン化を制御して過酸化水素誘発突然変異を抑制するヒト細胞のメカニズム	
益谷 央豪 ¹ , 柏葉 脩一郎 ¹ , 金尾 梨絵 ¹ , 松尾(楠本) 理加 ¹ , 花岡 文雄 ² , 増田 雄司 ^{1,3} (¹ 名大・環医研・ゲノム動態制御, ² 学習院大・院理・ライフサイエンス, ³ 名大・院医・トキシコゲノミクス)	
3W16-7	[11:00]
DNA依存性プロテインキナーゼ(DNA-PK)の機能と放射線感受性の予測・制御	
松本 義久 (東工大・原子炉研)	
3W16-8	[11:20]
総括	
花岡 文雄 (学習院大学)	
3W19	9:00-11:30 [J]
第19会場(神戸国際会議場 5F 501会議室)	
高次生命機能を支えるメンブレントラフィック	
オーガナイザー: 福田 光則 (東北大学) 佐藤 健 (群馬大学)	
Introduction	[9:00]
福田 光則 (東北大学)	
3W19-1	[9:03]
神経突起伸長におけるRabシグナリングカスケードの役割	
福田 光則 (東北大院・生命・膜輸送機構解析)	
3W19-2	[9:27]
エンドソーム物質輸送における細胞質側脂質層局在性リン脂質の役割	
田口 友彦 (東大・院薬・疾患細胞生物)	
3W19-3	[9:51]
生理的および肝線維化時におけるコラーゲン分泌機構の解析	
齋藤 康太, 前田 深春, 篠原 健太郎, 堅田 利明 (東大・院薬・生理化学)	
3W19-4	[10:15]
局所パルミトイル化サイクルによるシナプス後部ナノドメインの形成機構	
深田 正紀 ¹ , 関谷 敦志 ^{1,2} , 村上 達郎 ^{1,2} , 横井 紀彦 ^{1,2} , 小林 憲太 ^{2,3} , 深田 優子 ^{1,2} (¹ 生理研・生体膜, ² 総研大・生理科学, ³ 生理研・ウイルス)	
3W19-5	[10:39]
ショウジョウバエを用いた筋細胞再構成機構の解析	
藤田 尚信 ^{1,2} , Amy Kiger ¹ (¹ UCSD, 細胞・発生, ² 東北大・院生命・生命機能)	
3W19-6	[11:03]
受精前後における細胞内膜系リモデリングの時空間的制御機構	
坂口 愛沙 ¹ , 佐藤 美由紀 ² , 佐藤 克哉 ² , 安藤 恵子 ³ , 中井 淳一 ³ , 前島 郁子 ¹ , 原太一 ¹ , 依光 朋宏 ⁴ , 佐藤 健 ¹ , 佐藤 健 ¹ (¹ 群馬大・生調研・細胞構造, ² 群馬大・生調研・生体膜機能, ³ 埼玉大・理工学研究科・脳末梢科学研究中心, ⁴ 東京大・総合文化・生命環境)	



Conclusion

[11:27]

佐藤 健 (群馬大学)

3W20 第20会場(神戸国際会議場 5F 502会議室)

9:00-11:30 [J]

Hippoシグナル伝達経路が制御する多様な細胞応答

オーガナイザー：仁科 博史 (東京医科歯科大学)
畑 裕 (東京医科歯科大学)

3W20-1

[9:00]

YAP is essential for tissue tension regulating vertebrate 3D body shape

古谷 清木 誠^{1,6}, Sean Porazinski¹, Huijia Wang¹, 浅岡 洋一², Martin Behrndt³, 宮本 達雄¹, 森田 仁³, 島 星治², 佐々木 貴史⁵, S. F. Gabriel Krens³, 長田 優美⁶, 浅香 聡², 桃井 章裕^{6,10}, Sarah Linton¹, Joel Miesfeld⁷, Brian Link⁷, 千賀 威⁸, Atahualpa Castillo-Morales¹, Araxi Urrutia¹, 清水 信義⁵, 長瀬 秀明⁹, 松浦 伸也⁴, Bagby Stefan¹, 近藤 寿人^{6,10}, 仁科 博史⁴, Carl-Philipp Heisenberg^{3,10,11} (¹Bath大学 再生医学センター, ²東京医科歯科大 難治疾患研究所, ³オーストリア・科学技術研究所, ⁴広島大 原爆放射線医学科学研究所, ⁵分子生物 慶應大 医学部, ⁶科技振興機構 近藤誘導分化プロ ERATO/SORST, ⁷細胞生物 神経生体解剖 ウィスコンシン医科大, ⁸がん生物 名古屋大 医学部, ⁹ケネディ研 リウマチ学 ナフィールド オックスフォード大, ¹⁰大阪大 院 生命機能, ¹¹ライフサイエンス 京都産業大)

3W20-2

[9:21]

Yap1は必ず応力応答性に核内移行し血管新生を制御する

中嶋 洋行, 望月 直樹 (国循セ・研・細胞生物)

3W20-3

[9:42]

マウス胚由来線維芽細胞株NIH3T3における転写因子TeadとMycによる細胞競合

佐々木 洋 (阪大・院生命機能)

3W20-4

[10:03]

腸上皮の幹細胞依存的な更新におけるHippo経路の役割

今城 正道¹, 西田 栄介² (¹京大・院・生命科学・生体制御学, ²京大・院・生命科学・シグナル伝達学)

3W20-5

[10:24]

マウス肝臓におけるMOB1の機能解析

西尾 美希¹, 後藤 裕樹¹, 大坪 孝平¹, 藤 庸子¹, 宮地 洋祐¹, 日笠 弘基¹, 杉町 圭史², 三森 功士², 鈴木 聡¹ (¹九大・生医研・ゲノム腫瘍学, ²九大・別府病院・外科)

3W20-6

[10:45]

悪性中皮腫におけるHippoシグナル伝達系異常

関戸 好孝 (愛知がんセ・研・分腫)

3W20-7

[11:06]

がん治療、再生医療の治療標的としての転写共役因子YAP1、TAZの有用性について

畑 裕 (東京医科歯科大・院医歯学・病態代謝解析学)

Conclusion

[11:27]

仁科 博史 (東京医科歯科大学)

3W22 第22会場(神戸国際展示場 2F 2A会議室)

9:00-11:30 [J]

アミノ酸研究の新展開：細胞シグナルとしての動的制御機構

オーガナイザー：林 良敬 (名古屋大学)
糸 昭苑 (東京工業大学)

Introduction

[9:00]

林 良敬 (名古屋大学)

3W22-1

[9:02]

HEK293T細胞のアミノ酸シグナルによるmTORC1活性化の特性についての検討

大垣 隆一, 永森 收志, ウィリヤサムクン バッタマ, 萩原 浩平, 金井 好克 (阪大・院医・薬理・生体システム薬理学)

3W22-2	[9:30]
多能性幹細胞の多能性維持および分化におけるアミノ酸およびその誘導体の役割	
衆 昭苑 (東京工業大学 大学院生命理工学研究科)	
3W22-3	[9:58]
インスリン分泌におけるグルタミン酸シグナルの役割	
高橋 晴美, グブルジャン ゲニ, 山口 拓郎, 横井 伯英, 清野 進 (神戸大・院医・分子代謝医学)	
3W22-4	[10:26]
APC遺伝子変異による大腸癌の代謝プロファイル変動と細胞増殖に対する影響	
吉田 優 ^{1,2} , 西海 信 ² , 吉江 智郎 ² , 東 健 ² (¹ 神戸大・院医・病因病態解析学, ² 神戸大・院医・消化器内科学)	
3W22-5	[10:54]
グルカゴンによるアミノ酸代謝とアルファ細胞増殖の制御	
林 良毅 (名大・環医研)	
総合討論	[11:22]
Conclusion	[11:28]
衆 昭苑 (東京工業大学 大学院生命理工学研究科)	

3W24	第24会場 (神戸国際展示場 3F 3A会議室)	9:00-11:30 [J]
-------------	---------------------------------	-----------------------

データベース生物学: 公共データの再利用による新しい研究スタイルのすすめ		
---	--	--

オーガナイザー: 広田 喜一 (関西医科大学)
坊農 秀雅 (ライフサイエンス統合データベースセンター)

3W24-1	[9:00]
---------------	---------------

データベース生物学をめぐる個人的な体験
広田 喜一 (関西医科大学・医学部・麻酔科学)

3W24-2	[9:30]
---------------	---------------

公共データベースを利用した昆虫ストレス応答分子の探索
天竺桂 弘子 (農工大・院農・生物生産)

3W24-3	[10:00]
---------------	----------------

文献採集情報MeSHを利用した網羅的な遺伝子の機能アノテーションパッケージ
露崎 弘毅¹, 師田 郷太^{2,3}, 石井 学¹, 仲里 猛留⁴, 宮崎 智⁵, 二階堂 愛¹ (¹RIKEN ACCC BiT, ²ネブラスカ大学リンカーン校・動物科学科, ³ウイスコンシン大学マディソン校・動物科学科, ⁴ROIS, DBCLS, ⁵理科大・院薬・薬科学)

3W24-4	[10:30]
---------------	----------------

大規模塩基配列決定時代のデータベース運営
中村 保一 (遺伝研)

3W24-5	[11:00]
---------------	----------------

セマンティクスが高める生命科学データベースの利用性
片山 俊明 (ライフサイエンス統合データベースセンター)

3W26	第26会場 (神戸商工会議所 3F 神商ホールA)	9:00-11:30 [J]
-------------	----------------------------------	-----------------------

病原微生物の増殖制御として働く宿主細胞オルガネラ		
---------------------------------	--	--

オーガナイザー: 花田 賢太郎 (国立感染症研究所)
鈴木 哲朗 (浜松医科大学)

Introduction	[9:00]
---------------------	---------------

花田 賢太郎 (国立感染症研究所)

3W26-1	[9:05]
---------------	---------------

クラミジア・トラコマティスによってハイジャックされる宿主セラミド輸送機構
熊谷 圭悟¹, 山地 俊之¹, 山本 章嗣², 花田 賢太郎¹ (¹国立感染研・細胞化学, ²長浜バイオ大・アニマルサイエンス)



3W26-2 [9:25]

Obligatory Intracellular Bacterial Nutrition Through Rab5-mediated Autophagy

Yasuko Rikihisa¹, Mingqun Lin¹, Hongyan Liu¹, Qingming Xiong¹, Hua Niu¹, Zhihui Cheng¹, 山本 章嗣² (¹Dept. of Vet. Biosci., The Ohio State Univ., ²Faculty Biosci., Nagahama Inst. Biosci. & Tech.)

3W26-3 [9:50]

インターフェロン γ 誘導性GTPaseによるトキソプラズマ寄生胞の破壊制御機構

山本 雅裕 (阪大・微研・IFReC・免疫寄生虫学)

3W26-4 [10:15]

ボルナウイルス：RNAウイルスによる細胞核ヒッチハイキング

朝長 啓造 (京大・ウイルス研)

3W26-5 [10:40]

ダイサー遺伝子の発現誘導で活性化されたRNAサイレンシングによる別種ウイルス間の干渉効果

鈴木 信弘¹, 千葉 壮太郎² (¹岡山大学資源植物科学研究所, ²名古屋大学アジアサテライトキャンパス)

3W26-6 [10:55]

C型肝炎ウイルス複製に関わる宿主オルガネラとのコミュニケーション

鈴木 哲朗 (浜松医大・医・感染症学)

3W27 第27会場(神戸商工会議所3F 神商ホールB) 9:00-11:30 [J]

新農薬を志向したケミカルバイオロジー

オーガナイザー：長田 裕之 (理化学研究所)

河岸 洋和 (静岡大学)

Introduction [9:00]

長田 裕之 (理化学研究所)

3W27-1 [9:05]

糸状菌二次代謝を標的とした農薬探索

本山 高幸, 尹 忠録, 長田 裕之 (理研CSRS・ケミカルバイオロジー)

3W27-2 [9:33]

アフラトキシン、トリコセチン生産阻害物質の作用機構

作田 庄平, 古川 智宏, 飯村 九林, 山本 利義 (東大・院農・応生化)

3W27-3 [10:01]

フェアリーリングの化学的解明とそのフェアリーの農業への応用への可能性

河岸 洋和 (静大・グリーン研)

3W27-4 [10:29]

新規植物カルス誘導化合物FPXと新規植物成長促進化合物PPGの単離と機能解析

中野 雄司^{1,4}, 田中 翔太^{1,2}, 久城 哲夫², 篠崎 一雄¹, 長田 裕之¹, 浅見 忠男^{3,4} (¹理研・環境資源科学研究センター, ²明治大学・農・農芸化学, ³東大・農学生命・応用生命化学, ⁴JST-CREST)

3W27-5 [10:57]

昆虫制御のケミカルバイオロジー：昆虫の神経伝達を選択的に制御する糸状菌代謝物の標的解明とその意味

松田 一彦 (近畿大学農学部応用生命化学科)

Conclusion [11:25]

河岸 洋和 (静岡大学)

3W2-p 第2会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 借栄1)

14:00-16:30 [J]

多様なDNA損傷応答の統合制御機構 2015 ~ゲノム不安定性の病態解明研究~

オーガナイザー：柴田 淳史 (群馬大学)
 荻 朋男 (名古屋大学)

Introduction

[14:00]

柴田 淳史 (群馬大学)

3W2-p-1

[14:03]

BRCA1によるDSB end resectionの時空間的制御

磯野 真由¹, 新美 敦子², 尾池 貴洋³, 萩原 慶彦^{3,4}, 佐藤 浩央³, 関根 亮太¹, 吉田 由香里¹, Elena Petricci⁵, 中田 慎一郎⁶, 中野 隆史^{1,2,3}, 柴田 淳史⁴ (群馬大・重粒子線セ.²群馬大・未来先端,³群馬大・院医・病態腫瘍制御,⁴群馬大・先端ユニット,⁵シエナ大,⁶大阪大・院医・細胞応答制御)

3W2-p-2

[14:21]

ヒトRAD52のアセチル化を介した相同組換えにおけるアセチル化および脱アセチル化酵素の新規機能の解明
 安田 武嗣¹, 香川 亘², 荻 朋男³, 齋藤 健吾⁴, 加藤 宝光⁵, 鈴木 健祐⁶, 堂前 直⁶, 滝澤 和也¹, 早乙女(中邑) 愛¹, 中沢 由華⁷, Matthew D. Genet⁸, 宇井 彩子⁸, 花岡 文雄⁹, 菅澤 薫¹⁰, 岡安 隆一¹¹, Penny A. Jeggo¹², 胡桃坂 仁志¹, 田嶋 克史¹ (放医研・緊急被ばく医療研究センター,²明星大・理工,³名古屋大・環境医学研,⁴早稲田大・院・先進理工/理工研,⁵Dep. Environmental and Radiological Health Sci., Colorado State Univ.,⁶理研・環境資源科学研究センター,⁷長崎大・がんゲノム不安定性研究拠点,⁸聖マリアンナ医大・応用分子腫瘍,⁹学習院大・理,¹⁰神戸大・バイオシグナル研究センター,¹¹放医研・国際オープンラボラトリー,¹²Genome Damage and Stability Ctr., Univ. of Sussex)

3W2-p-3

[14:39]

相同組換え修復過程におけるユビキチン化の関与
 中田 慎一郎 (大阪大学大学院医学系研究科)

3W2-p-4

[14:57]

相同組換えにおけるRPA2のユビキチン化を介した分解

稲野 将二郎^{1,4}, 佐藤 浩一², 石合 正道¹, 勝木 陽子¹, 中田 慎一郎³, 胡桃坂 仁志², 高田 稔¹ (京都大学・放射線生物研究センター・晩発効果研究部門,²早稲田大学・理工学術院先進理工学部・電気情報生命工学科,³大阪大学・医学系研究科・細胞応答制御学,⁴京都大学・大学院医学研究科・血液腫瘍内科)

3W2-p-5

[15:15]

DNA二重鎖切断修復に関与する脱ユビキチン化酵素を介したゲノム安定性維持機構

Paul Wijnhoven¹, Rebecca Konietzny², Andrew N. Blackford¹, Jonathan Travers¹, Benedikt M. Kessler², 西 良太郎^{1,3}, Stephen P. Jackson^{1,4} (The Wellcome Trust/Cancer Res. UK, Gurdon Inst., Univ. of Cambridge,²Target Discovery Inst., Nuffield Dept. of Med., Univ. of Oxford,³立命館大・生命・生命医学,⁴The Wellcome Trust Sanger Inst.)

3W2-p-6

[15:33]

Rad9 C末端によるチェックポイントクランプRad9-Hus1-Rad1の機能制御機構

大橋 英治¹, 武石 幸容^{1,2}, 釣本 敏樹¹ (九大・理・生物,²福歯大・先端科学研究センター)

3W2-p-7

[15:51]

相同組換えを介したDNA複製の再スタート機構の解析

花田 克浩, 川島 友莉 (大分大・医・臨床医工)

3W2-p-8

[16:09]

ゲノム不安定性を示す遺伝性疾患の症例収集と病態解析研究

荻 朋男^{1,2,3}, 中沢 由華^{1,2,3}, 唐田 清伸^{1,2,3}, 郭 朝万^{1,2}, 岡 泰由^{1,2}, 貫 楠^{1,2}, 嶋田 蘭子^{2,3}, 宮崎 仁美^{2,3}, 千住 千佳子^{2,3} (1)名大・環研・発生遺伝,²長大・がん・ゲノム不安定性研究拠点,³長大・原研修復)

Conclusion

[16:27]

荻 朋男 (名古屋大学)



3W3-p 第3会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 借楽2)

14:00-16:30 [J]

生体反応システムの頑強性と進化可能性

オーガナイザー：堀越 正美 (東京大学)
一柳 健司 (九州大学)

Introduction

[14:00]

一柳 健司 (九州大学)

3W3-p-1

[14:05]

頑強性・脆弱性：要素からシステムまでの横断的理解

堀越 正美 (東大・分生研・発生分化構造)

3W3-p-2

[14:25]

細胞内で不安定な細胞質流動が安定的に生じるメカニズム

木村 健二^{1,2}, 木村 暁^{1,2} (¹遺伝研・細胞建築, ²総研大・遺伝学専攻)

3W3-p-3

[14:45]

適応機構に成り立つ基本法則

小林 徹也, 杉山 友規 (東大・生産研)

3W3-p-4

[15:05]

全成分タンパク質合成反応モデルの構築と反応ダイナミクス解析

松浦 友亮¹, 谷村 直樹³, 細田 一史⁴, 四方 哲也⁵, 清水 義宏² (阪大・院工・生命先端・生物工学, ²理研・Qbic, ³ミズホ情報総研, ⁴阪大・未来機構, ⁵阪大・院情報・バイオ情報)

3W3-p-5

[15:25]

タンパク質の過剰発現が及ぼす影響とそれに対する細胞のストラテジー

守屋 央朗¹, 石川 浩史², 江口 優一², 金高 令子², 蒔苗 浩司¹ (¹岡大・異分野コア, ²岡大・院自然)

3W3-p-6

[15:45]

発生システムが動物ボディプラン進化を制約している可能性

入江 直樹¹, Song Guo², Haiyang Hu², 島井 光太郎³, Fang Li³, Guojie Zhang^{5,6}, 倉谷 滋⁴, Shiping Liu⁵, Jr-Kai Yu⁷, 笹川 洋平⁸, 日下部 岳広³, Philipp Khaitovich² (¹東大・院理・生物科学, ²CAS-MPG Partner Institute, ³甲南大・院自然・生物, ⁴理研, ⁵BGI, ⁶Dept. of Biol. Univ. of Copenhagen, ⁷Academia Sinica, Taiwan, Institut. of Cellular and Organismic Biology, ⁸理研・情報基盤センター)

3W3-p-7

[16:05]

HSP90が遺伝学的ロバストネスと進化可能性に与える影響：大域的遺伝的修飾効果の検証

高橋 一男 (岡大・環境生命)

Conclusion

[16:25]

堀越 正美 (東京大学)

3W4-p 第4会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 借楽3)

14:00-16:30 [J]

生活習慣病の基盤にある代謝・免疫・老化クロストーク

オーガナイザー：尾池 雄一 (熊本大学)
真鍋 一郎 (東京大学)

3W4-p-1

[14:00]

肥満によって加速される免疫老化の分子機序の解明

佐野 元昭, 白川 公亮 (慶應義塾大学医学部循環器内科)

3W4-p-2

[14:25]

生活習慣病・がんの共通分子機構とSASPとしてのアンジオポエチン様因子2シグナル

門松 毅, 尾池 雄一 (熊大・生命科学研究部・分子遺伝)

3W4-p-3

[14:50]

SIRT7の多様な代謝機能

吉澤 達也, 山縣 和也 (熊大・院生命科学研究・病態生化学)

3W4-p-4 **[15:15]**
肥満における2型自然リンパ球の役割

茂呂 和世 (理研・統合生命・免疫細胞)

3W4-p-5 **[15:40]**
生活習慣病の基盤となる細胞代謝-機能連携のメカニズム

大石 由美子 (東京医科歯科大・難研・細胞分子医学)

3W4-p-6 **[16:05]**
tRNA修飾異常と代謝疾患

富澤 一仁 (熊本大・院生命科学・分子生理)

3W5-p 第5会場(神戸ポートピアホテル本館B1F和楽) **14:00-16:30 [J]**
神経変性疾患の原因を遺伝子レベルからアプローチする

オーガナイザー：石田 直理雄 (産業技術総合研究所)

3W5-p-1 **[14:00]**
ショウジョウバエ分子遺伝学を利用した遺伝性パーキンソン病へのアプローチ

今居 謙 (順大・院医・パーキンソン病)

3W5-p-2 **[14:30]**
神経型ゴーシェ病モデルメダカは軸索にアルファシヌクレイン蓄積を示す

上村 紀仁 (京大・院医・臨床神経)

3W5-p-3 **[15:00]**
新しいゴーシェ病モデルショウジョウバエ

 石田 直理雄^{1,2} (¹産総研バイオメディカル時間生物, ²筑波大生命環境)

3W5-p-4 **[15:30]**
シャペロン療法

難波 栄二 (鳥大 生命機能センター)

3W5-p-5 **[16:00]**
パーキンソン病の病態：遺伝性パーキンソン病の原因遺伝子からのアプローチ

服部 信孝 (順天堂大・医・神経学)

3W6-p 第6会場(神戸ポートピアホテル本館B1F生田) **14:00-16:30 [E]**
Dynamics in cell-cell adhesion and cytoskeleton complex to create biological systems

Organizers : Junichi Ikenouchi (Kyushu University)

Sachiko Tsukita (Osaka University)

Introduction **[14:00]**

Sachiko Tsukita (Osaka University)

3W6-p-1 **[14:02]**
Regulation of the epithelial morphogenesis by the tight junction-apical microtubule complex.

Tomoki Yano, Hatsuho Kano, Elisa Herawati, Kazuhiro Tateishi, Atsushi Tamura, Sachiko Tsukita (Lab. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Front. Biosci. / Grad. Sch. of Med., Univ. of Osaka)

3W6-p-2 **[14:20]**
Planar cell polarity pathway coordinates local cortical actomyosin during collective cell movement

 Asako Shindo¹, Mitchell Butler², John Wallingford², Makoto Kinoshita¹ (¹Dept. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Sci., Nagoya Univ., ²Dept. Mol. Biosci., Univ. of Texas at Austin)

3W6-p-3 **[14:38]**
Self-organization of actomyosin cytoskeleton

 Alexander D. Bershadsky^{1,2} (¹Department of Molecular Cell Biology, Weizmann Institute of Science, ²Mechanobiology Institute, National University of Singapore)



3W6-p-4 [15:01]

Qualitative changes of plasma membrane during epithelium-mesenchyme transition

Junichi Ikenouchi^{1,2}, Ryo Shiomi¹, Kenta Shigetomi¹ (¹Dept. of Biol., Fac. of Sci., Kyushu Univ., ²JST PRESTO)

3W6-p-5 [15:19]

Mechanobiology of the Cadherin-Catenin Complex

W. James Nelson (Department of Biology, Stanford University)

3W6-p-6 [15:42]

CAMSAP3 determines the apical-to-basal orientation of microtubules in polarized epithelial cells

Mika Toya¹, Wenxiang Meng², Masatoshi Takeichi¹ (¹RIKEN CDB, ²CAS)

3W6-p-7 [16:00]

How does a one-dimensional (1-D) sequence of DNA become a 3-D tissue?

Mina J. Bissell^{1,2}, Saori Furuta^{1,2}, Claire Robertson^{1,2} (¹Life sciences Division, Lawrence Berkeley National Laboratory, ²University Calif, Berkeley)

Conclusion [16:23]

Junichi Ikenouchi (Kyushu University)

3W7-p 第7会場(神戸ポートピアホテル本館B1F布引) 14:00-16:30 [J/E]

統合化に向けて加速する脂質生物学の現状と展望

オーガナイザー：平林 義雄 (理化学研究所)
伊東 信 (九州大学)

3W7-p-1 [14:00]

新しい脂質生物学：脂質分子多様性の意義を問う

平林 義雄 (理研・脳センター)

3W7-p-2 [14:15]

Promiscuous Substrate Specificity by SPT is Essential to Maintain Energy Homeostasis

Peter Greimel (RIKEN)

3W7-p-3 [14:35]

細胞膜リン脂質スクランブルの分子機構

鈴木 淳, 長田 重一 (大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫・生化学)

3W7-p-4 [15:00]

皮膚バリアを形成するアシルセラミドの合成経路解明

大野 祐介, 木原 章雄 (北大・院薬・生化学)

3W7-p-5 [15:25]

プロスタグランジンE受容体のX線結晶構造解析を目指して

小林 拓也^{1,2,3} (¹京大・院医, ²創薬等PF, ³CREST)

3W7-p-6 [15:50]

1細胞質量分析法によるダイレクトリピドミクス

升島 努 (理化学研究所)

3W7-p-7 [16:10]

真核単細胞生物の糖脂質/スフィンゴ脂質精密構造の生物学的意義

伊東 信^{1,2} (¹九大院・農・生命機能, ²九大院・農・i-BAC)

3W8-p 第8会場(神戸ポートピアホテル本館B1F北野)

14:00-16:30 [J]

最近の技術から見てきた細胞膜受容体の新しい側面

オーガナイザー：山内 淳司(国立成育医療研究センター研究所)
加藤 裕教(京都大学)

3W8-p-1

[14:00]

初期発生におけるプロスタグランジン受容体の新規機能—モデル生物としてゼブラフィッシュを用いた解析から—

土屋 創健¹, 岩崎 亮¹, 告 恭史郎¹, 杉本 幸彦^{1,2} (¹熊大・薬・生化学, ²AMED)

3W8-p-2

[14:20]

BRAG2-Arf6経路による新たなAMPA受容体シナプス発現調節機構

阪上 洋行(北里大学・医学部・解剖学)

3W8-p-3

[14:40]

Tyro3受容体とFynキナーゼは、ミエリン形成を司る新しいシグナル複合体を形成する

宮本 幸¹, 山内 淳司^{1,2} (¹国立成育医療研究センター研究所薬剤治療研究部, ²東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

3W8-p-4

[15:00]

Eフリン受容体EphA2のリガンド非依存的シグナルとリガンドによるOFF作用

加藤 裕教, 根岸 学(京大・院生命)

3W8-p-5

[15:20]

上皮バリア機能維持における12-HHT受容体BLT2の役割

佐伯 和子¹, 石井 由美子², 奥野 利明¹, 横溝 岳彦¹ (¹順天堂大・医・生化学第一, ²九大・医・呼吸器内科学)

3W8-p-6

[15:40]

膜骨格蛋白複合体がもたらす組織構築

寺田 信生¹, 齋藤 百合花², 上條 明生¹, 大野 伸彦² (¹信州大・院医・保健・医療生命科学, ²山梨大・院医工・解剖分子組織学)

3W8-p-7

[16:00]

ゼブラフィッシュ初期発生過程におけるS1P受容体を介したHippoシグナル調節機構

福井 一¹, 福原 茂朋¹, 望月 直樹^{1,2} (¹国循セ研・細胞生物, ²AMED-CREST)

総説討論

[16:20]

3W9-p 第9会場(神戸ポートピアホテル本館B1F菊水)

14:00-16:30 [J]

分子機序に基づいた難治性呼吸器疾患治療の新展開

オーガナイザー：首藤 剛(熊本大学)
沖米田 司(関西学院大学)

Introduction

[14:00]

首藤 剛(熊本大学)

3W9-p-1

[14:02]

慢性閉塞性肺疾患(COPD)の治療薬に対する生体応答機構の解明

宮田 将徳^{1,2}, 宮田(澤) 聖子^{1,2}, 沖米田 司¹, Jian-Dong Li² (¹関学大・理工・生命医化, ²ジョージア州立大・生物医学研究所)

3W9-p-2

[14:23]

ドラッグリポジショニング(DR)によるCOPD治療薬の開発

田中 健一郎(慶應大・薬・創薬科学)

3W9-p-3

[14:44]

閉塞性肺疾患モデルマウスを用いた肺病態増悪因子の同定とその治療的応用

首藤 剛¹, 亀井 竣輔^{1,2}, 坂口 由起¹, 松本 千鶴¹, 小野 智美¹, 菅原 卓哉¹, 野原 寛文^{1,2}, 藤川 春花^{1,2}, 丸田 かすみ¹, 中嶋 竜之介¹, スイコ メリアン¹, 近藤 嘉高³, 石神 昭人³, 甲斐 広文^{1,2} (¹熊大・院薬・遺伝子機能応用学, ²熊大・リーディング院・HIGO, ³東京都健康長寿医療セ・老化制御)

3W9-p-4 **[15:05]**
タンパク質品質管理機構を標的とした囊胞性線維症の新規治療戦略

沖米田 司 (関学大・理工・生命医化)

3W9-p-5 **[15:26]**
アルブミン融合技術を利用した血中滞留型チオレドキシンの創製と難治性肺疾患治療への応用

 渡邊 博志^{1,2}, 田中 遼大¹, 異島 優^{1,2}, Victor Chuang³, 小田切 優樹^{4,5}, 丸山 徹^{1,2} (¹熊大・薬・薬剤学, ²熊大・薬・育葉フロ
ンティアセ, ³Fac. of Health Sci., Sch. of Pharm., Curtin Univ., Australia, ⁴崇城大・薬, ⁵崇城大・DDS研)

3W9-p-6 **[15:47]**
重症肺高血圧モデルラットを用いたヒストン脱アセチル化酵素阻害薬の肺高血圧に対する治療効果の検討

中西 敏雄, Beidi Lan, 羽山 恵美子 (東京女子医科大学循環器小児科)

3W9-p-7 **[16:08]**
フェブキソスタットはタバコによる好中性球性肺炎症を抑制する

野村 城司, 松井 智恵子, 田村 みずほ, 小林 恒文 (帝人ファーマ・医薬開発研究所)

Conclusion **[16:29]**

沖米田 司 (関西学院大学)

3W10-p 第10会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F トパス) **14:00-16:30 [J]**
分泌過程の修飾メカニズムとそのダイナミズム

オーガナイザー: 石川 裕之 (千葉大学)

後藤 聡 (立教大学)

Introduction **[14:00]**

後藤 聡 (立教大学)

3W10-p-1 **[14:01]**
Notch 情報伝達機構における O-グルコース糖鎖修飾の重要性に関する研究

竹内 英之 (ジョージア大学)

3W10-p-2 **[14:30]**
蛋白間相互作用における糖鎖の新たな機能

鍋島 陽一 (先端医療振興財団)

3W10-p-3 **[14:54]**
ゴルジ体キナーゼFour-jointedの発現・局在パターン形成機構

松本 仙太郎, 白石 穂高, 計良 陽子, 石川 裕之 (千葉大・理・生物)

3W10-p-4 **[15:17]**
ゴルジ体ストレス応答による糖鎖修飾酵素の発現調節

吉田 秀郎 (兵庫県大・院生命理学・ピコバイオロジー)

3W10-p-5 **[15:41]**
新規GPIアンカー切断酵素とGPIアンカー側鎖付加酵素の特徴と機能

木下 タロウ (阪大・免フロ・糖鎖免疫)

3W10-p-6 **[16:05]**
GPI修飾が行われる細胞内コンパートメント

後藤 聡, 山本日野 美紀 (立教大学・理・生命理学)

Conclusion **[16:28]**

石川 裕之 (千葉大学)

3W11-p 第11会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F エメラルド)

14:00-16:30 [E]

Nuclear non-coding RNA architecture for physiological functionsOrganizers : Kuniaki Saito (Keio University)
Tetsuro Hirose (Hokkaido University)**Introduction**

[14:00]

Kuniaki Saito (Keio University)

3W11-p-1

[14:03]

Regulation of mRNAs and long noncoding RNAs that lack a poly(A) tailDeirdre C. Tatomer¹, Sara Cherry², **Jeremy E. Wilusz**¹ (¹Department of Biochemistry and Biophysics, University of Pennsylvania Perelman School of Medicine, Philadelphia, PA, USA, ²Department of Microbiology, University of Pennsylvania Perelman School of Medicine, Philadelphia, PA, USA)**3W11-p-2**

[14:33]

CRISPR/Cas9-mediated dissection of NEAT1 lncRNA to identify architectural RNA elements

Tomohiro Yamazaki, Tetsuro Hirose (Institute for Genetic Medicine, Hokkaido Univ.)

3W11-p-3

[14:50]

The imprinted ncRNA, UBE3A-ATS regulates the chromatin architecture of MAGEL2 and NDN locus over long distance.Shin-ichi Horike¹, Dag H. Yasui², James L. Resnick³, Janine M. Lasalle², Makiko Horike-Meguro¹ (¹Advanced Science Research Center, Kanazawa University, Japan, ²Dep. of Medical Microbiology and Immunology, UC Davis, USA, ³Dep. of Molecular Genetics & Microbiology, University of Florida, USA)**3W11-p-4**

[15:07]

Long noncoding RNA and the brain: Functions of Lobe-less RNA in Drosophila mushroom body developmentYuji Kageyama^{1,2}, Sachi Inagaki¹ (¹Res. Ctr. Env. Genomics, Kobe Univ., ²Dept. Biol., Grad. Sch. Sci., Kobe Univ.)**3W11-p-5**

[15:24]

CTD-code of RNA polymerase II regulates dynamics of lncRNA for RNAi-dependent heterochromatin formationTakuya Kajitani¹, Hiroaki Kato², Yutaka Suzuki³, Yuji Chikashige⁴, Hiroshi Kimura⁵, Yasuyuki Ohkawa⁶, Chikashi Obuse⁷, Koji Nagao⁷, Damien Hermand⁸, **Yota Murakami**¹ (¹Dept. of Chem., Sci., Hokkaido Univ., ²Dept. of Biochem. Grad. Sch. of Med. Simone Univ., ³Grad. Sch. of Front. Sci., Univ. of Tokyo, ⁴Adv. ICT Res. Inst., NICT, ⁵Dept. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Biosci. and Biotech., Tokyo Inst. of Tech., ⁶Dept. of Adv. Init. Med., Med., Kyushu Univ., ⁷Adv. Life Sci., Hokkaido Univ., ⁸NARC, Univ. of Namur)**3W11-p-6**

[15:41]

Small RNA mediated transposon silencing in the Drosophila germ line and beyondKatalin Fejes Tóth¹, Adrien Le Thomas¹, Georgi Marinov², Alexandre Webster¹, Alicia Rogers¹, Can Li¹, Alexei Aravin¹ (¹California Institute of Technology, ²Indiana University)**3W11-p-7**

[16:11]

Pwi-piRNA complex regulates linker histone H1 for transcriptional silencing of their target transposons in the nucleusYuka W. Iwasaki¹, Hirotsugu Ishizu², Aoi Shibuya¹, Yumiko Iyoda¹, Mikiko C. Siomi², Haruhiko Siomi¹, Kuniaki Saito¹ (¹Department of Molecular Biology, Keio University School of Medicine, ²Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, The University of Tokyo)**Conclusion**

[16:28]

Tetsuro Hirose (Hokkaido University)

3W12-p 第12会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ダイアモンド)

14:00-16:30 [J]

Nutri-developmental biolog: 栄養に応じた発生調節の分子メカニズムの理解に向けてオーガナイザー: 丹羽 隆介(筑波大学)
上村 匡(京都大学)**Introduction**

[14:00]

丹羽 隆介(筑波大学)

3W12-p-1

[14:03]

栄養バランス変化に適応する生体システムの解明に向けて服部 佑佳子¹, 渡辺 佳織¹, 古溝 優生¹, 内山 博允², 高橋 優喜¹, 矢嶋 俊介², 和多田 正義³, 上村 匡¹ (¹京大・院生命科学, ²農大・生物資源ゲノム解析センター, ³愛媛大・院理工)**3W12-p-2**

[14:28]

線虫の発生とアセチル化制御波田 一誠¹, 廣田 恵子², 稲野辺 愛³, 加香 孝一郎⁴, 深水 昭吉¹ (¹筑波大・TARAセンター, ²筑波大・グローバル教育院, ³筑波大・院・生命環境科学, ⁴筑波大・院・生命環境系)**3W12-p-3**

[14:48]

母から子へと伝えられる栄養の力: ショウジョウバエのステロイド動態研究から丹羽 隆介^{1,2} (¹筑波大・生命環境, ²JST・さきがけ)**3W12-p-4**

[15:08]

Hajime-no IPPO: Fat vs. Body Size for nutri-developmental biology

森 明弘, Albertha Walhout (UMASS・システム生物学)

3W12-p-5

[15:33]

線虫における神経前駆細胞の栄養応答を司る組織間ネットワーク

福山 征光(東大・院薬・生理化学)

3W12-p-6

[15:58]

高糖質食による糖代謝異常が腫瘍増殖を促進する分子機序の解析

平林 享(MRC クリニカル・サイエンス・センター, インベリアル・カレッジ・ロンドン)

Conclusion

[16:28]

上村 匡(京都大学)

3W13-p 第13会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ルビー)

14:00-16:30 [J]

最先端の光イメージング技術と医学・生物学への新たな展開オーガナイザー: 大嶋 佑介(愛媛大学)
片桐 崇史(東北大学)**3W13-p-1**

[14:00]

超高速光イメージング技術の最新動向三上 秀治¹, 合田 圭介^{1,2,3} (¹東大・院理・化学, ²カリフォルニア大ロサンゼルス校・工・電気工学, ³JST)**3W13-p-2**

[14:30]

深部超解像イメージングのための多光子蛍光顕微鏡磯部 圭佑^{1,2}, 緑川 克美¹ (¹理化学研究所, ²JSTさきがけ)**3W13-p-3**

[15:00]

ラマン分光・イメージング技術の開発と生体計測への応用

大嶋 佑介(愛媛大学大学院医学系研究科)

3W13-p-4

[15:30]

生体内におけるエネルギー動態

山本 正道(京都大学)



3W13-p-5 [16:00]

Fluorescence-guided detection of tumors by aminopeptidase-activatable fluorescent probes

神谷 真子^{1,2}, 浦野 泰照^{1,3,4} (¹東大・院医, ²JST・さきがけ, ³東大・院薬, ⁴AMED・CREST)

3W14-p 第14会場(神戸国際会議場 1F メインホール) 14:00-16:30 [J]

がんとワールブルグ効果

オーガナイザー：曾我 朋義(慶應義塾大学)
江角 浩安(東京理科大学)

Introduction [14:00]

江角 浩安(東京理科大学)

3W14-p-1 [14:05]

がんと解糖

杉村 隆(日本学士院)

3W14-p-2 [14:30]

大規模定量プロテオミクスで挑むがん代謝の実体解明

松本 雅記¹, 中山 敬一² (¹九大・生医研・プロテオミクス, ²九大・生医研・分子医科学)

3W14-p-3 [15:00]

EGFRシグナル伝達経路とワールブルグ効果

牧野嶋 秀樹¹, 江角 浩安², 土原 一哉¹ (¹国がセ・先端医療セ・TR, ²東理大・生医研)

3W14-p-4 [15:30]

EDAC(Epithelial Defense Against Cancer)は、がん細胞のワールブルグ効果様代謝変化を誘因し、組織より排除する

昆 俊亮, 石橋 公二郎, 渡邊 裕貴, 松本 朋大, 江上 陸, 藤田 恭之(北大・遺制研・分子腫瘍)

3W14-p-5 [16:00]

何が大腸がんの代謝リプログラミングを引き起こすのか？

曾我 朋義^{1,2} (¹慶大・先端生命研, ²CREST-AMED)

3W16-p 第16会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール) 14:00-16:30 [J/E]

糖鎖を利用した、異物と宿主の生存戦略

オーガナイザー：山本(日野)美紀(立教大学)
白土 明子(金沢大学)

Introduction [14:00]

山本(日野)美紀(立教大学)

3W16-p-1 [14:04]

宿主の糖鎖修飾変化による自然免疫反応の制御

山本・日野 美紀¹, 村岡 正敏², 近藤 周³, 上田 龍³, 岡野 栄之⁴, 後藤 聡¹ (¹立教大・理, ²東京都医学総合研, ³国立遺伝研・無脊椎, ⁴慶応大・医)

3W16-p-2 [14:30]

自然リンパ球による腸管上皮細胞のフコース誘導を介した感染防御基盤の形成

後藤 義幸^{1,2}, 清野 宏^{2,3} (¹千葉大・真菌医学研究センター・感染免疫, ²東大・医科研・国際粘膜ワクチンセンター, ³東大・医科研・炎症免疫)

3W16-p-3 [14:56]

Apoptosis-dependent phagocytosis of virus-infected cells in Drosophila: an evolutionarily conserved antiviral mechanism

Firzan Nainu^{1,3}, Yumiko Tanaka², Akiko Shiratsuchi¹, Yoshinobu Nakanishi¹ (¹Grad. of Med. Sci., Kanazawa Univ., ²Sch. Pharm., Kanazawa Univ., ³Fac. Pharm., Hasanuddin Univ.)



3W16-p-4 [15:10]

細胞表面糖鎖の修飾変化を利用した腫瘍免疫逃避機構

坪井 滋 (公財) 鷹揚郷腎研究所 癌免疫細胞生物)

3W16-p-5 [15:36]

ウイルス感染における糖鎖の機能解明と糖鎖の利用技術の開発

高橋 忠伸 (静岡県立大・薬・生化学)

3W16-p-6 [16:02]

原虫感染における糖鎖の役割と抗原虫薬としての可能性

加藤 健太郎 (帯広畜産大・原虫研)

総合討論 [16:28]

3W19-p 第19会場(神戸国際会議場 5F 501会議室) 14:00-16:30 [J]

生命システム原材料の起源と進化：遺伝子編成の基本原理は何か？ -オペロン説を超えて-

オーガナイザー：三瓶 巖一 (電気通信大学)

根本 直樹 (千葉工業大学)

Introduction [14:00]

三瓶 巖一 (電気通信大学)

3W19-p-1 [14:02]

原核生物の遺伝子編成に基本原理はあるか？

別所 義隆^{1,2} (理研・SPRING-8センター, ²中央研究院・物理研究所)

3W19-p-2 [14:19]

KEGG分子ネットワークによる生命システム再構築

金久 實 (京大・化研)

3W19-p-3 [14:36]

オペロンと保存反応列から見る、遺伝子編成と代謝ネットワークの進化

武藤 愛¹, 小寺 正明², 五斗 進³, 金久 實³ (¹奈良先端大・バイオサイエンス, ²東工大・生命理工, ³京大・化研・バイオインフォマティクスセンター)

3W19-p-4 [14:53]

インゾレノイド生合成経路の収斂進化

葛山 智久 (東大・生物工学セ)

3W19-p-5 [15:10]

原核光合成生物のゲノム中にみられる光合成関連遺伝子の存在様式と光合成の進化過程

井上 和仁 (神奈川大・理・生物科学)

3W19-p-6 [15:27]

大腸菌のポリアミン代謝に関わる遺伝子の編成と進化

根本 直樹 (千工大学・工・生命環境)

3W19-p-7 [15:44]

プリンヌクレオチド生合成系遺伝子群の編成

河合 剛太¹, 三瓶 巖一² (¹千葉工大・工, ²電通大・院情報理工)

3W19-p-8 [16:01]

Gene clusterの多様性からみたトリプトファン生合成システムの編成

溝渕 潔 (電気通信大学)

総合討論 [16:18]

3W20-p 第20会場(神戸国際会議場 5F 502会議室)

14:00-16:30 [J/E]

「生殖」から読み解く哺乳類の生命現象

オーガナイザー：深見 真紀 (国立成育医療研究センター研究所)
宮戸 健二 (国立成育医療研究センター研究所)

Introduction

[14:00]

宮戸 健二 (国立成育医療研究センター研究所)

3W20-p-1

[14:03]

精漿タンパク質SVS2欠損マウスから見えてきた、精子を殺すメスの免疫機構

河野 菜摘子^{1,2}, 康 宇鎮¹, 吉田 薫³, 吉田 学⁴, 宮戸 健二² (¹明大・農・生命, ²国立成育医療研究セ・細胞医療, ³桐蔭横浜大・先端医用工学センター, ⁴東大・院理・臨海)

3W20-p-2

[14:24]

哺乳類の排卵を制御する脳内メカニズム

井上 直子 (名大・院生命農)

3W20-p-3

[14:45]

細胞の初期化過程でのシグナル伝達経路の役割

関田 洋一, 木村 透 (北里大・理・生物学)

3W20-p-4

[15:06]

卵の加齢メカニズム

浜谷 敏生 (慶應義塾大学医学部・産婦人科(生殖医療))

3W20-p-5

[15:27]

ヒト卵母細胞におけるコヒーシンの加齢に伴う減少

堤 真紀子, 倉橋 浩樹 (藤田保健衛生大学・総合医科学研究所・分子遺伝学研究部門)

3W20-p-6

[15:48]

Molecular basis for the activation of gonadotropin-inhibitory hormone gene transcription by corticosterone

You lee Son, Kazuyoshi Tsutsui (Lab. of Integrative Brain Sci., Dept. of Biol., Waseda Univ.)

3W20-p-7

[16:09]

生殖補助医療と高齢出産が片親性ダイソミー発症に及ぼす影響について考える

松原 圭子 (成育医療研究センター 分子内分泌研究部)

3W22-p 第22会場(神戸国際展示場 2F 2A会議室)

14:00-16:30 [E]

Quantitative biology toward trans-omic analysis

Organizers : Keiichi Nakayama (Kyushu University)
Sinya Kuroda (The University of Tokyo)

3W22-p-1

[14:00]

Reconstruction of global network of acute insulin action from phospho-proteome and metabolome data

Shinya Kuroda, Katsuyuki Yugi (Dept. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo)

3W22-p-2

[14:25]

Integrated 'Omics' analyses in a model plant, *Arabidopsis thaliana*

Keiko Yonekura-Sakakibara¹, Kazuki Saito^{1,2} (¹RIKEN CSRS, ²Grad. Sch. of Pharm. Sci., Chiba Univ.)

3W22-p-3

[14:50]

Development of supercritical fluid technologies for acquisition of highly accurate metabolome data

Takeshi Bamba (Med. Inst. of Bioreg., Kyushu Univ.)

3W22-p-4

[15:15]

Structural approach for sensitivity of chemical reaction networks

Atsushi Mochizuki^{1,2}, Bernold Fiedler³, Takashi Okada¹ (¹Theor. Biol. Lab., RIKEN, ²CREST, JST, ³Inst. Math., Freie Univ. Berlin)



3W22-p-5 [15:40]

Next-generation proteomics unveils a global landscape of life systems

Keiichi Nakayama (Dept. Mol. Cell. Biol., Kyushu Univ.)

3W22-p-6 [16:05]

Identifying the (few) Mechanisms that Coordinate Microbial Metabolism

Uwe Sauer (ETH Zurich)

3W24-p 第24会場(神戸国際展示場 3F 3A会議室) 14:00-16:30 [J]

細胞運命変換

オーガナイザー：菊池 裕 (広島大学)
鈴木 淳史 (九州大学)

Introduction [14:00]

鈴木 淳史 (九州大学)

3W24-p-1 [14:02]

生体内に存在する多能性幹細胞Muse細胞の体内動態と組織修復機構

出澤 真理 (東北大学大学院 医学系研究科)

3W24-p-2 [14:23]

iPS細胞を用いた立体的臓組織作製の展望

川口 義弥 (京都大学 iPS細胞研究所)

3W24-p-3 [14:44]

脊椎動物の中内胚葉分離における時空間的制御機構の解析

穂積 俊矢, 青木 駿, 菊池 裕 (広大・院理・生物学)

3W24-p-4 [15:05]

多分化能を有する細胞を誘導するシグナルインプット ～メキシコサラマンダーの器官再生誘導因子～

佐藤 伸, 蒔苗 亜紀, 水戸川 和正 (岡山大学 異分野融合先端研究コア)

3W24-p-5 [15:26]

心臓再生環境と心筋分化能力

竹内 純 (東大・分生研・心臓再生)

3W24-p-6 [15:47]

心筋直接リプログラミング制御因子の同定と応用

家田 真樹 (慶大・医)

3W24-p-7 [16:08]

肝臓の疾患における細胞運命転換のメカニズム

鈴木 淳史^{1,2} (¹九大・生医研・器官発生再生学, ²科学技術振興機構・CREST)

Conclusion [16:29]

菊池 裕 (広島大学)

3W26-p 第26会場(神戸商工会議所 3F 神商ホールA) 14:00-16:30 [J]

転写後制御を標的とした次世代創薬プラットフォーム

オーガナイザー：山下 暁朗 (横浜市立大学)
藤原 俊伸 (近畿大学)

Introduction [14:00]

藤原 俊伸 (近畿大学)

3W26-p-1 [14:04]

***in vitro*翻訳系を用いた新規創薬ターゲット同定法**

藤原 俊伸 (近大・院薬・生化学)

3W26-p-2 **[14:24]**
動物培養細胞を用いた高感度転写後制御モニタリングシステムの構築

山下 暁朗, 安田 篤史, 青柳 杏子, 中村 良恵, 廣瀬 博子, 黒澤 瞳, 大野 茂男 (横浜市大・医・分子細胞)

3W26-p-3 **[14:45]**
TTN遺伝子の選択的スプライシングモニタリングと拡張型心筋症の創薬スクリーニング

山崎 裕美子, 村山 里枝, 大野 麻理奈, 黒柳 秀人 (医科歯科大・難研)

3W26-p-4 **[15:06]**
mRNAの翻訳・安定性制御をゼブラフィッシュ胚で可視化する

三嶋 雄一郎 (東大・分生研)

3W26-p-5 **[15:27]**
細胞内RNAを可視化する化学プローブ

岡本 晃充 (東大・先端研)

3W26-p-6 **[15:48]**
高分子ナノテクノロジーによる核酸医薬デリバリー

 宮田 完二郎¹, 片岡 一則^{1,2} (¹東京大学大学院医学系研究科, ²東京大学大学院工学系研究科)

3W26-p-7 **[16:09]**
RNAを用いた新奇害虫防除法の開発

 佐藤 豊¹, 吉岡 博文¹, 新美 輝幸² (¹名古屋大・院生命農, ²基生研)

Conclusion **[16:30]**

山下 暁朗 (横浜市立大学)

3W27-p 第27会場(神戸商工会議所3F 神商ホールB) **14:00-16:30 [E]**
Analysis of local chromatin structure by state-of-the-art technologies and its comprehensive interpretation

 Organizers : Youichiro Wada (The University of Tokyo)
 Hodaka Fujii (Osaka University)

3W27-p-1 **[14:00]**
Retinoic acid-regulated chromatin insulator modulates higher-order chromatin structure and gene expression in the *HOXA* Locus

 Ko Ishihara¹, Masafumi Nakamoto², Mitsuyoshi Nakao² (¹POIE, Kumamoto Univ., ²Dept. of Med. Cell Biol., IMEG, Kumamoto Univ.)

3W27-p-2 **[14:14]**
Analysis of effects of local chromatin structure on enhancer function

Yutaka Satou (Grad. Sch. of Sci., Kyoto Univ.)

3W27-p-3 **[14:28]**
Transcription factories: genome organization and gene regulation

Peter R. Cook (Dunn School, Univ. of Oxford)

3W27-p-4 **[14:52]**
Dynamic chromatin movement in stimulated endothelial cells suggested by interactome analysis

Youichiro Wada (Isotope Science Center, Univ. of Tokyo)

3W27-p-5 **[15:06]**
Control of thymocyte fate decision by local chromatin structure

Wooseok Seo, Ichiro Taniuchi (Lab. of Transc. Reg., IMS, Riken Yokohama)

3W27-p-6 **[15:20]**
Genome-wide analysis of human transcriptional target genes reveals significant functional enrichments and its application to the prediction of transcriptional cascades

 Naoki Osato^{1,2} (¹LSBM, RCAST, Univ. of Tokyo, ²IBMATH, Univ. of Tokyo)

**3W27-p-7****[15:34]****Path-preference cellular-automaton model of the cooperative dynamics of RNA polymerase II during the transcription process in human cells**

Yoshihiro Ohta (Grad. Sch. of Math. Sci., Univ. of Tokyo)

3W27-p-8**[15:48]****Locus-specific biochemical analysis of genome functions using the locus-specific chromatin immunoprecipitation technologies iChIP/enChIP**

Toshitsugu Fujita, Hodaka Fujii (Combined Program on Microbiol. and Immunol. RIMD, Osaka Univ.)

3W27-p-9**[16:02]****Simultaneous live imaging of a specific gene's transcription, dynamics**Hiroschi Ochiai¹, Takeshi Sugawara¹, Takashi Yamamoto^{1,2} (¹RcMcD, Hiroshima Univ., ²Dept. of Math. and Life Sci., Grad. Sch. of Sci., Hiroshima Univ.)**3W27-p-10****[16:16]****A method to dissect protein composition on regulatory DNA sequence and the future**Satoru Ide^{1,2}, Jerome Dejardin³, Kazuhiro Maeshima^{1,2} (¹Struct. Biol. Center, Natl. Inst. of Genet., ²School of Life Sci., Grad. Univ. for Advanced Studies (Sokendai), ³Inst. of Hum. Genet., CNRS, France)

【第4日目12月4日(金)】
4W5 第5会場(神戸ポートピアホテル本館B1F和楽) 9:00-11:30 [J]
虫の会(まじめ版) 2 昆虫学のこれから

 オーガナイザー：尾崎 克久 (JT生命誌研究館)
 伊藤 建夫 (信州大学)
 武藤 愛 (奈良先端科学技術大学院大学)

Introduction [9:00]

尾崎 克久 (JT生命誌研究館)

4W5-1 [9:05]
テナガシヨウジョウバエ *Drosophila prolongata* の求愛行動
 松尾 隆嗣 (東大・院農)

4W5-2 [9:32]
キンカメムシは複数のシグナルで求愛する：振動刺激と化学刺激の担う役割
 向井 裕美 (森林総研・森林昆虫)

4W5-3 [9:59]
蝶や蛾の翅の擬態模様みる多様化戦略と基本パターン形成プログラム
 鈴木 啓保, 富田 秀一郎, 瀬筒 秀樹 (農業生物資源研究所)

4W5-4 [10:26]
コミカンソウとハナホソガの送粉共生系を支える花の匂い
 岡本 朋子 (岐阜大学)

4W5-5 [10:53]
チョウの視覚系とその性差
 蟻川 謙太郎 (総研大・先導科学)

総合討論 [11:20]
4W6 第6会場(神戸ポートピアホテル本館B1F生田) 9:00-11:30 [J]
NAD⁺-poly(ADP-ribose)代謝を標的とした創薬研究の新展開—基礎から臨床応用まで—

 オーガナイザー：藤森 浩彰 (国立がん研究センター研究所)
 佐藤 聡 (東京理科大学)

Introduction [9:00]

藤森 浩彰 (国立がん研究センター研究所)

4W6-1 [9:02]
Nicotinamide phosphoribosyltransferaseを標的とした新規抗腫瘍薬開発のための基礎的研究
 佐藤 聡¹, 荻野 暢子¹, 柴崎 由梨¹, 葛城 康貴¹, 吉森 篤史², 大山 貴央³, 阿部 英明³, 田沼 靖一^{1,4} (¹東京理大・薬・生化学,
²(株)理論創薬研究所, ³ヒノキ新薬(株), ⁴東京理大・ゲノム創薬研セ)

4W6-2 [9:13]
ポリADPリボシル化経路とAKT経路との関連について
 田中 正和¹, 石崎(井田) 智恵利^{2,3}, 山下 幸子², 佐々木 由香⁴, 益谷 美都子⁴, 藤澤 順一¹, 三輪 正直² (¹関西医科大学・微生物学,
²長浜バイオ大学・バイオサイエンス, ³名古屋女子短期大学・生活, ⁴国立がんセンター・ゲノム安定性研究分野)

4W6-3 [9:28]
ADP-ribosyl-acceptor hydrolase 3は、酸化ストレスによる poly(ADP-ribose) polymerase 1 依存的な細胞死 parthanatos を抑制する
 間下 雅士^{1,2}, 加藤 治郎², Joel Moss² (¹同女・薬・薬理学, ²CPB, NHLBI, NIH)

4W6-4 [9:43]
PARP-1及びPARGはDNA二本鎖切断末端のリゼクション制御によりゲノム安定性を促進する
 茂木 章¹, Junhui Wang^{2,3}, 藤森 浩彰², 三木 義男³, 益谷 美都子^{2,4} (¹京大・院医・放射線遺伝, ²国立がんセンター・創薬臨床研究,
³東京医歯大・難治研・分子遺伝, ⁴長崎大・院医歯薬学・フロンティア生命科学)

4W6-5 **[10:02]**

BRCA1とPARP inhibitor: LSD1過剰発現とPARP inhibitor感受性、NF-kBと耐性機序

佐藤 工, Anna S. Sedukhina (聖マリアンナ医大・大学院・遺伝子多型機能解析学)

4W6-6 **[10:21]**

がん細胞で認められるDNMT3Bの過剰発現は、PARP阻害剤感受性を示す新規効果規定因子である

藤森 浩彰^{1,2}, 向井 大晃³, 今道 祥二¹, 村上 康文³, 益谷 美都子^{1,2} (1)国立がんセ、研、創薬臨床、²長崎大、院医歯学総合、フロンティア生命、³東京理科大、院基礎工、生物学)

4W6-7 **[10:32]**

ポリADP-リボシル化酵素タンキラーゼの多元的機能と創薬応用

清宮 啓之 (かさん研・化療セ・分子生物治療)

4W6-8 **[10:52]**

ポリ(ADP-ribose) glycohydrolaseを標的とした新規制がん剤の創製

田沼 靖一^{1,2}, 鈴木 亮介¹, 大山 貴史³, 佐藤 聡^{1,2}, 吉森 篤史⁴, 阿部 英明³ (1)東京理科大・薬学, ²東京理科大・ゲノム創薬研セ, ³ヒノキ新薬(株), ⁴(株)理論創薬研究所)

4W6-9 **[11:11]**

がん治療の分子標的候補としてのPARGの検討

益谷 美都子^{1,2}, Rafiqul Islam³, 藤森 浩彰^{1,2}, 佐々木 由香¹, 小泉 史明⁴, 井上 謙吾⁵, 松野 研司⁶, 石川 吉伸⁷, 高村 岳樹⁸, 大川原 正^{3,9} (1)国がん研究セ・研、創薬臨床, ²長崎大院・医歯薬・フロンティア生命科学, ³熊本保健科学大学, ⁴都立駒込病院・臨床検査科, ⁵公益財団法人静岡県産業振興財団, ⁶工学院大・先進工学部, ⁷静岡県立大・薬学部, ⁸神奈川工科大・工学部, ⁹熊本大・薬学部)

Conclusion **[11:28]**

佐藤 聡 (東京理科大学)

4W7 第7会場(神戸ポートピアホテル本館B1F布引) **9:00-11:30 [J/E]**

シリア・中心体系が織りなす生体システムのダイナミズム

オーガナイザー: 北川 大樹 (国立遺伝学研究所)

大森 義裕 (大阪大学)

Introduction **[9:00]**

大森 義裕 (大阪大学)

4W7-1 **[9:00]**

シリア局在型Gタンパク質共役型受容体(GPCR)の同定とマウスの体重制御における役割

大森 義裕¹, 茶屋 太郎¹, 吉田 怜代¹, 辻井 寿典¹, 古川 貴久¹ (1)大阪大・蛋白研・分子発生, ²JST さきがけ)

4W7-2 **[9:25]**

Coordination of basal body orientation in differentiating multiciliated cells: Mechanism revealed by long-term live imaging

Elisa Herawati¹, Daisuke Taniguchi², Hatsuho Kano¹, Kazuhiro Tateishi¹, Shuhei Chiba¹, Yuki Ogura¹, Tomoki Yano¹, Atsushi Tamura¹, Shuji Ishihara², Sachiko Tsukita¹ (1)Grad. Sch. of Frontier Biosci. and Grad. Sch. of Med., Univ. of Osaka, ²Dept. of Physics, Sch. of Sci. and Tech., Univ. of Meiji)

4W7-3 **[9:45]**

Wnt5a/5bとWntのインヒビターの非対称な分布がノードの細胞極性を決めている

峰岸 かつら¹, 橋本 昌和¹, 安島 理恵子², 五十嵐 康伸³, 篠原 恭介¹, 白鳥 秀卓¹, 濱田 博司¹ (1)阪大 生命機能, ²国立遺伝研, ³オリンパスソフト)

4W7-4 **[10:05]**

中心小体構築開始の分子基盤の解明

北川 大樹 (遺伝研・分子遺伝・中心体生物)

4W7-5 **[10:30]**

新規足場タンパク質GTAP-3の中心小体複製サイクルへの寄与

内容 進介¹, 住吉 英輔¹, 春田 奈美¹, 吉井 千尋¹, 久保田 幸彦¹, 寺澤 匡博², 杉本 亜砂子¹ (1)東北大・生命科学, ²理研CDB)

4W7-6	[10:50]
哺乳類大脳皮質発生期の神経幹細胞分裂におけるAspmの役割	
藤田 生永 ¹ , 末次 妙子 ¹ , 今野 大治郎 ¹ , 藤森 亮 ² , 松崎 文雄 ¹ (¹ 理研・多細胞システム形成研究センター, ² 放医研・重粒子医学科学センター)	
4W7-7	[11:10]
真核細胞の繊毛と鞭毛の中では、「分子モノサシ」が96 nmの繰り返し配列を決定する	
小田 賢幸 ¹ , 柳澤 春明 ¹ , 神谷 律 ² , 吉川 雅英 ¹ (¹ 東京大学・院・医, ² 東京大学・院・理)	
Conclusion	[11:30]
北川 大樹 (国立遺伝学研究所)	
4W8	9:00-11:30 [J]
第8会場 (神戸ポートピアホテル本館B1F北野)	
既成概念を超えるステロイド	
オーガナイザー: 荻島 正 (九州大学) 向井 邦晃 (慶應義塾大学)	
Introduction	[9:00]
向井 邦晃 (慶應義塾大学)	
4W8-1	[9:03]
ヒト副腎皮質の構成的アルドステロン産生細胞クラスターに生じる体細胞変異の解析	
向井 邦晃 ¹ , 荻島 正 ² , 樋口 明弘 ³ , 西本 紘嗣郎 ^{1,4} (¹ 慶大・医・医化学, ² 九大・理・化学, ³ 慶大・医・総医センター, ⁴ 共済立川病院・泌尿)	
4W8-2	[9:18]
ヒトにおける11-ケトテストステロンの産生とその役割	
今道 力敬 ¹ , 矢澤 隆志 ² (¹ 旭川医科大学 薬理学講座, ² 旭川医科大学 生化学講座 細胞制御科学分野)	
4W8-3	[9:38]
ストレス応答に関与する膵臓ノンシステミックステロイド	
荻島 正 ¹ , 堤 かおり ¹ , 樋口 明弘 ² (¹ 九大・院理・化学, ² 慶大・医・総合医セ)	
4W8-4	[9:53]
涙腺における局所ステロイドの生理機能	
樋口 明弘 ¹ , 山崎 岳 ² , 向井 邦晃 ³ , 荻島 正 ⁴ , 前田 尚之 ⁵ , 横田 博 ⁵ , 坪田 一男 ¹ (¹ 慶応大・医・眼科, ² 広島大・総合科学, ³ 慶応大・医・医化学, ⁴ 九大・理, ⁵ 酪農学園大・獣医)	
4W8-5	[10:08]
骨格筋合成ステロイドホルモンの意義およびステロイド抱合体の役割	
横田 博 (酪農学園大・獣医生化学)	
4W8-6	[10:28]
脳海馬が作る男性・女性ホルモンは記憶神経を早く・うまく制御している	
川戸 佳 (順天堂大学大学院 医学研究科 泌尿器外科学)	
4W8-7	[10:48]
植物ステロイドホルモン・ブラシノステロイドの代謝経路	
大西 利幸 (静大・学術院・農学)	
4W8-8	[11:08]
卵の精子誘引物質として働くステロイドSAAF	
吉田 学 ¹ , 村田 道雄 ² , 松森 信明 ³ , 大石 徹 ³ (¹ 東大・院理・臨海, ² 阪大・院理・化学, ³ 九大院・理・化学)	
Conclusion	[11:28]
荻島 正 (九州大学)	

4W9 第9会場(神戸ポートピアホテル本館B1F菊水)

9:00-11:30 [J]

ラジカル酵素の動作原理の解明—その特異性を支配する因子

オーガナイザー：小林 一雄 (大阪大学)
 鏑木 基成 (神戸大学)

Introduction [9:00]

小林 一雄 (大阪大学)

4W9-1 [9:05]

転写因子SoxRのレドックス活性薬物に対する特異性

小林 一雄, 藤川 麻由, 筒井 裕子, 古澤 孝弘 (大阪大学産業科学研究所)

4W9-2 [9:22]

ペプチドを分子内架橋するラジカルSAM酵素の反応機構

岡島 俊英¹, 中井 忠志¹, 小林 一雄¹, 高橋 康弘², 堀 洋³, 鏑木 基成³, 谷澤 克行^{1,4} (¹阪大・産研, ²埼玉大・理工, ³神戸大・理, ⁴バランキー大・理)

4W9-3 [9:43]

なぜラジカルSAM酵素は生物界に幅広く受け入れられてきたか

～ラジカルSAM酵素の持つラジカル反応機構の解明～

堀谷 正樹¹, Amanda S. Byer², Krista A. Shisler², Tilak Chandra², Joan B. Broderick², Brian M. Hoffman¹ (¹Dep. of Chem., Northwestern Univ., ²Dept. Chem. and Biochem., Montana State Univ.)

4W9-4 [10:04]

ラジカルB₁₂酵素におけるアデノシルラジカル生成機構の構造基盤

柴田 直樹 (兵庫県大・院生命理)

4W9-5 [10:25]

ラジカル酵素の理論的考察

吉澤 一成¹, 蒲池 高志¹, 土井富 一城¹, 虎谷 哲夫² (¹九州大学, ²岡山大学)

4W9-6 [10:46]

Unique characteristics and function of DyP-type peroxidase

菅野 靖史 (日本女子大・理・物生)

4W9-7 [11:07]

ヒト101F6タンパク質によるアスコルビン酸・モノデヒドロアスコルビン酸ラジカル依存性電子伝達反応機構

鏑木 基成¹, 山添 貴子¹, 岡野 弘明¹, Mariam C. Recuenco³, 武内 総子², 堀 洋¹, 小林 一雄⁴ (¹神戸大・院理・化, ²神戸大・大教機構, ³フィリピン大学ロスバニョス校・化学, ⁴阪大・産研)

Conclusion [11:28]

小林 一雄 (大阪大学)

4W10 第10会場(神戸ポートピアホテル南館B1Fトパーズ)

9:00-11:30 [J]

感染を制御せよ！微生物と宿主の“覇権争い”生物学

オーガナイザー：梶浦 健 (国立感染症研究所)
 大西 なおみ (北海道大学)

Introduction [9:00]

大西 なおみ (北海道大学)

4W10-1 [9:03]

はじめに：炭疽の克服戦略

大西 なおみ¹, 赤松 玲子¹, 桂 啓介², 小椋 義俊³, 笹原 鉄平⁴, 林 哲也³, 東 秀明¹ (¹北大・人獣・感染免疫, ²宮崎大・医・微生物, ³九大・院医・細菌学, ⁴自治医大・医・感染免疫)

4W10-2 [9:12]

*Helicobacter pylori*の感染戦略

三室 仁美 (東大・医科研・細菌学)

4W10-3	[9:32]
中心体成熟を介したインフルエンザウイルスのゲノム輸送と粒子形成 川口 敦史 (筑波大・医学医療系・感染生物学)	
4W10-4	[9:52]
線虫類のフマル酸呼吸と宿主内微小環境適応。 稲岡 ダニエル ¹ , Ferdoush Zannatul ¹ , 大森 淳子 ² , 福田 智美 ¹ , 福本 晋也 ³ , 福本 真一郎 ⁴ , 志波 智生 ⁵ , 原田 繁春 ⁵ , 北 潔 ¹ (¹ 東大・医・生物医化学, ² 国立精神・神経医療センター・神経研・第2部, ³ 帯畜大・原虫研・節足動物衛生工学分野, ⁴ 酪農学園大・獣医・獣医寄生虫学, ⁵ 京都工繊大・工芸・応生学・構造生物学)	
4W10-5	[10:12]
脳を操る細胞内寄生体：トキソプラズマ 西川 義文 (帯畜大・原虫研)	
4W10-6	[10:32]
腸内細菌叢由来代謝産物もたらす生体恒常性維持機構 福田 真嗣 (慶大・先端生命研)	
4W10-7	[10:52]
ポストゲノムマラリアワクチン研究は宿主寄生体関係の総体的理解につながる 坪井 敬文 (愛媛大・プロテオサイエンスセンター・マラリア)	
4W10-8	[11:17]
肝内型マラリア原虫-宿主間"聞き合い"分子メカニズムの解明 案浦 健 ¹ , 荒木 球沙 ^{1,2} , Blandine M. Franke-Fayard BM ³ , Chris J. Janse ³ , 浅井 史敏 ² , Shahid M. Khan ³ , Volker T. Heussler ⁴ , 野崎 智義 ¹ (¹ 国立感染症研究所・寄生動物部, ² 麻布大・獣医・薬理学, ³ Leiden Univ. Med. Cent., Netherlands, ⁴ Univ. Bern, Switzerland)	
Conclusion	[11:28]
案浦 健 (国立感染症研究所)	
4W11 第11会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F エメラルド)	9:00-11:30 [J]
TORの実像に迫れ!	
オーガナイザー：丑丸 敬史 (静岡大学) 前田 達哉 (東京大学)	
4W11-1	[9:00]
マウス表皮におけるmTORC1シグナルの機能 名田 成之, 名田 真理, 長江(相馬) 多恵子, 北川 真理, 森 俊介, 高橋 佑介, 岡田 雅人 (阪大・微研・発癌制御)	
4W11-2	[9:18]
Rag GTPase二量体によるTOR複合体1経路の抑制は分裂酵母の増殖に重要である 福田 智行, 建部 恒, 塩崎 一裕 (奈良先端大・バイオ)	
4W11-3	[9:36]
減数分裂における分裂酵母TORC1の制御と機能 中嶋 昭雄 ¹ , 山下 朗 ² , 大坪 瑠子 ² , 鎌田 真司 ³ , 瓜谷 眞裕 ⁴ , 山本 正幸 ² , 吉川 潮 ¹ (¹ 神戸大・バイオシグナル, ² 基生研・細胞応答, ³ 神戸大・遺伝子, ⁴ 静大・院理・化学)	
4W11-4	[9:54]
PI3,5P₂を介したTORC1とCdk5のクロストーク 神 奈亜子, Lois Weisman (Life Sciences Institute, Univ. of Michigan)	
4W11-5	[10:12]
Rheb-mTORC1によるピリミジンヌクレオチド合成制御機構の解析 佐藤 龍洋 ¹ , 玉野井 冬彦 ² , 服部 成介 ¹ (¹ 北里大・薬, ² カリフォルニア大学ロサンゼルス校・MIMG)	
4W11-6	[10:30]
mTORC1の活性化はFOXK1経路を介して炎症を誘導する 中津海 洋一 ¹ , 松本 雅記 ² , 中山 敬一 ¹ (¹ 九大・生医研・分子医科学分野, ² 九大・生医研・プロテオミクス分野)	



4W11-7 [10:48]

mTORシグナル系と脳形成異常

武井 延之 (新潟大 脳研)

4W11-8 [11:06]

ゼブラフィッシュ尾ビレ再生におけるmTORC1の機能解析

廣瀬 健太郎, 高山 和也, 塩見 太志, 穂積 俊矢, 菊池 裕 (広島大学・院理・生物科学)

Conclusion [11:24]

4W12 第12会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ダイアモンド) 9:00-11:30 [J]

認知症に対する次世代創薬・診断に向けた展開

オーガナイザー: 富田 泰輔 (東京大学)

斉藤 貴志 (理化学研究所)

4W12-1 [9:00]

遺伝学的アルツハイマー病リスク因子の分子病態解明

富田 泰輔 (東大・薬・機能病態学)

4W12-2 [9:25]

Ser413リン酸化タウを標的としたタウオパチーの受動免疫療法の開発

梅田 知宙 (大阪市立大・院医・脳神経科学)

4W12-3 [9:50]

神経変性疾患の新たな発症メカニズム: 異常タンパク質凝集体のプリオン様性質

野中 隆 (都医学研 認知症プロジェクト)

4W12-4 [10:15]

アルツハイマー病における神経炎症制御斉藤 貴志^{1,2} (理研・脳センター, ²JSTさきがけ)

4W12-5 [10:40]

アルツハイマー病型神経細胞死への脆弱性に関わる遺伝子ネットワークの同定

飯島 浩一, 榊原 泰史, 藤崎 尚規, 関谷 倫子 (国立長寿研・アルツハイマー病研究部)

4W12-6 [11:05]

アルツハイマー病・プレクリニカル期における診断の可能性と探索的予防介入

池内 健 (新潟大・脳研・遺伝子)

4W13 第13会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ルビー) 9:00-11:30 [J]

疾患とリンクする糖鎖—新しい研究分野からの挑戦

オーガナイザー: 山口 芳樹 (理化学研究所)

山本 一夫 (東京大学)

Introduction [9:00]

山口 芳樹 (理化学研究所)

4W13-1 [9:05]

O-マンノース型糖鎖の生合成と筋ジストロフィー症

萬谷 博 (都健康長寿医療セ・分子機構)

4W13-2 [9:25]

BACE1のbisecting GlcNAc修飾によるアルツハイマー病の発症メカニズム木塚 康彦¹, 北爪 しのぶ¹, 中の 三弥子², 西道 隆臣³, 橋本 康弘⁴, 遠藤 玉夫⁵, 谷口 直之¹ (理研・疾患糖鎖, ²広島大院・分子生命機能科学, ³理研・神経蛋白制御, ⁴福島医大・生化学, ⁵都健康長寿医療センター研究所)

4W13-3 [9:45]

デルマタン4-O-硫酸基転移酵素欠損は、さまざまな発生異常と多系統臓器の脆弱性を呈する新しいエーラスダンロス症候群の病型を引き起こす

古庄 知己 (信大・医附属病院・遺伝子診療部)

4W13-4	[10:05]
ヒアルロン酸産生によるがん幹細胞の代謝リプログラミング	
板野 直樹 (京都産大・総合生命・生命システム)	
4W13-5	[10:25]
硫酸化糖脂質セミノリピドとベイシジンは精母細胞乳酸トランスポーターの機能発現に必須である	
本家 孝一, 山下 竜幸 (高知大・医・生化学)	
4W13-6	[10:45]
ガングリオシド糖鎖相互作用が誘起するラフトの組織化と機能の1分子観察による解明	
鈴木 健 ^{1,2} (¹ 京大・iCeMS, ² インド国立生命科学研究センター)	
4W13-7	[11:05]
構造から機能へ：糖鎖科学における計算化学の挑戦	
李 秀榮 (理研・和光)	
Conclusion	[11:25]
山本 一夫 (東京大学)	

4W16	第16会場 (神戸国際会議場 3F レセプションホール)	9:00-11:30 [J]
-------------	-------------------------------------	-----------------------

はたらく細胞内共生体

オーガナイザー：原 清敬 (静岡県立大学)
野崎 智義 (国立感染症研究所)

4W16-1	[9:00]
---------------	---------------

細胞内共生進化が駆動する生物進化
野崎 智義^{1,2} (¹感染研, ²筑波大学生命環境系)

4W16-2	[9:10]
---------------	---------------

細胞内共生生物だから可能な環境浄化
洲崎 敏伸 (神戸大・院理・生物)

4W16-3	[9:30]
---------------	---------------

大腸菌の細胞質における代謝設計と酵素改変によるバイオプロダクション
白井 智量 (理研・環境資源・細胞生産)

4W16-4	[9:50]
---------------	---------------

出芽酵母代謝における細胞質とミトコンドリアの使い分け
松田 史生 (阪大・情報・バイオ情報)

4W16-5	[10:10]
---------------	----------------

シロアリ腸内の原生物の細胞内で効率的に働く共生細菌
大熊 盛也 (理研BRC JCM)

4W16-6	[10:30]
---------------	----------------

嫌気性アメーバにおけるオルガネラ移植系の構築
風間 真¹, 荻原 早苗², 牧内 貴志¹, 橋 裕司¹ (¹東海大・医・基礎医・生体防御, ²東海大・生命科学統合支援センター)

4W16-7	[10:50]
---------------	----------------

日本酒酵母育種及び代謝工学のためのミトコンドリアの活用
北垣 浩志 (佐賀大学)

4W16-8	[11:10]
---------------	----------------

共生細胞工学による有用物質生産
原 清敬^{1,2} (¹静岡県大・食品栄養・環境生命, ²静岡県大・院食栄養・環境科学)

4W19 第19会場(神戸国際会議場 5F 501会議室)**9:00-11:30 [J]****tRNAワールド-翻訳系概念の新たな創造**オーガナイザー: 田村 浩二 (東京理科大学)
相馬 亜希子 (千葉大学)**Introduction****[9:00]**

田村 浩二 (東京理科大学)

4W19-1**[9:05]****tRNA遺伝子構造の多様性とその進化**

相馬 亜希子 (千葉大・園芸)

4W19-2**[9:25]****原始tRNAのアミノアシル化と遺伝暗号の起源**田村 浩二^{1,2} (¹東京理大・基礎工・生物学, ²東京理大・総合研究院)**4W19-3****[9:45]****tRNA(m¹G37)メチル基転移酵素TrmDの基質認識機構**伊藤 拓宏^{1,2}, 増田 功¹, 吉田 健一², 伊藤(後藤) 桜子², 関根 俊一^{1,2}, Se Won Suh⁴, Ya-Ming Hou³, 横山 茂之^{2,5} (¹理研CLST, ²東大・院理, ³トーマスジェファソン大学・生化学分子生物学科, ⁴ソウル大・自然科学・化学, ⁵理研横山構造生物学)**4W19-4****[10:10]****転写後修飾によるウリジン3位のプロトン乖離**

高井 和幸 (愛媛大・院理工・物質生命)

4W19-5**[10:35]****細菌の翻訳停滞解消システム: 分子擬態の宝庫**姫野 俊太¹, 栗田 大輔¹, 武藤 あきら¹, 阿保 達彦², 行木 信一³ (¹弘前大・農学生命, ²岡山大・理, ³群馬大・工)**4W19-6****[11:00]****tRNA擬態タンパク質による遺伝暗号解読システムの拡張**

伊藤 耕一 (東大・新領域・メディカル情報生命)

Conclusion**[11:25]**

相馬 亜希子 (千葉大学)

4W20 第20会場(神戸国際会議場 5F 502会議室)**9:00-11:30 [J]****受精を支える分子とそれを取り巻く分子環境**オーガナイザー: 井上 直和 (福島県立医科大学)
真野 昌二 (基礎生物学研究所)**Introduction****[9:00]**

井上 直和 (福島県立医科大学)

4W20-1**[9:04]****融合因子IZUMO1の構造変化による新規膜融合モデル**井上 直和¹, 萩原 義久¹, Danelle Wright¹, 鈴木 貴久¹, 和田 郁夫¹ (¹福医大・医・細胞科学, ²産総研・健康工学)**4W20-2****[9:16]****陸上植物の受精研究で進化的に保存された配偶子融合機構を曝く**

森 稔幸 (東大・院理・生物学)

4W20-3**[9:33]****代替生殖戦略に適応した雄二型に見られる精子遊泳形質**

広橋 教貴 (鳥大・隠岐臨海)

4W20-4**[9:50]****ゼニゴケゲノムから見える受精関連遺伝子群**大和 勝幸¹, 河内 孝之² (¹近大・生物理工・生物学, ²京大・院生命科学・遺伝子特性)

4W20-5	[10:07]
鳥類の輸卵管における精子貯蔵の分子機構	
笹浪 知宏 ^{1,2} , 松崎 芽衣 ^{1,2} , 水島 秀成 ^{1,2} (静岡大・院農, ² 岐阜大・院・連合農学, ³ 富山大・院理工)	
4W20-6	[10:24]
花粉管誘引停止を引き起こす助細胞胚乳融合の解析	
丸山 大輔 ^{1,2} , 武内 秀憲 ³ , 森 稔幸 ⁴ , 井川 智子 ⁵ , 河島 友和 ⁶ , Frederic Berger ⁶ , 東山 哲也 ^{1,3} (¹ 名大・WPI-ITbM, ² 名大・高等研究院, ³ JST ERATO, 東山ライプホロニクスプロジェクト, 名大, ⁴ 東大・院理・生命, ⁵ 千葉大・院・園芸, ⁶ Gregor Mendel Ins.)	
4W20-7	[10:41]
受精における核融合の制御機構	
立花 和則 (東工大・院生命理工・生命情報)	
4W20-8	[10:58]
小胞体分子シャペロンによる植物有性生殖過程の核膜融合の制御	
西川 周一 ¹ , 丸山 大輔 ² , 山口 友輝 ³ , 東山 哲也 ² , 遠藤 斗志也 ¹ (¹ 新潟大・理・生物, ² 名大・ITbM, ³ 新潟大・院・自然科学, ⁴ 京産大・総合生命科学)	
4W20-9	[11:15]
受精を支える植物ペルオキシソームの形成と機能の解析	
真野 昌二 ^{1,2} , 山口 千波 ¹ , 曳野 和美 ¹ , 加藤 恭子 ¹ , 西村 幹夫 ³ (¹ 基生研・多様性生物, ² 総研大・生命科学, ³ 基生研・細胞生物)	
Conclusion	[11:27]
真野 昌二 (基礎生物学研究所)	
4W21	9:00-11:30 [J]
第21会場 (神戸国際会議場 5F 504+505会議室)	
最先端のX線イメージング技術が拓く生命科学の新しい世界	
オーガナイザー：加道 雅孝 (日本原子力研究開発機構) 別所 義隆 (理化学研究所)	
Introduction	[9:00]
別所 義隆 (理化学研究所)	
4W21-1	[9:07]
X線顕微法と生物観察	
篠原 邦夫 ^{1,2} (¹ 東海大・工, ² 原子力機構・量子ビーム)	
4W21-2	[9:27]
高輝度レーザープラズマ軟X線源を用いたアポトーシス誘発細胞核の軟X線顕微鏡観察	
加道 雅孝 ¹ , 岸本 牧 ¹ , 刀祢 重信 ² , 保 智己 ³ , 安田 恵子 ³ , 青山 雅人 ³ , 篠原 邦夫 ^{1,4} (¹ 原子力機構・量子ビーム, ² 川崎医科大・生化, ³ 奈良女大・理, ⁴ 東海大・工)	
4W21-3	[9:47]
軟X線顕微鏡法によるシアノバクテリア含水試料の細胞内微細	
竹本 邦子 (関西医大・物理)	
4W21-4	[10:07]
軟X線顕微鏡による生物試料の分子イメージング	
伊藤 敦 ¹ , 大東 琢治 ² , 刀祢 重信 ³ , 加道 雅孝 ⁴ , 井上 敬文 ⁵ , 篠原 邦夫 ¹ (¹ 東海大・工, ² 分子研・UVSOR, ³ 川崎医大・生化学, ⁴ 原子力機構・量子ビーム, ⁵ 花王(株)・生物科学研究所)	
4W21-5	[10:27]
細胞内微量元素イメージングと生物医学応用	
志村 まり (国立国際医療研究センター研究所)	
4W21-6	[10:47]
X線タイコグラフィによる生物試料の高分解能観察を目指して	
高橋 幸生 ^{1,2} (¹ 大阪大学, ² 理化学研究所)	

4W21-7 [11:07]

X線自由電子レーザーを用いた放射線損傷のない生細胞ナノイメージング

西野 吉則¹, 木村 隆志¹, 城地 保昌², 大島 泰郎³, 別所 義隆⁴ (¹北大・電子研, ²JASRI, ³共和化工・環境微生物学研, ⁴IoP, Academia Sinica)

Conclusion [11:27]

加道 雅孝 (日本原子力研究開発機構)

4W26 第26会場(神戸商工会議所3F 神商ホールA) 9:00-11:30 [J]

ゲノムストレス応答における普遍性と多様性の相互転換

オーガナイザー：井倉 毅 (京都大学)
垣塚 彰 (京都大学)

4W26-1 [9:00]

ATP制御による難治性疾患の病態とゲノムストレスの軽減の可能性

垣塚 彰 (京大・院生命・高次生体統御学)

4W26-2 [9:20]

満腹中枢における内在性DNA損傷因子としてのレトロトランスポゾン

白木 琢磨, 船戸 千裕, 平井 友梨 (近畿大・生物理工)

4W26-3 [9:35]

LC/MS/MSによるゲノムストレス応答の定量

松田 知成, 松田 俊 (京大・工)

4W26-4 [9:55]

ヌクレオチド除去修復の細胞内制御機構とその多様性

菅澤 薫 (神戸大・バイオシグナル)

4W26-5 [10:15]

ヒトエンドヌクレアーゼ VIはRNA修復に関与する

倉岡 功 (阪大・基礎工・機化)

4W26-6 [10:30]

放射線誘発核内ドメインの構造構築

田代 聡 (広大・原医研・細胞修復制御)

4W26-7 [10:50]

普遍的なヒストンが多様なDNA介在反応を支える

関 政幸 (東北薬科大学)

4W26-8 [11:10]

DNA損傷応答における動的クロマチン平衡とその意義

井倉 毅¹, 古谷 寛治², 松田 俊³, 松田 知成³, 松田 涼¹, 田代 聡⁴, 井倉 正枝¹ (¹京大・放生研・突然変異, クロマチン制御ネットワーク, ²京大・放生研・放射線システム, ³京大・工学研究科・流域圏総合環境質, ⁴広大・原医研・細胞修復制御)

4W27 第27会場(神戸商工会議所3F 神商ホールB) 9:00-11:30 [J]

生物時計と外部環境の統合機構

オーガナイザー：八木田 和弘 (京都府立医科大学)
深田 吉孝 (東京大学)

Introduction [9:00]

八木田 和弘 (京都府立医科大学)

4W27-1 [9:03]

概日転写サイクルとクロマチンランドスケープ

小池 宣也 (京都府立医大・統合生理学)

4W27-2	[9:27]
リズムクシなA-to-I RNA 編集による体内時計システムの分子制御	
寺嶋 秀騎 ¹ , 吉種 光 ¹ , 尾崎 遼 ² , 鈴木 稜 ² , 榛葉 繁紀 ³ , 岩崎 渉 ¹ , 深田 吉孝 ¹ (¹ 東大・院理・生物科学, ² 東大・院・新領域, ³ 日大・薬)	
4W27-3	[9:51]
時計分子は脳発達における臨界期を制御する	
小林 洋平 ^{1,2} , Takao K Hensch ^{1,2} (¹ ハーバード大学, ² ボストン小児病院)	
4W27-4	[10:15]
中枢概日時計におけるバソプレシン産生ニューロンの役割	
三枝 理博 (金沢大・医・分子神経科学)	
4W27-5	[10:39]
がん抑制遺伝子と概日リズムの関連	
三木 貴雄 (京大・院医・分子腫瘍学)	
4W27-6	[11:03]
視交叉上核ニューロンの概日振動を調節するGz共役型オーファン受容体の同定	
土居 雅夫 ^{1,2} , 岡村 均 ^{1,2} (¹ 京大・院薬・医薬創成情報科学, ² 科学技術振興機構・CREST)	
Conclusion	[11:27]
深田 吉孝 (東京大学)	
4W2-p	14:00-16:30 [J]
第2会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 併席1)	
クロマチン構造の階層的変換によるゲノム機能制御メカニズム	
オーガナイザー: 胡桃坂 仁志 (早稲田大学) 原田 昌彦 (東北大学)	
4W2-p-1	[14:00]
クロマチン構造によるDNA機能のエピジェネティック制御	
胡桃坂 仁志 (早稲田大・先進理工)	
4W2-p-2	[14:21]
ポリヌクレオソーム構造のエピジェネティック制御: 計算構造生物学によるアプローチ	
高田 彰二 (京大・院理・生物科学)	
4W2-p-3	[14:42]
転写誘導におけるヒストンアセチル化の役割	
木村 宏, 半田 哲也, 佐藤 優子 (東工大・院生命理工)	
4W2-p-4	[15:03]
生殖細胞特異的H2Aバリエーションのリン酸化とその機能の解明	
岡田 由紀, 羽田 政司 (東大・分生研)	
4W2-p-5	[15:24]
卵細胞における体細胞核の階層的クロマチン構造の変化と転写リプログラミングにおける役割	
宮本 圭 ^{1,2} , Jerome Jullien ¹ , Vincent Pasque ¹ , George E Allen ¹ , Charles R Bradshaw ¹ , J B Gurdon ¹ (¹ ガードン研・英ケンブリッジ, ² 近大・生理工)	
4W2-p-6	[15:45]
アクチンファミリーによるクロマチン構造の階層的変換	
原田 昌彦 (東北大・院農・分子生物)	
4W2-p-7	[16:06]
マウス精巢特異的ヒストンH3バリエーションであるH3tは精子形成過程に必須である	
上田 潤 ^{1,2} , 浦浜 嵩 ³ , 原田 哲仁 ⁴ , 町田 晋一 ³ , 前原 一満 ¹ , 堀越 直樹 ³ , 越阪部 見永 ³ , 八尾 竜馬 ^{5,6} , 山田 みなみ ¹ , 岩本 隆司 ¹ , 磯谷 綾子 ² , 伊川 正人 ² , 立花 太郎 ⁶ , 木村 宏 ⁷ , 大川 恭行 ⁴ , 胡桃坂 仁志 ³ , 山縣 一夫 ^{2,8} (¹ 中部大・実験動物教育研究セ, ² 阪大・微研, ³ 早稲田大・先進理工, ⁴ 九大・医, ⁵ 扶桑薬品・研究開発セ, ⁶ 大阪市大・工, ⁷ 東工大院・生命理工, ⁸ 近大・生物理工)	

Conclusion [16:27]

原田 昌彦¹, 胡桃坂 仁志² (¹東北大学, ²早稲田大学)

4W3-p 第3会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 借染2) 14:00-16:30 [J]

再生と破綻を制御する新しい血管生物学

オーガナイザー: 山下 潤 (京都大学)
渡部 徹郎 (東京医科歯科大学)

4W3-p-1 [14:00]

3次元的心臓組織形成における血管の重要性
山下 潤 (京大・iPS研・増殖分化機構)

4W3-p-2 [14:30]

血管内皮細胞の運動と増殖の新規接触阻害機構
力武 良行^{1,2} (¹神薬大・医療薬学, ²神大・院医・シグナル伝達学)

4W3-p-3 [15:00]

血管構造を有するヒト器官原基の人為的構成
武部 貴則^{1,2,3}, 谷口 英樹¹ (¹横浜市大・院医・臓器再生, ²JST・さきがけ, ³スタンフォード大・幹細胞)

4W3-p-4 [15:30]

フォークヘッド転写因子によるRas/ERKシグナルを介したリンパ管新生の制御
久米 努 (ノースウェスタン大学医学部)

4W3-p-5 [16:00]

血管内皮間葉移行(EndMT)におけるシグナルネットワークの役割
渡部 徹郎 (東医歯大・院歯・細胞生化学)

4W4-p 第4会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 借染3) 14:00-16:30 [J]

分子生物学の新技術から捉えた「生老病死」の最前線

オーガナイザー: 田中 知明 (千葉大学)
南野 徹 (新潟大学)

Introduction [14:00]

南野 徹 (新潟大学)

4W4-p-1 [14:05]

幹細胞未分化性制御因子による老化および発がん調節機構
平尾 敦 (金沢大・がん研・遺伝子染色体)

4W4-p-2 [14:25]

活性化筋衛星細胞におけるG-CSF受容体を介するJNK活性化による長期骨格筋再生
湯浅 慎介 (慶應大学・医学)

4W4-p-3 [14:45]

中枢神経系の発生・発達から老化までも制御する組織としての脈絡叢
堅田 明子 (九州大学 医学研究院)

4W4-p-4 [15:05]

成体神経幹細胞の発生源と制御機構
古館 昌平, 後藤 由季子 (東京大学大学院薬学系研究科)

4W4-p-5 [15:25]

Aktの新規抑制因子をコードするPHLDA3遺伝子は神経内分泌腫瘍のがん抑制遺伝子である
大木 理恵子 (国立がん研究センター研究所)

4W4-p-6 **[15:45]**
長寿転写因子FOXO1/DAF-16のDNA損傷応答メカニズム

 大徳 浩熙^{1,2}, 金子 悠太¹, 吉川 賢治¹, 松本 佳保里¹, 新生 翔¹, 坂巻 純一¹, 高橋 悠太², 深水 昭吉^{1,2} (¹筑大・院生命環境・生物機能科学, ²筑大・TARAセ)

4W4-p-7 **[16:05]**
ドライバー遺伝子変異と微小環境の相互作用による大腸がん悪性化機構

大島 正伸, 中山 瑞穂, 大島 浩子 (金沢大・がん研・腫瘍遺伝学)

Conclusion **[16:25]**

田中 知明 (千葉大学)

4W5-p 第5会場(神戸ポートピアホテル本館B1F和楽) **14:00-16:30 [J/E]**
環境応答とエピジェネティクス

 オーガナイザー: 近藤 隆 (神奈川科学技術アカデミー)
 磯野 協一 (理化学研究所)

Introduction **[14:00]**

磯野 協一 (理化学研究所)

4W5-p-1 **[14:03]**
発生遺伝子群のプロモーター制御において異性型Polycomb複合体は従来型と異なる活性を持つ

 近藤 隆¹, 近藤(佐野) 香¹, 相下 紘貴², 古関 明彦² (¹神奈川科学技術アカデミー, ²理研・統合医科学セ)

4W5-p-2 **[14:21]**
肝臓脂質代謝のエピゲノム制御とその臨床応用

 橋本 貢士¹, 小川 佳宏^{2,3} (¹東医歯大・院・メタボ先制医療, ²東医歯大・院・分子内分泌代謝, ³AMED, CREST)

4W5-p-3 **[14:39]**
LTRレトロトランスポゾン由来の*SIRH*遺伝子群の哺乳類における機能

 入江 将仁^{1,2}, 石野 史敏², 金兎(石野) 知子¹ (¹東海大・健科, ²医科歯科大・難治研・エピジェネ)

4W5-p-4 **[14:57]**
遺伝毒性ストレスによって誘導されるポリコーム群リン酸化のDNA修復への関与

 磯野 協一¹, 木村 弥生², 古関 明彦¹ (¹理研・IMS-RCAI, ²横浜市大・院生命ナノ)

4W5-p-5 **[15:15]**
Host epigenetic responses to influenza virus infection

Yumiko Imai (Dept. of Biol. Informatics & Exp. Therapeutics, Grad. Sch. of Med., Univ. of Akita)

4W5-p-6 **[15:33]**
遺伝子発現から転写制御因子を予測する確率的Gene Set Enrichment解析

 川上 英良¹, 中岡 慎治², 北野 宏明^{1,3,4,5} (¹理研・IMS・疾患システムモデリング, ²東大・院医・国際保健政策, ³システム・バイオロジー研究機構, ⁴ソニーコンピュータサイエンス研究所, ⁵神縄科技大・統合オープンシステムユニット)

4W5-p-7 **[15:51]**
転写因子ATF-7を介したストレスによるテロメアの長さの制御

 前川 利男¹, Binbin Liu^{1,2}, 吉田 圭介¹, 仲村 賢一³, 田久保 海登³, 増富 健吉⁴, 小池 学⁵, 石川 冬木⁶, 石井 俊輔^{1,2} (¹理研・筑波・分子遺伝, ²筑波大・人間総合科学, ³東京都老人総合研, ⁴国立がんセンター・研究所, ⁵放医研, ⁶京大・生命科学)

4W5-p-8 **[16:09]**
機能性食品とエピジェネティクス

 安岡 顕人¹, 嶋田 耕育¹, 亀井 飛鳥¹, 篠崎 文夏¹, 近藤 香¹, 近藤 隆¹, 三坂 巧³, 岡田 晋治², 阿部 啓子² (¹神奈川科ア・未病P, ²東大・院農・ILSI機能ゲノミクス, ³東大・院農・応生化)

Conclusion **[16:27]**

近藤 隆 (神奈川科学技術アカデミー)

4W6-p 第6会場(神戸ポートピアホテル本館B1F生田)

14:00-16:30 [J]

ホスファターゼ研究のカティングエッジ：メディカルイノベーションへの橋渡しを目指して

オーガナイザー：坂口 和靖(北海道大学)
的崎 尚(神戸大学)

Introduction

[14:00]

坂口 和靖(北海道大学)

4W6-p-1

[14:02]

脱リン酸化酵素PP6の触媒サブユニットのPpp6cは着床後の胚の正常な発生に不可欠である

渡邊 利雄¹, 小河 穂波¹, 田沼 延公², 早川 夏姫¹, 住吉 麻実¹, 岸本 綾子¹, 松居 靖久³, 鈴木 麻衣¹, 佐々木 希², 大内 司², 野村 美有樹², 照屋 由里子¹, 安田 恵子¹, 鳥 礼² (1奈良女子大・院人間文化・生物科学, 2宮城県立がんセンター研, 3東北大・加齢研)

4W6-p-2

[14:17]

皮膚Ppp6c欠損マウスは、化学発がんおよびUVB誘導発がんを高感受性となる

鳥 礼^{1,2}, 黒沢 是之¹, 井上 唯¹, 小河 穂波³, 加藤 浩之^{1,2}, 田沼 延公^{1,2}, 渡邊 利雄³ (1宮城がんセ・研・がん薬物療法, 2東北大院・医・がん分子制御, 3奈良女子大院・人間文化)

4W6-p-3

[14:37]

カルシニューリンシグナルの空間的制御機構

佐藤 亮介, 萩原 加奈子, 喜多 綾子, 杉浦 麗子(近畿大・薬・創薬科学)

4W6-p-4

[14:52]

Type2A Protein PhosphataseによるBeclin 1プラットフォーム機能の制御機構

大浜 剛(山口大学 共同獣医学部)

4W6-p-5

[15:07]

発癌性ホスファターゼPPM1Dの細胞癌化における役割とその阻害剤

坂口 和靖(北大・院理・化学)

4W6-p-6

[15:27]

受容体型プロテインチロシンホスファターゼによるインスリン受容体活性の制御

野田 昌晴^{1,2} (1自然科学研究機構・基生研・統合神経生物学, 2総研大・生命科学研究所・基礎生物学専攻)

4W6-p-7

[15:47]

クラス3受容体型チロシンホスファターゼSAP-1による腸管免疫制御

村田 陽二¹, 小谷 武徳¹, 齋藤 泰之¹, 岡澤 秀樹¹, 大西 浩史², 的崎 尚¹ (1神戸大・院・医・シグナル統合学, 2群馬大・院・保健・生体情報検査科学)

4W6-p-8

[16:07]

ヘリコバクター・ピロリ菌CagAの発がん活性を規定するSHP2結合能の非線形的変動

畠山 昌則(東大・院医・微生物学)

Conclusion

[16:27]

的崎 尚(神戸大学)

4W7-p 第7会場(神戸ポートピアホテル本館B1F布引)

14:00-16:30 [J/E]

小胞体ストレス応答による生体内恒常性維持：臓器連関の新展開

オーガナイザー：森 和俊(京都市)
堀 修(金沢大学)

Introduction

[14:00]

堀 修(金沢大学)

4W7-p-1

[14:06]

小胞体ストレスによるレプチン抵抗性形成機構の解明

細井 徹, 小澤 光一郎(広島大・医歯薬保健学研究院・治療薬効)

4W7-p-2	[14:26]
視床下部オレキシンによる自律神経系と小胞体ストレス応答を介したマウス肝糖産生の調節機構 笹岡 利安, 和田 努, 恒枝 宏史 (富大・院医薬・病態制御薬理学)	
4W7-p-3	[14:46]
パンプレシニューロンにおけるER-associated compartment (ERAC)の形成 有馬 寛, 東 慶成, 萩原 大輔 (名大・糖尿病・内分泌内科)	
4W7-p-4	[15:06]
尿素素による臓器連関障害と小胞体ストレス 稲城 玲子 (東京大学大学院医学系研究科CKD病態生理学講座)	
4W7-p-5	[15:26]
小胞体ストレスによる多胞体 (multivesicular body) 形成とエクソソーム分泌 金本 聡自 ¹ , 松久 幸司 ¹ , 崔 旻 ¹ , 仁谷 亮太 ¹ , 村岡 賢 ² , 田原 栄俊 ² , 今泉 和則 ¹ (¹ 広島大・医歯薬保院・分子細胞情報学, ² 広島大・医歯薬保院・細胞分子生物学)	
4W7-p-6	[15:46]
メダカ発生過程におけるIRE1経路生理的機能の包括的解析 石川 時郎 ¹ , 岡田 徹也 ¹ , 藤原-石川 智子 ² , 安齋 賢 ³ , 亀井 保博 ¹ , 木下 政人 ³ , 藤堂 剛 ² , 森 和俊 ¹ (¹ 京大・院理・生物物理, ² 阪大・院医・放射線基礎医学, ³ 京大・院農・応用生物, ⁴ 基生研・光学解析)	
4W7-p-7	[16:06]
非古典的な小胞体ストレス応答による生体機能調節 親泊 政一 (徳大・ゲノム・生体機能)	
Conclusion	[16:26]
森 和俊 (京都大学)	
4W8-p 第8会場(神戸ポートピアホテル本館B1F北野) 14:00-16:30 [J]	
生体金属の最前線	
オーガナイザー：城 宜嗣 (理化学研究所 / 兵庫県立大学) 石森 浩一郎 (北海道大学)	
Introduction	[14:00]
城 宜嗣 ¹ , 石森 浩一郎 ² (¹ 理化学研究所, ² 北海道大学)	
4W8-p-1	[14:03]
菌類由来チロシナーゼの成熟化過程一銅の取り込みと翻訳後化学修飾 伊東 忍 (阪大・院工・生命先端工学)	
4W8-p-2	[14:24]
マグネシウム脱離酵素による植物の発育と遺伝子発現制御 田中 夢 (北大・低温研)	
4W8-p-3	[14:45]
2型糖尿病疾患感受性遺伝子 <i>SLC30A8</i> / <i>ZnT8</i> を介した膵からの亜鉛分泌は膵-肝の臓器間ネットワークを形成する 田時 基行 ^{1,2} , 藤谷 与士夫 ¹ , 松久 宗英 ¹ , 綿田 裕孝 ² (徳大・糖尿病臨床研究開発センター, ² 順天堂大・院・医研・代謝内分泌学)	
4W8-p-4	[15:06]
Nrf2-FPN1経路を介した抗炎症作用の分子機構 伊東 健 (弘前大・院医・分子生体)	
4W8-p-5	[15:27]
ヘムによる新たなタンパク質制御機構とその生理学的意義 松井(渡部) 美紀 ^{1,2} , 島 弘季 ¹ , 村山 和隆 ³ , 五十嵐 和彦 ¹ (¹ 東北大・院医・生物化学, ² 東北大・未来研, ³ 東北大院・医工学)	
4W8-p-6	[15:48]
気体分子センサータンパク質における機能制御メカニズムの革新的理解のために 澤井 仁美 (兵庫県大・院理・生命科学)	

4W8-p-7 [16:09]**ヘム合成からBilirubinに至る定常代謝の積極的役割**竹谷 茂^{1,2} (¹京都工芸繊維大学, ²関西医大)**4W10-p** 第10会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F トバース) 14:00-16:30 [J/E]**RNA制御のケミカルバイオロジー**

オーガナイザー：片岡 直行 (京都大学)

谷 時雄 (熊本大学)

Introduction [14:00]

片岡 直行 (京都大学)

4W10-p-1 [14:05]**バイオブローブを用いたRNA動態と細胞内構造体の解析**梶本 大和¹, 前田 紗希¹, 平田 久峰¹, 佐堂 晃太¹, 松山 将太¹, 野口 貴史¹, 石川 聡美¹, 田中 千晶¹, 中島 啓太¹, 奥野 智也¹, 北折 康訓¹, 池田 智哉¹, 五十嵐 雅之², 谷 時雄¹ (¹熊本大・自然科学・生命科学, ²微生物化学研・生物活性)**4W10-p-2** [14:29]**4'-チオDNAを用いた遺伝子発現抑制の新戦略**

南川 典昭 (徳島大・院医菌薬)

4W10-p-3 [14:53]**小分子による-1リボソームフレームシフト誘起とタンパク質の輸送・局在制御への応用**

村田 亜沙子, 松本 咲, 洪 昌峰, 中谷 和彦 (阪大・産研)

4W10-p-4 [15:17]**スプライシング阻害剤Spliceostatin Aの感受性を決定づけるイントロンの特徴とは？**芳本 玲^{1,5}, 甲斐田 大輔^{1,2}, 古野 正朗³, 鈴木 治和³, 林崎 良英³, 前田 明⁵, 中川 真一⁴, 吉田 稔¹ (¹理研・吉田化学遺伝学, ²富山大学・先端ライフサイエンス拠点, ³理研・OSC, ⁴理研・RNA生物学, ⁵藤田保健衛生大学・総合医科学研究所)**4W10-p-5** [15:41]**スプライシング阻害剤スプライソスタチンAは転写活性と細胞周期進行を制御する**

甲斐田 大輔 (富山大・先端ライフ)

4W10-p-6 [16:05]**ケミカルバイオロジーによる機能性分子のスプライシング制御機構の解明**

正木 聡, 秦 明日香, 都築 千鶴, 雲財 知, 片岡 直行 (京大・院医・メディカルイノベーションセンター (DSK))

Conclusion [16:29]

谷 時雄 (熊本大学)

4W11-p 第11会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F エメラルド) 14:00-16:30 [E]**Developmental plasticity, robustness and coordination in plants**

Organizers : Masaaki Umeda (Nara Institute of Science and Technology)

Toshiro Ito (Nara Institute of Science and Technology)

Introduction [14:00]

Masaaki Umeda (Nara Institute of Science and Technology)

4W11-p-1 [14:08]**Interaction between nutrient uptake and root development**

Toru Fujiwara (Graduate School of Agricultural Life Science, The University of Tokyo)

4W11-p-2 [14:36]**A role of cytokinins in coordinated response of plant growth and development to nutritional cues**Hitoshi Sakakibara^{1,2} (¹Nagoya Univ., Grad. Sch. Bioagricul. Sci., ²RIKEN CSRS)

4W11-p-3 [15:04]**Elucidating the molecular mechanism of cell propagation and cell elongation at the intercalary meristem in rice**Keisuke Nagai, **Motoyuki Ashikari** (Nagoya Univ. Bioscience Center)**4W11-p-4** [15:32]**Towards an understanding of a molecular link between environment and the number of grains produced in a rice panicle**Junko Kyoazuka¹, Hiroki Tokunaga^{1,2}, Akiko Yoshida^{1,2}, Ryo Yamazaki³, Masanobu Chikamori⁴ (¹Grad. Sch. of Life Sci., Tohoku Univ., ²CREST, ³NARO West. Reg. Agri. Res. Center, ⁴Dept. of Agri. Life Sci., Univ. of Tokyo)**4W11-p-5** [16:00]**An epigenetic processor to coordinate growth and differentiation of floral stem cells**Nobutoshi Yamaguchi, **Toshiro Ito** (Dept. of Biol., Nara Insti. Sci. Technol.)**Conclusion** [16:28]

Toshiro Ito (Nara Institute of Science and Technology)

4W12-p 第12会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ダイアモンド) 14:00-16:30 [J]**個別化・予防医療での新たなパラダイムの創出 -健康・医療ビッグデータとスーパーコンピュータがもたらすもの-**オーガナイザー：宮野 悟 (東京大学)
井元 清哉 (東京大学)**4W12-p-1** [14:00]**がん多様性の理解を目指したゲノムビッグデータ解析**

井元 清哉 (東大・医科研)

4W12-p-2 [14:30]**予測医療に向けた考え方：帰納的方法と演繹的方法**

後藤 信哉 (東海大学・医学部・内科学系循環器内科学)

4W12-p-3 [15:00]**ベタフリップス級スパコンのススメ -GFKの京コンピュータへの移植を例に-**伊東 聡¹, 白石 友一¹, 島村 徹平², 宮野 悟¹ (¹東大・医科研, ²名古屋大・医学部)**4W12-p-4** [15:30]**ポスト「京」による次世代計算創薬の展望**奥野 恭史^{1,2} (¹理研・QBiC, ²京大・院医)**4W12-p-5** [16:00]**医学と生体力学をむすぶデータ同化シミュレーション**

和田 成生, 伊井 仁志, 越山 顕一郎 (阪大・基礎工. 機能創成)

4W13-p 第13会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ルビー) 14:00-16:30 [J]**宇宙における生命の起源と進化：偶然と必然**オーガナイザー：山岸 明彦 (東京薬科大学)
平尾 一郎 (理化学研究所)**Introduction** [14:00]

山岸 明彦 (東京薬科大学)

4W13-p-1 [14:05]**ハビタブル系外惑星の観測：過去と将来**

田村 元秀 (東大・院理・天文学)

4W13-p-2 [14:25]**宇宙における超複雑有機物の生成と生命の起源**

小林 憲正 (横浜国立大学・院工)



4W13-p-3 [14:45]

蛍光顕微鏡法による火星表面での生命探査

吉村 義隆¹, 宮川 厚夫², 山岸 明彦² (¹玉川大・農, ²東葉大・生命)

4W13-p-4 [15:05]

地球生命誕生場の論争

丸山 茂徳 (東工大、ELSI)

4W13-p-5 [15:25]

プリンヌクレオチド合成系の進化

三瓶 巖¹, 河合 剛太² (¹電通大・院情報理工, ²千葉工大・工)

4W13-p-6 [15:45]

宇宙におけるタンパク質を構成するアミノ酸の種類の可能性

赤沼 哲史 (早大・人科)

4W13-p-7 [16:05]

遺伝暗号の起源とtRNAの分子進化について

金井 昭夫 (慶大・先端生命研)

Conclusion [16:25]

平尾 一郎 (理化学研究所)

4W15-p 第15会場(神戸国際会議場 3F 国際会議室) 14:00-16:30 [J]

低酸素バイオロジーの最前線：細胞機能を制御する低酸素シグナル

オーガナイザー：井上 正宏 (大阪府成人病センター)

武田 憲彦 (東京大学 / JST さきがけ)

4W15-p-1 [14:00]

がん細胞の休眠メカニズム

井上 正宏 (大阪府立成人病センター)

4W15-p-2 [14:25]

リン光寿命イメージングによる1細胞内酸素濃度イメージング

蒲池 利章 (東工大・院生命理工・生物プロセス)

4W15-p-3 [14:50]

IDH3-HIF-1経路によるがん細胞の糖代謝リプログラミング

小林 稔¹, 曾 麗華¹, 後藤 容子¹, 広田 喜一², 平岡 真寛¹, 原田 浩^{1,3,4} (¹京大・院医・放射線腫瘍学, ²関西医大・麻酔学講座, ³京大・白眉, ⁴JST さきがけ)

4W15-p-4 [15:15]

HIF-1α-PDK1を介する解糖系代謝シフトがマクロファージ遊走能を促進する

武田 憲彦^{1,2} (¹東大・院医・循環器, ²科学技術振興機構 さきがけ)

4W15-p-5 [15:40]

TASKチャンネルを標的とする低酸素応答機構

古谷 和春 (大阪大・院医・薬理)

4W15-p-6 [16:05]

複数の好気呼吸酵素の使い分けによる緑膿菌の低酸素環境適応

新井 博之 (東大院・農生科・応生工)

4W16-p 第16会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール)

14:00-16:30 [J]
シグナル伝達を制御する糖・糖鎖

 オーガナイザー：岡島 徹也(名古屋大学)
 竹松 弘(京都大学)

Introduction
[14:00]

竹松 弘(京都大学)

4W16-p-1
[14:03]
リゾ型スフィンゴ糖脂質サイコシンによる多倍体細胞の形成

 渡邊 寛¹, 小林 俊秀², 岡崎 俊朗³, 岡 昌吾¹, 竹松 弘¹ (¹京大・院医・人間健康, ²理研・小林脂質生物学, ³金沢医大・院医・血液免疫内科)

4W16-p-2
[14:24]
レクチン受容体による糖脂質認識と免疫応答

山崎 晶(九大・生医研)

4W16-p-3
[14:45]
糖脂質糖鎖によるシグナル制御のメカニズム

 古川 鋼^{1,2}, 大川 祐樹¹, 大海 雄介², 橋本 登², 古川 圭子^{1,2} (¹中部大・生命健康科学・生命医科, ²名大・院医・生物化学)

4W16-p-4
[15:06]
CD22/Siglec2を標的としたシアル酸誘導体によるBリンパ球シグナル伝達制御

 松原 直子¹, 竹松 弘², 石田 秀治³, 鏑田 武志¹ (¹医科歯科大難研免疫, ²京大医学系研究科, ³岐阜大応用生命科学部)

4W16-p-5
[15:27]
Basal-like型乳がん細胞の浸潤におけるコンドロイチン硫酸鎖の役割

北川 裕之(神戸薬大・生化)

4W16-p-6
[15:48]
グルクロン酸糖鎖のリン・カルシウム代謝における役割

 前田 良太^{1,2} (¹先端医セ, ²コペンハーゲン大・生化学)

4W16-p-7
[16:09]
細胞外O-GlcNAc:生物学と疾患との関連

岡島 徹也, 澤口 翔伍, 古川 鋼一, 小川 光貴(名大・院医・2生化)

4W19-p 第19会場(神戸国際会議場 5F 501会議室)

14:00-16:30 [J]
筋生物学の最前線~疾患克服に向けた統合的理解~

 オーガナイザー：金川 基(神戸大学)
 小野 悠介(長崎大学)

Introduction
[14:00]

小野 悠介(長崎大学)

4W19-p-1
[14:02]
骨格筋可塑性におけるNotchシグナリングの新たな役割

小野 悠介(長大・院医歯薬・原研幹細胞)

4W19-p-2
[14:25]
骨格筋幹細胞の維持メカニズム

深田 宗一朗(阪大・院薬・細胞生理)

4W19-p-3
[14:50]
骨格筋細胞の形成に関与する新規転写後調節機構

佐藤 貴彦, 堀切 智子(京都府立医科大)



4W19-p-4 [15:15]

Six1による骨格筋ファイバータイプの制御

榊原 伊織^{1,2,3,4}, Pascal Maire^{2,3,4} (¹愛媛大・プロテオ・病態生理解析, ²INSERM U1016, Institute Cochin, ³CNRS UMR 8104, ⁴パリ第5大)

4W19-p-5 [14:00]

神経筋シナプス形成シグナルと新たな治療概念の創出

山梨 裕司 (東大・医科研)

4W19-p-6 [16:10]

糖鎖修飾異常型筋ジストロフィーの病態機序と治療戦略

金川 基, 戸田 達史 (神戸大・院・医)

4W20-p 第20会場 (神戸国際会議場 5F 502会議室) 14:00-16:30 [J/E]

今こそ微生物の分子生物学・生化学を

オーガナイザー：河原林 裕 (九州大学)

木村 誠 (九州大学)

Introduction [14:00]

木村 誠 (九州大学)

4W20-p-1 [14:03]

超好熱アーキアゲノム情報を利用する際の実験的解明の重要性、糖代謝関連酵素活性・代謝経路の解明を例に

河原林 裕^{1,2} (¹九大・農・極限, ²産総研)

4W20-p-2 [14:27]

細菌細胞膜におけるリン脂質の分子種特異的機能と生合成酵素群の特性

栗原 達夫, 川本 純, 小川 拓哉 (京大・化研)

4W20-p-3 [14:51]

超好熱性アーキアRNase P構成タンパク質のRNA活性化の構造基盤

木村 誠 (九大・院農・生命機能科学)

4W20-p-4 [15:15]

微生物が有する休眠抗生物質生産系の活性化

尾仲 宏康 (東大・院農・応生工)

4W20-p-5 [15:39]

微生物由来アミノ酸定量用酵素の開発

浅野 泰久 (富山県大)

4W20-p-6 [16:03]

微生物酵素の医療分野への応用

廣瀬 芳彦 (天野エンザイム(株)岐阜研究所)

Conclusion [16:27]

河原林 裕 (九州大学)

4W21-p 第21会場 (神戸国際会議場 5F 504+505会議室) 14:00-16:30 [J]

寄生、共生が駆動する多様な生物進化

オーガナイザー：永宗 喜三郎 (国立感染症研究所)

金子 修 (長崎大学)

Introduction [14:00]

永宗 喜三郎 (国立感染症研究所)

4W21-p-1 [14:05]

食材性昆虫と微生物との栄養共生

徳田 岳 (琉球大・熟生研)



4W21-p-2 [14:25]

TBA

石田 健一郎 (筑波大学 生物学類)

4W21-p-3 [14:45]

イネの花粉発育不全に見られるミトコンドリアと宿主のせめぎあい

島山 鉄哉 (東北大・院農)

4W21-p-4 [15:05]

マラリア原虫による寄生赤血球の改変

Amuza B. Lucky^{1,2}, 坂口 美亜子³, 宮崎 真也¹, 加賀谷 渉^{1,4}, 片貝 祐子⁵, 川合 覚⁶, 矢幡 一英^{1,2}, Thomas J. Templeton¹, 金子 修^{1,2} (¹長崎大・熱研・原虫学, ²長崎大・院医歯薬・病原原虫学, ³長崎大・熱研・共同研究室, ⁴東京医科歯科大・院・国際環境寄生虫病学, ⁵予防衛生協会, ⁶獨協医大・熱帯病寄生虫病)

4W21-p-5 [15:25]

家畜の人為的移動が単為生殖性肝蛭を出現させた

関(市川) まどか¹, 林 慶¹, Uday Kumar Mohanta¹, 正力 拓也¹, Pannigan Chaichanasak², 板垣 匡¹ (¹岩大・農・共同獣医・獣医寄生虫学, ²Fac. of Vet. Med., Mahanakorn Univ.)

4W21-p-6 [15:45]

日本におけるトキソプラズマの分子系統と病原性

永宗 喜三郎^{1,2}, 山野 安規徳³, 福本 隼平³, 喜屋武 向子⁴, 正谷 達勝⁵, 松尾 智英⁵, 松井 利博⁶, 村上 麻美⁷, 高島 康弘⁷, 佐倉 孝哉⁸, 松原 立真^{1,2} (¹感染研・寄生動物, ²筑波大・生命環境系, ³筑波大・院・生命環境科学, ⁴沖縄県衛生環境研, ⁵鹿児島大・共同獣医, ⁶清泉女子大, ⁷岐阜大・応用生物)

4W21-p-7 [16:05]

吸血性ダニ-宿主脊椎動物間での血管作動性降圧ホルモンの遺伝子水平伝播

岩永 史朗 (三重大・院医・医動物学)

Conclusion [16:25]

石田 健一郎 (筑波大学 生物学類)

4W26-p 第26会場(神戸商工会議所3F 神商ホールA) 14:00-16:30 [J]

産業応用を指向した細胞の操作・計測技術の最先端

オーガナイザー：藤田 聡史 (産業技術総合研究所)
河原 正浩 (東京大学)

Introduction [14:00]

河原 正浩 (東京大学)

4W26-p-1 [14:06]

ゲノム操作工学によるバイオ医薬品生産技術の開発

河邊 佳典, 上平 正道 (九大・院工・化工)

4W26-p-2 [14:29]

細胞内シグナル伝達を操る：再生医療・創薬への応用を目指して

河原 正浩 (東大・院工・化生)

4W26-p-3 [14:52]

1細胞のヒドロゲル薄膜内包括による細胞識別、分離、制御

境 慎司 (阪大・院基礎工・物質創成)

4W26-p-4 [15:15]

固液界面より様々な物質を細胞に導入する技術開発

藤田 聡史 (産総研・バイオメディカル)

4W26-p-5 [15:38]

材料表面の細胞接着制御による細胞の操作

福田 淳二 (横浜国立大学)

4W26-p-6 [16:01]

積層細胞シートを培養・解析雛型とした組織内混入異種細胞の挙動の理解と活用

長森 英二 (阪大・院工・生命先端・生物工学)

Conclusion [16:24]

藤田 聡史 (産業技術総合研究所)

4W27-p 第27会場(神戸商工会議所3F 神商ホールB) 14:00-16:30 [J]

mRNA分解の機能破綻がもたらす多様な疾患病態

 オーガナイザー：竹内 理 (京都大学)
 久場 敬司 (秋田大学)

Introduction [14:00]

竹内 理 (京都大学)

4W27-p-1 [14:03]

生殖細胞発生に不可欠なRNA結合タンパク質DND1はCCR4-NOT複合体を介したmRNA分解を誘導する

 山路 剛史¹, Cindy Meyer¹, Pavel Morozov¹, Sudhir Manickavel², Markus Hafner², Thomas Tuschl¹ (¹HHMI/ロックフェラー大学, ²NIAMS/アメリカ国立衛生研究所)

4W27-p-2 [14:21]

RNA分解制御による心臓エネルギー恒常性維持の分子機構

久場 敬司 (秋田大・院医・分子機能)

4W27-p-3 [14:39]

CNOT6Lデアデニレースは肝臓において*Fgf21* mRNAを分解することにより個体の代謝バランスを調節している

 森田 斉弘¹, 山本 雅², Nahum Sonenberg¹ (¹マギル大・生化学教室・グッドマンがん研究所, ²沖縄科学技術大・細胞シグナルユニット)

4W27-p-4 [14:57]

Activation-induced cytidine deaminase down-regulates hepatitis B virus RNA through the RNA exosome complex

 村松 正道¹, Liu Guangyan¹, Liang Guoxin³, 喜多村 晃一¹, 若江 亨祥¹, 木下 和生², Lusheng Que¹ (¹金大・医・分子遺伝, ²滋賀県成人医療セ, ³コロンビア大学)

4W27-p-5 [15:15]

Regnase-1とRoquinによる炎症関連mRNAの時空間制御

 竹内 理^{1,2} (¹京大・ウイルス研・感染防御, ²日本医療研究開発機構)

4W27-p-6 [15:33]

転写後調節のゲノムワイド解析

村川 泰裕 (理化学研究所)

4W27-p-7 [15:51]

FUSはGluA1 mRNA安定性の調節を介してシナプス機能及びFTLD/ALS様行動を制御する

 宇田川 剛^{1,2}, 藤岡 祐介¹, 田中 基樹², 本田 大祐¹, 横井 聡¹, 衣斐 大祐³, 永井 拓³, 山田 清文², 渡辺 宏久¹, 勝野 雅史¹, 大野 欽司¹, 稲田 利文⁵, 曾我部 正博², 岡戸 晴生⁶, 石垣 診佑¹, 祖父江 元¹ (¹名大・院医・神経内科学, ²名大・院医・メカノバイオロジー・ラボ, ³名大・院医・医療薬学・医学部付属病院薬剤部, ⁴名大・院医・神経遺伝情報学, ⁵東北大院・薬・遺伝子制御薬学, ⁶東京都医学総合研・分子神経生理研究部門)

4W27-p-8 [16:09]

Ataxin-2を介したmRNA分解抑制機能と疾患関連変異による機能減弱のメカニズム

河原 行郎 (阪大・院医・神経遺伝子学)

Conclusion [16:27]

久場 敬司 (秋田大学)